

定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書(その1)	A-16	天井伏図	S-01	構造設計特記仕様
A-02	建築工事特記仕様書(その2)	A-17	建具表	S-02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-03	建築工事特記仕様書(その3)	A-18	法規チェック図	S-03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-04	建築工事特記仕様書(その4)	A-19	雑詳細図	S-04	雑配筋標準図(1)
A-05	建築工事特記仕様書(その5)	A-20	外構図	S-05	雑配筋標準図(2)
A-06	案内図・配置図	A-21	水回り機器詳細図(1)(参考図)	S-06	雑配筋標準図(3)
A-07	求積図・求積表	A-22	水回り機器詳細図(2)(参考図)	S-07	土質柱状図
A-08	仕上表	A-23	水回り機器詳細図(3)(参考図)	S-08	各階伏図
A-09	平面図・屋根伏図			S-09	軸組図
A-10	立面図			S-10	部材リスト
A-11	断面図			S-11	架構配筋詳細図
A-12	断面詳細図			S-12	杭工法標準仕様書
A-13	平面詳細図				
A-14	展開図				
A-15	床伏図				

伊是名村役場 建設環境課

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	図面目録	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:NO SCALE, A1版:NO SCALE	
摘 要				図面番号	A-0	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部			
令和8年1月改定版			
1 工事概要 (1) 工 事 名：定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事 (2) 工 事 場 所：伊是名村字 勢理客 地内 (都市計画区域外) (3) 敷 地 面 積：562.29 m ² (4) 工 事 種 目：建築工事 ア 建築物 建築物の名称 勢理客2号棟 主要用途 共同住宅 構造及び階数 壁式RC造平屋建て 工事種別 新築 建築面積 118.37 m ² 延べ面積 89.43 m ² イ 工作物及び立木 工作物等の名称 数量 2 本工事の設計時期 本工事の設計書は、令和 8年 4月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。 3 建築工事仕様 (1) 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」[令和7年版]以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 特記仕様 ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。 「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。 「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。 ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。 4 その他 (1) 公共事業労務費調査に対する協力 ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。 (2) 暴力団員等による不当介入の排除対策 受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次にに関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。 ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。 ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。 (3) ウィークリースタンスの実施 工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。 当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html (4) 工事監理業務への協力等 ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。 イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。			
ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。 エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。 (5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて 本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乘じた額で行う。 (6) 県産資材の優先使用 本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。 (7) 下請業者の県内企業優先活用 請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。 (8) 不発弾等発見時の処理について 本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。 また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。 なお、これについては、下請業者へも周知すること。 (9) ダンプトラック等の過積載等の防止について ア 工事用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。 イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。 ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。 エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入入ることがないようにすること。 オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。 (10) 不正軽油の使用の禁止等について ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。 イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。 (11) 設計図書における資材等の取扱いについて ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。 イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。 ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。 (12) ガイドライン等の遵守について 設計変更等については、契約書18条から25条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。 (13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。 また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。			
イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html (14) 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知 落札者(随意契約の場合にあつては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号)第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあつては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、発注者に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。 通知様式については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。 https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/kenchiku/1023167/1013333/1013334/1013335.html			
章	項 目	特 記 事 項	
①一般共通事項	①適用基準等	・ 建築工事監理指針(令和7年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会 ・ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) ・ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部 ・ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部 ・ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部 登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。	
	②工事実績情報の登録(1.1.4)		
	3 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)	工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。	
	4 工事の余裕期間	・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式ー1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工実施要領」による。	
	5 遠隔臨場の実施(1.1.14)	・ 本工事は遠隔臨場を適用する。使用する機器及び立合う工程等については監督職員と協議をすることとする。	
	6 概成工期(1.2.1)	図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。	
	⑦品質計画等(1.2.2)	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速:V0= m/s (平12建告第1454号第2) (2) 地表面粗度区分: (8.4.3) (8.5.3) (9.4.4) (10.5.3) (13.2.3) (13.3.3) (13.4.3) (14.7.3) (16.14.5) (23.5.4)	
	⑧施工図等(1.2.3)	(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 (2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。 (3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。	
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村字勢理客2498,2499番地	図面名称	建築工事特記仕様書(その1)
発注機関	伊是名村役場建設環境課	縮 尺	—
摘 要		図面番号	A-01
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	名 称	有 限 会 社	ヨシ企画設計
	資格者氏名		具志堅さおり
	登録番号		一級建築士 第316373号
	所 在 地		沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

①
一般
共通
事項
へ
続
き
▽

⑨工事の記録
(1.2.4)

⑩電気保安技術
者(1.3.3)

11 施工条件
(1.3.5)

⑫ 施工中の安全
確保及び環境
保全等(1.3.7)
(1.3.10)

13 交通安全管理
(1.3.8)

⑭発生材の処理
等(1.3.11)

⑮主任技術者・監
理技術者

⑯主任技術者等
の資格

⑰主任技術者又
は監理技術者
の兼務

⑱工事の保険等

⑲ 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。
ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあつては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。
イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。
ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。
エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。

⑲ ゆいくる材について

⑳ 技能士(1.5.2)

21 化学物質の濃
度測定(1.5.10)

㉑ 完成時の提出
図書
(1.7.1)(1.7.2)
(1.7.3)

㉒ 設計図CAD
データの貸与

㉓ 情報共有システ
ム

㉔ 墜落制止用器
具

26 「労務費見積り
尊重宣言」促進
モデル工事

27 建設キャリア
アップシステム
(CCUS)活用に
ついて

沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。

施工順序等の制約 ・無し
・有り【 ・現場説明書による ・図示 ・ 】
工事車両の駐車場所 : ・図示 ・現場説明書による ・
資材、機材置場 : ・図示 ・現場説明書による ・
建設発生土の仮置場 : ・図示 ・現場説明書による ・
その他の施工条件 : ・図示 ・現場説明書による ・

(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。

(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5～260kW)
ア バックホウ
イ 車輪式トラクタショベル
ウ ブルドーザ
エ 発電発電機
オ 空気圧縮機
カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)
キ ローラ類
ク ホイールクレーン

国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。
(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	
現場において再利用を図るもの	

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。

(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。
また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について
ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
「適正に処理」とするとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。

(1) 工事請負代金額が4,500万円以上(建築一式工事の場合9,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。
ア 現場施工に着手するまでの期間
【現場施工に着手する日が確定している場合】
請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。
【現場施工に着手する日が確定していない場合】
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。
イ 検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について
ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。

イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料等の写し)を提出しなければならない。

(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。
・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
・ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3ヵ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。
ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。

(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。

※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。
・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認めない。

(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。
【 ・火災保険 ・建設工事保険 ・組立保険 ・請負業者賠償責任保険】

(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。

(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。
ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあつては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。
イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。
ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。
エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。

(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。

(2) ゆいくる材の品質管理
ア ゆいくる材の品質管理にあたつては、「標準仕様書」等のほか「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。
イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に公益財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。
ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。
エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。

適用工事種別	技能検定作業

(1) 測定時期、測定対象室及び測定箇所数

測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考

(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。

※完成図 ※保全に関する資料
(1) 本工事の完成時の提出図書は、「當繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。

(2) 完成図は、(表1.7.1)に次表を含むものとする。

種類	記入内容
詳細図	監督員との協議による。

(3) 本工事は電子納品対象工事とする。
電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督員と協議するものとする。

(4) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか(公財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。
業務成果品(工事完成図書)は、電子媒体(CD-R等)で(正)1部提出すること。
「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定すること。
なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上決定すること。

(5) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。
ア ゆいくる材利用状況報告書
イ ゆいくる材出荷量証明書

(6) 建築物等の利用に関する説明書について
・ 「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き(国土交通省ホームページに掲載)を参考にして、記載事項は監督員との協議により決定する。

(7) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があつた場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。

本工事中では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。

(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。
【インターネット環境】 :ブロードバンド回線
【パソコンOS】 :Microsoft Windows 11
【推奨ブラウザ】 :Microsoft Edge
情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。

(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県CALSシステムを運営している者に支払うこと。

(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。(支払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)

・ 墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。

・ 本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象工事である。
実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事試行要領」及び「「労務費見積り尊重宣言」実施要領」(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとする。

・ 本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CCUS」という。)活用工事の試行対象であり、実施については、受注者における希望型とする。
受注者は、工事着手前までにCCUS活用について、実施の有無を工事打合簿にて発注者へ報告するものとする。
実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業振興基金)等を参照し実施するものとする。

工事名称

工事場所

発注機関

摘 要

検 印

定住促進住宅(努理客地区)2号棟新築工事

伊是名村字勢理客2498,2499番地

伊是名村役場建設環境課

縮 尺

図面番号

図面番号

令和 8 年度

建築工事特記仕様書(その2)

—

A-02

名 称

資格者氏名

登録番号

所 在 地

有限会社 ヨシ企画設計

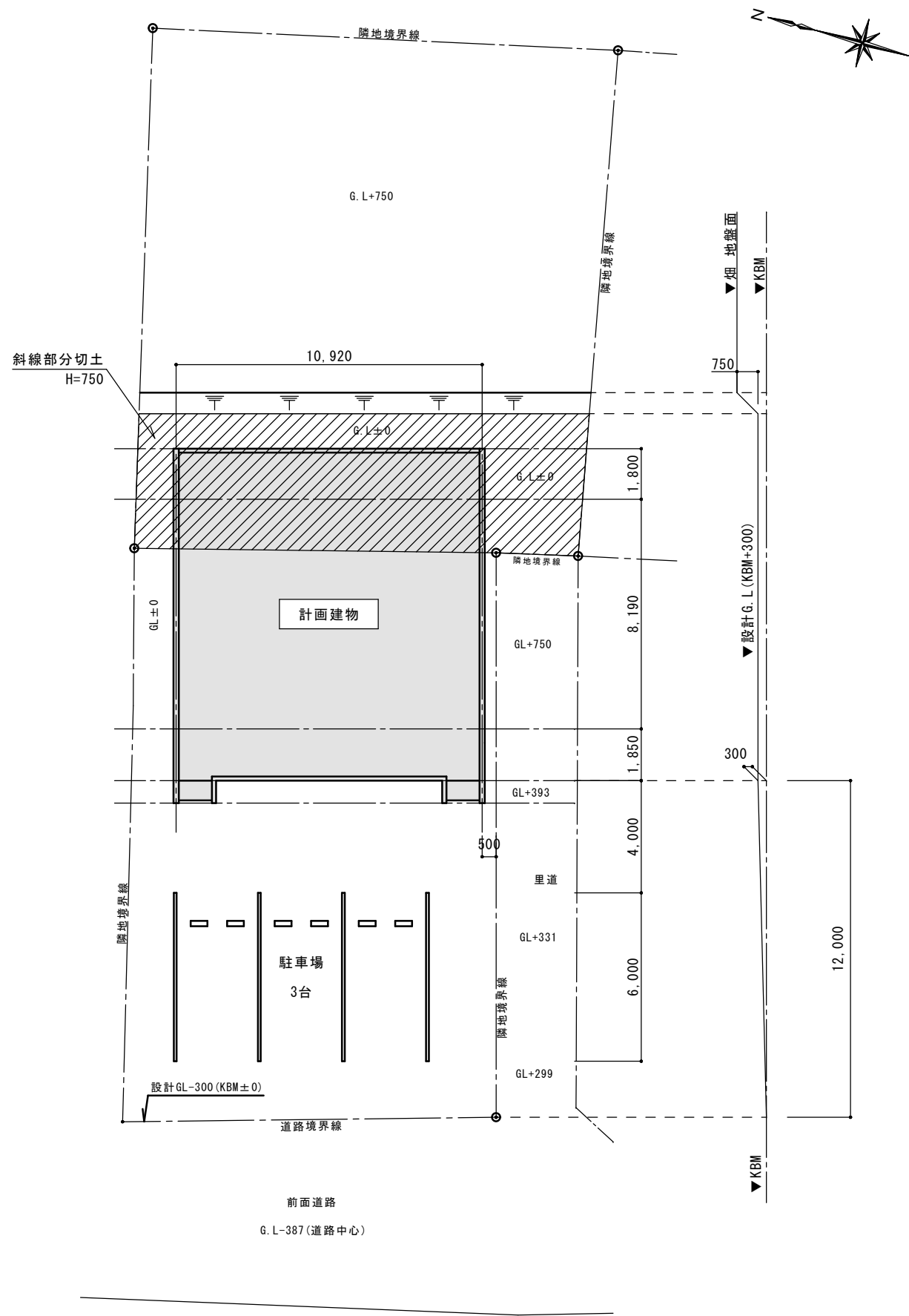
具志堅さおり

一級建築士 第316373号

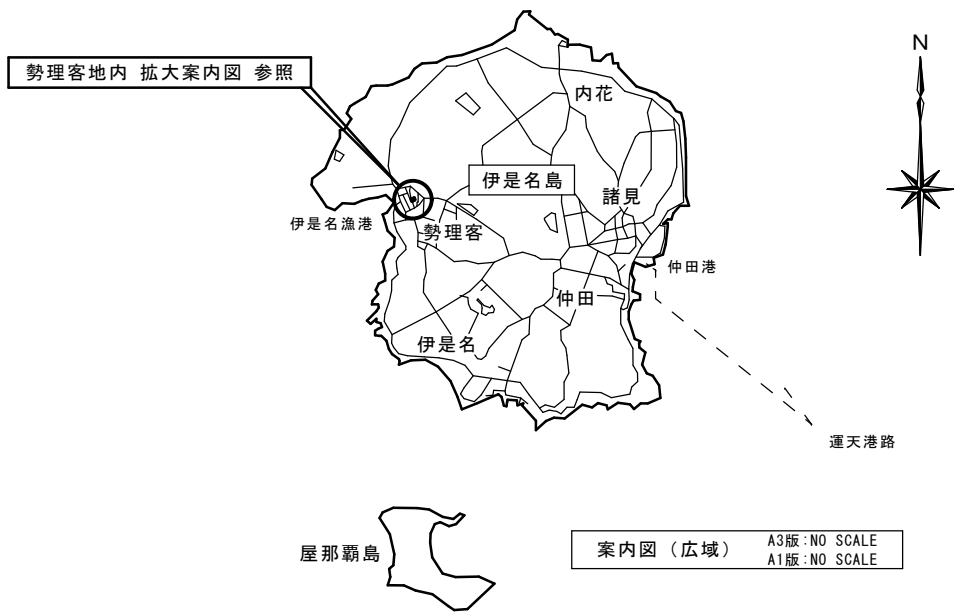
沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

10 石工事 へ 続 き へ	3 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	<table><tr><td>厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>目地幅</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	厚さ	石裏面処理	目地幅	備考					③防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	(3) 性能区分:性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。	2 せっこうボード その他のボード 下地(15.2.5)	<table><tr><td>材料</td><td>種類</td><td>厚さ</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材料	種類	厚さ							6 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・簡易気密型ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・簡易気密型ドアセット																																																																																																																																																		
	厚さ	石裏面処理	目地幅	備考																																																																																																																																																																												
材料	種類	厚さ																																																																																																																																																																														
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																													
・簡易気密型ドアセット																																																																																																																																																																																
4 特殊部位の石張り(10.7.1) (10.7.2)(10.7.3)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>石材の厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>裏打ち処理</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考							④防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料() (2) 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験: 【 ・実施する ・実施しない】	7 ステンレス製建具 (16.6.2)(16.6.3)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考(材料等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																								
施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																																																																																																																																																											
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																												
11 タイル工事	1 タイル (11.2.2)(11.3.2)	(1) タイルの種類 <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状・寸法</td><td>うわぐすり</td><td>吸水率</td><td>役物</td><td>色</td><td>耐滑り性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) タイルの試験張り:【 ・行う ・行わない】 (3) タイルの見本焼き:【 ・行う ・行わない】	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性								13 屋根及びとい工事	1 長尺金属板葺 (13.2.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>屋根葺形式</td><td>板及びコイルの種類</td><td>塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号</td><td>厚さ等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 下葺材料:【 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】	施工箇所	屋根葺形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等						④仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1)	<table><tr><td>種類</td><td>呼び名</td><td>仕上げる形状・工法等</td></tr><tr><td>図示</td><td>図示</td><td>図示</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	呼び名	仕上げる形状・工法等	図示	図示	図示				⑧木製建具 (16.7.2) (16.7.4)	(1) かまち戸 かまちの樹種: 、鏡板の樹種:																																																																																																																																						
施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性																																																																																																																																																																										
施工箇所	屋根葺形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等																																																																																																																																																																												
種類	呼び名	仕上げる形状・工法等																																																																																																																																																																														
図示	図示	図示																																																																																																																																																																														
2 あと張り工法 (11.2.6)(11.3.6) (表11.2.3) (表11.3.2)	壁タイル張りの工法等 <table><tr><td>タイルの種類</td><td>大きさ</td><td>工法</td><td>張付け材料の種類、塗厚等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理: 【 ・MCR工法 ・目荒らし工法】	タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等					2 折板 (13.3.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>形式の区分</td><td>山高・山ピッチ</td><td>耐力による区分</td><td>材料による区分</td><td>厚さ</td></tr><tr><td>図示</td><td>図示</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (1) 軒先面戸板の適用: 【 ・有り ・なし】 (2) 断熱材張り 【 ・実施する ・実施しない】	施工箇所	形式の区分	山高・山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ	図示	図示					7 しっくい塗り (15.10.2)	(1) しっくい: ・現場調査材料 ・既調査材料() 仕上げ厚さ:	⑨建具用金物 (16.8.2)(16.8.3) (表16.8.1)	(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法 <table><tr><td>形式</td><td>金物の種類</td><td>見え掛け部の材質</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	形式	金物の種類	見え掛け部の材質	備考																																																																																																																																																	
タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																																																																																																																																																																													
施工箇所	形式の区分	山高・山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ																																																																																																																																																																											
図示	図示																																																																																																																																																																															
形式	金物の種類	見え掛け部の材質	備考																																																																																																																																																																													
12 木工事	①木材 (12.2.1) (表12.2.1)	(1) 木材(下地材)の含水率: ※A種 ・B種 木材(造作材)の含水率: ※A種 ・B種 (2) 製材 【 ・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外による】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 造作用集成材 【 ・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>化粧薄板の厚さ</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表面の品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (5) 合板等【 ・普通合板 ・構造用合板】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>厚さ品質、等級等</td><td>接着の程度</td><td>防虫・強度等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表裏面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (7) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理													施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ													施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理											施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等											施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性													施工箇所	厚さ	等級							④軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(14.4.4)	1 瓦 (13.4.3)	(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 (2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【 ・1名以上配置 ・施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置】 (1)瓦の緊結方法: () <table><tr><td>材種</td><td>規格名称</td><td>材質</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材種	規格名称	材質	備考	図示				⑩建具工事	1 防火戸等 (16.1.3)(16.1.6) 2 見本の製作等 (16.1.4) ③アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐震ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種類 種別: B－1 複合皮膜の種類: 【 ・A1 ・A2】(JIS H 8602) (4) 結露水の処理方法: (5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。 (1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 表面色: (4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級【 ・ 】	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所													ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・防音ドアセット				・断熱ドアセット				・耐震ドアセット				種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所													ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・防音ドアセット				・断熱ドアセット				11 自動ドア開閉装置(16.9.3) (表16.9.4)	12 シャッター (16.11.2) (16.12.2) (16.12.4)	(1) シャッターの種類①・重量() ・軽量】 (2) 耐風圧強度: (3) 開閉機能: 【 ・手動式○ ・電動式】 (4) 重量シャッターの場合のシャッターケース: 【 ・設ける ・設けない】 (5) スラットの形式: 【 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形】
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																																																																																																																																																																												
施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	等級																																																																																																																																																																														
材種	規格名称	材質	備考																																																																																																																																																																													
図示																																																																																																																																																																																
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																											
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																													
・防音ドアセット																																																																																																																																																																																
・断熱ドアセット																																																																																																																																																																																
・耐震ドアセット																																																																																																																																																																																
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																											
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																													
・防音ドアセット																																																																																																																																																																																
・断熱ドアセット																																																																																																																																																																																
(表12.2.2)	(1) 木材(下地材)の含水率: ※A種 ・B種 木材(造作材)の含水率: ※A種 ・B種 (2) 製材 【 ・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外による】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 造作用集成材 【 ・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>化粧薄板の厚さ</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表面の品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (5) 合板等【 ・普通合板 ・構造用合板】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>厚さ品質、等級等</td><td>接着の程度</td><td>防虫・強度等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表裏面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (7) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理													施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ													施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理											施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等											施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性													施工箇所	厚さ	等級							13 オーバーヘッドドア(16.13.2)	(1) 耐風圧性能の区分: (2) 開閉機能: 【 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式】 (3) 収納形式による区分:	⑭ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5)	(1) ガラスの種類及び厚さ等 <table><tr><td>ガラスの種類</td><td>厚さ等</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示</td><td>図示</td><td></td></tr></table> (2) ガラス留め材 <table><tr><td>建具の種類</td><td>材種</td></tr><tr><td>図示</td><td></td></tr></table> (3) 熱線反射ガラスの映像調整: (4) ガラスブロックの材料及び工法 表面形状呼び寸法 厚さ 壁用金属枠 補強材 色 金属製化粧カバー	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示	図示		建具の種類	材種	図示																																																																					
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																																																																																																																																																																												
施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	等級																																																																																																																																																																														
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																																																																																																																														
図示	図示																																																																																																																																																																															
建具の種類	材種																																																																																																																																																																															
図示																																																																																																																																																																																
②土壌の防蟻処理	(1) 施工箇所:「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行)Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。 (2) 処理薬剤:(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。 (3) 処理方法:「防除施工標準仕様書」Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。	⑤金属工	1 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)	(1) 金属成形板の種別及び表面処理: (2) 長尺の場合における伸縮調整継手:	5 鋼製建具 (16.4.1)(16.4.2)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考(材料等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・簡易気密型ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 鋼板の種類: 【 ・JIS G 3302 ・JIS G 3317】 (4) 重量がある扉等 ・24 その他 1重量がある扉等 による。	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)						ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・簡易気密型ドアセット				17 カーテンウォール工事	1 カーテンウォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6)	(1) カーテンウォールの種類:【 ・メタル ・PC】 (2) 性能 <table><tr><td>耐風圧性能</td><td>耐震性</td><td>水密性</td><td>気密性</td><td>耐火性</td><td>耐温度性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 材料の種類 <table><tr><td>金属材料</td><td>シーリング材</td><td>耐火目地材</td><td>断熱材</td><td>構造ガasket</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) 先付け材料:【 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・ 】 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ: (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け:	耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	構造ガasket																																																																																																																																
施工箇所	気密性						水密性	耐風圧性	備考(材料等)																																																																																																																																																																							
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																																													
・簡易気密型ドアセット																																																																																																																																																																																
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																									
金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	構造ガasket																																																																																																																																																																												
③防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	木材処理(防蟻・防虫) (1) 施工箇所:合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法:工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。	⑥左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合() (2) 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合の下地の仕様()	6 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							工事名称 定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事 工事年度 令和 8 年度 工事場所 伊是名村字勢理客2498,2499番地 図面名称 建築工事特記仕様書(その4) 発注機関 伊是名村役場建設環境課 縮 尺 ー 摘 要 図面番号 A-04 検 印 管理建築士 設 計 製 図 設 計 者 資 格 者 氏 名 有 限 会 社 ヨ シ ン 企 画 設 計 登 録 番 号 具 志 堅 さ お り 所 在 地 一 級 建 築 士 第 316373 号 沖 縄 県 名 護 市 宮 里 七 丁 目 6 番 6 号																																																																																																																																																													
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																																																											

⑱ 塗装工事	① 塗装の種類及び種別 (18.1.7) (18.2.2) -(18.12.2)	<table><tr><td>塗装面</td><td>素地ごしらえ 工程の種別</td><td>塗料の名称・ 種類</td><td>塗装工程の 種別</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 防火材料の指定【・有　・無し】 (1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2) 保証期間は、工事完成後【　】年間とする。	塗装面	素地ごしらえ 工程の種別	塗料の名称・ 種類	塗装工程の 種別	施工箇所		図示による									5 手すり (20.2.6)	(1) 手すり 【・SUS304（表面処理　・　※HL程度　） ・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき （※標準仕様書表14.2.2による種別（・　種）） ・　】	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2)	構成及び厚さ:【・図示による(A-　)　・　】																																								
	塗装面	素地ごしらえ 工程の種別	塗料の名称・ 種類	塗装工程の 種別	施工箇所																																																								
	図示による																																																												
	② 保証		6 階段滑り止め (20.2.6)			7 ブロック系舗装 (22.8.1)	(1) ブロック系舗装の適用:【・コンクリート平板舗装　・インターロッキングブロック舗装　・舗石舗装】 (2) 種類及び寸法等:【・図示による(A-　)　・　】 (3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【　】																																																						
⑲ 内装工事	① ビニル床シート等 (19.2.2) (19.2.3)	(1) ビニル床シートの材料及び工法 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類の記号</td><td>色柄</td><td>厚さ</td><td>熱溶接工法の適用</td></tr><tr><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td><td>・有り　・無し</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・有り　・無し</td></tr></table> (2) ビニル床タイル、ゴム床タイル <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類（・形状）</td><td>厚さ等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 特殊機能床材の適用: 【・帯電防止床シート又は床タイル　・視覚障害者用床タイル　・耐動荷重性床シート　・防滑性床シート又は床タイル】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類（・形状）</td><td>厚さ等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td>施工箇所</td><td>カーベットの種類・種別</td><td>厚さ</td><td>バイル形状等</td><td>工法</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・グリップー　・全面接着</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・グリップー　・全面接着</td></tr></table> (1) 帯電性の適用【・有り　・無し】 (2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。	施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用	図示による				・有り　・無し					・有り　・無し	施工箇所	種類（・形状）	厚さ等				施工箇所	種類（・形状）	厚さ等				施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	バイル形状等	工法					・グリップー　・全面接着					・グリップー　・全面接着	8 ロールスクリーン(20.2.15)	(1) 間知石 <table><tr><td>材種</td><td>目塗り</td><td>目地の材種・厚さ等</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>図示【A-　】</td></tr></table> (2) コンクリート間知ブロックの適用がある場合の種類及び質量区分:【・　】	材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所				図示【A-　】	23 植栽及び屋上緑化工事工事	1 植栽地の確認 (23.1.3) (23.2.2) (23.2.3)	(1) 植栽地の土壌試験: (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材: (4) 植込み用土:				
	施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用																																																								
図示による				・有り　・無し																																																									
				・有り　・無し																																																									
施工箇所	種類（・形状）	厚さ等																																																											
施工箇所	種類（・形状）	厚さ等																																																											
施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	バイル形状等	工法																																																									
				・グリップー　・全面接着																																																									
				・グリップー　・全面接着																																																									
材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所																																																										
			図示【A-　】																																																										
	2 カーベツ敷き (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)		9 カーテン (20.2.16)			2 植樹 (23.3.2) -(23.3.4) (23.3.6)	(1) 種類等 <table><tr><td>樹木の種類</td><td>樹高(m)</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>支柱の形</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>整備範囲は図示による</td></tr></table> (2) 新植樹木の枯補償の期間:【※1年　・(　)年】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年　・(　)年】	樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考					整備範囲は図示による																																												
樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考																																																									
				整備範囲は図示による																																																									
	3 合成樹脂塗床 (19.4.3)		10 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2) (20.4.3)			3 芝張り等 (23.4.2)	(1) 芝の種類: (2) 種子の種類及び量: (3) 地板類 <table><tr><td>土壌層の厚さ</td><td>排水層の厚さ</td><td>樹木の樹種、寸法、数量</td><td>支柱の形式</td><td>かん水装置</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。	土壌層の厚さ	排水層の厚さ	樹木の樹種、寸法、数量	支柱の形式	かん水装置																																																	
土壌層の厚さ	排水層の厚さ	樹木の樹種、寸法、数量	支柱の形式	かん水装置																																																									
	④ フローリング張り (19.5.2)(19.5.3)		11 くつふきマット			4 屋上緑化 (23.5.2)(23.5.3) (23.5.4)																																																							
	5 フローリングボードの特殊張り	体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。	⑫ 流し台ユニット																																																										
	6 畳敷き (19.6.2)	(1) 畳の種類【・A種　・B種　・C種　・D種(種別:　)】 (2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。	21 排水工事	1 排水管 (21.2.1)	<table><tr><td>材種</td><td>管の種類</td><td>呼び径</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材種	管の種類	呼び径	備考					24 その他	1 重量がある扉等	・図示による【・(A-　)　・　】 ・施工図及び施工計画書(工場製作要領書・工事現場施工要領書を含む)の記載事項は、標準仕様書16章建具工事に加え、標準仕様書7章鉄骨工事に準じることとし、扉の取り付け方法、溶接、塗装計画、ボルト等接合作業手順等を考慮しながら品質計画を作成する。施工図及び施工計画書を工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出し承諾を得るものとする。																																													
材種	管の種類	呼び径	備考																																																										
	⑦ セッコウボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2) (19.7.3) (表19.7.5)	(1) セッコウボード <table><tr><td>規格名称</td><td>種類の記号</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td><td>目地工法の種類</td></tr><tr><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 合板の種類 <table><tr><td>合板の名称</td><td>施工箇所</td><td>その他の仕様</td></tr><tr><td>図示による</td><td></td><td>※図示(A-　)による。</td></tr></table> ※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。 (3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【・　】	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	図示による										合板の名称	施工箇所	その他の仕様	図示による		※図示(A-　)による。		2 側塊、排水枅等 (21.2.1)	(1) 側塊 <table><tr><td>形状</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 排水枅 <table><tr><td>種類</td><td>適用荷重</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) グレーチング <table><tr><td>材質</td><td>用途</td><td>適用荷重</td><td>メインバーピッチ</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) 地業の材料:【　】 基床の厚さ及び種類:図示による。 コンクリート縁石及び側溝 <table><tr><td>名称</td><td>規格名称</td><td>形状</td><td>寸法等</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	形状	寸法	備考				種類	適用荷重	備考				材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考						名称	規格名称	形状	寸法等	備考								
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																																																									
図示による																																																													
合板の名称	施工箇所	その他の仕様																																																											
図示による		※図示(A-　)による。																																																											
形状	寸法	備考																																																											
種類	適用荷重	備考																																																											
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																																									
名称	規格名称	形状	寸法等	備考																																																									
	⑧ 壁紙張り (19.8.2)	品質及び防火性能:【　】	⑫ 舗装工事	1 路床(22.2.2) (22.2.3)(22.2.5) (表22.2.1)	(1) 路床の種類等 <table><tr><td>層の種類</td><td>厚さ</td><td>盛土の材料</td><td>路床安定処理</td><td>試験</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) ジオテキスタイルの適用及び品質:	層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																																			
層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																																									
	⑨ 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	断熱材の種類及び厚さ:【　】		2 路盤 (22.3.2)(22.3.5)	(1) 路盤の厚さ:【　】 (2) 締固め度試験:【　】																																																								
⑳ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア(20.2.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>寸法</td><td>高さ</td><td>耐震性能</td><td>所定荷重</td><td>帯電防止性能</td><td>漏えい抵抗</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗									⑬ アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(1) 構成及び厚さ:①・図示による(A-20)　・　】 (2) 加熱アスファルト混合物等の種類:【・密粒度アスファルト混合物(13)　・再粒度アスファルト混合物(13)】 (3) シールコートの適用:【・有り　・無し　】																																										
	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗																																																						
2 可動間仕切 (20.2.3)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>構造形式</td><td>構成基材</td><td>遮音性</td><td>表面仕上げ</td><td>建具寸法等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	構造形式	構成基材	遮音性	表面仕上げ	建具寸法等								4 コンクリート舗装(22.5.2)	(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-　)　・　】																																													
施工箇所	構造形式	構成基材	遮音性	表面仕上げ	建具寸法等																																																								
3 移動間仕切 (20.2.4)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>表面材</td><td>操作方法</td><td>遮音性</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> あと施工アンカーの使用:【・有り　・無し】材質、寸法等は図示による。	施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考								5 カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-　)　・　】 (2) 種類:【・加熱系(　)　・常温系(　)　】 (3) 添加する着色骨材又は自然石【・図示による(A-　)　・　】 (4) その他【・　】																																													
施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考																																																								
4 トイレブース (20.2.5)	<table><tr><td>表面材の材質</td><td>脚部の形状及び寸法</td><td>ドアエッジの形状及び材質</td></</tr></table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																									
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																											



配置図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100



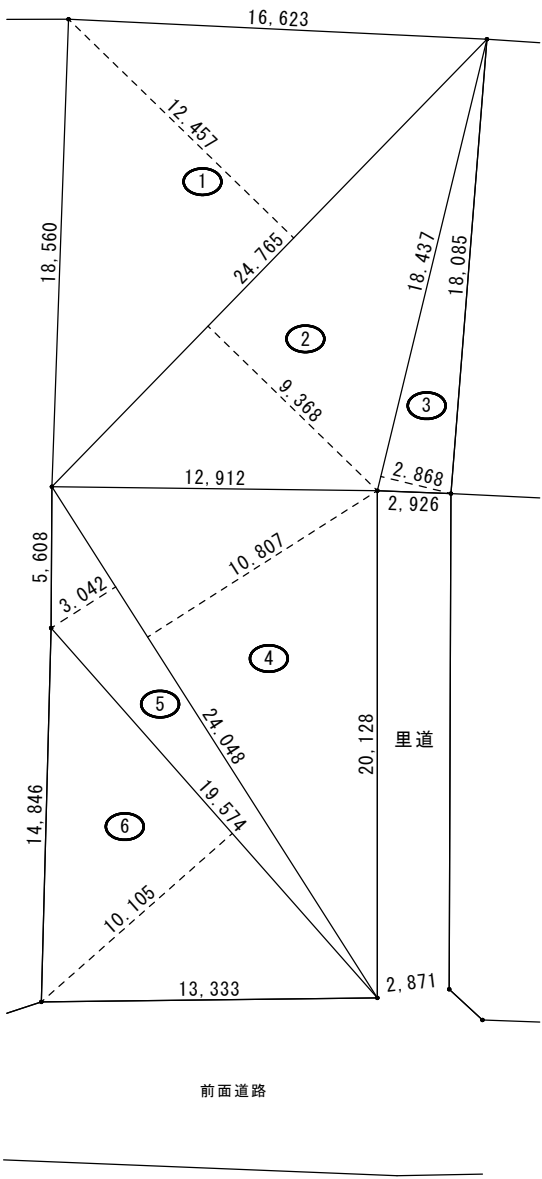
案内図 (広域) A3版:NO SCALE A1版:NO SCALE

工事名称	定住促進住宅勢理客 2号棟新築工事
工事場所	伊是名村 字 勢理客 2498・2499番地



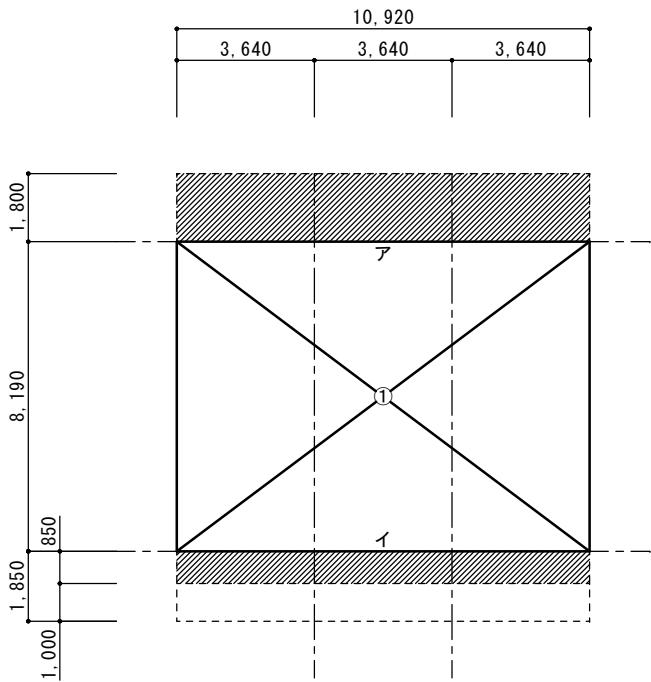
案内図 A3版:NO SCALE A1版:NO SCALE

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	案内図・配置図
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	A3版:S=1/300, A1版:S=1/150
摘 要	図面番号 A-06		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名	有限会社 ヨシ企画設計
		資格者氏名	具志堅さおり
		登 録 番 号	一級建築士 第316373号
		所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号



敷地求積図 A3版：S=1/300
A1版：S=1/150

敷地求積表		
番号	計 算 式	面 積
1	24.77 × 12.46 ÷ 2	154.31710
2	24.77 × 9.37 ÷ 2	116.04745
3	18.44 × 2.87 ÷ 2	26.46140
4	24.05 × 10.81 ÷ 2	129.99025
5	24.05 × 3.04 ÷ 2	36.55600
6	19.57 × 10.11 ÷ 2	98.92635
合 計		562.29855
敷 地 面 積		562.29 m ²



建物求積図 A3版：S=1/200
A1版：S=1/100

《 床面積 》
① 10.92 × 8.19 = 89.4348
89.43 m²

《 建築面積 》
① 10.92 × 8.19 = 89.4348
ア 10.92 × 1.80 = 19.6560
イ 10.92 × 0.85 = 9.2820
118.3728
118.37 m²

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	求積図・求積表	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版：S=1/200, S=1/300 A1版：S=1/100, S=1/150	
摘 要				図面番号	A - 0 7	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

【 内部仕上表 】

室 名	床 高	床	巾 木	腰 壁	見切り	壁	天井高	廻り縁	天 井	備 考
玄 関	GL+400	コンクリート打放し金こて仕上 厚2.0mm ビニールシート張り	木製巾木 7×50 ダイクン 通常タイプ 同等品	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	出隔壁 塩ビ見切	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	CH=2,500	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	靴箱：F20型750 普及シリーズ DAIKEN 同等品 上 框
キッチン	GL+500	鋼製置床 厚20mmパーティクルボード張り 厚12mmラワン合板下地 厚15mmチークフローリング [※] （集成／塗装品）	木製巾木 7×50 ダイクン 通常タイプ 同等品	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上 一部：キッチンパネル仕上	壁塩ビ見切	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上 一部：キッチンパネル仕上	CH=2,400	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	流し台・ガス台・面台 レンジフード 水切り棚・吊り棚 床下点検口 天井点検口
洋 室	GL+500	鋼製置床 厚20mmパーティクルボード張り 厚12mmラワン合板下地 厚15mmチークフローリング [※] （集成／塗装品）	木製巾木 7×50 ダイクン 通常タイプ 同等品	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	－	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	CH=2,400	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	
収 納	GL+500	鋼製置床 厚20mmパーティクルボード張り 厚12mmラワン合板下地 厚15mmチークフローリング [※] （集成／塗装品）	木製巾木 7×50 ダイクン 通常タイプ 同等品	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	－	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	CH=2,400	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	ハンカ・ハーフ [※] 枕棚、天井点検口
洗面室	GL+500	鋼製置床 厚20mmパーティクルボード張り 厚12mmラワン合板下地 厚15mmチークフローリング [※] （集成／塗装品）	木製巾木 7×50 ダイクン 通常タイプ 同等品	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	－	R C 面 ：厚12.5mm石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm石膏ボード張り下地 ビニルクロス仕上	CH=2,400	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm耐水石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	洗面化粧台 床下点検口 天井点検口 洗濯機パン（設備工事）
トイレ	GL+500	鋼製置床 厚20mmパーティクルボード張り 厚12mmラワン合板 ＋ 厚12mmラワン合板下地 厚2.0mm ビニールシート張り	ソフト巾木 H=60	R C 面 ：厚12.5mm耐水石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm耐水石膏ボード張り下地 キッチンパネル仕上（突付）	－	R C 面 ：厚12.5mm耐水石膏ボード接着張り下地 L G S 面：厚12.5mm耐水石膏ボード張り下地 キッチンパネル仕上（突付）	CH=2,400	塩ビ見切り	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm耐水石膏ボード捨張りの上 厚9.0mmロックウール化粧吸音板張り	物入棚
U S	－	シャワーユニット	－	シャワーユニット	－	シャワーユニット	－	－	シャワーユニット	

【 外部仕上表 】

外廊下	床 ：コンクリート打放し 金ゴテ押え仕上 軒裏：コンクリート打放し補修 素地ごしらえ（B種） EP-G塗り（工程B種・見上）	ベランダ	床 ：コンクリート打放し 金ゴテ押え仕上 軒 裏：コンクリート打放し補修 素地ごしらえ（B種） EP-G塗り（工程B種・見上） 軒裏先：アイボルト（SUS304）4-M10 3か所
外 壁	コンクリート打放し補修 下地調整（C-1）、複層塗材E （ゆず肌・ローラー塗り・7リル系・水系・艶あり・上塗2回）		
軒 裏	コンクリート打放し補修 素地ごしらえ（B種）の上 EP-G塗り（工程B種・見上）	物干し金物	バルコニー物干金物（縦収納・ポール型） 3か所 物干部：550mm・ポール：850mm（2本1組）アルミ製
屋 根	スラブコンクリート打放し 金ゴテ押えの上 ウレタン塗膜防水仕上（平面：3mm／立上り：2mm） （X-2・ふっ素系・MOCA無配合）	タラップ	ステンレスタラップ（SUS304）滑止めローレット加工 φ19mm×W300×H300：6本 @300
天井換気口	SK-75 AP（7ミ+ハーフ）SU-φ75 止水板付 プラスチック製 12か所	施設銘板	コンクリート打込文字（発砲樹脂打込み） H300×W300×D23mm 14文字
室名札	7リミ室名札 W150×H120×D15mm 3か所 名札正面落込み式	駐車場	厚50mm アスファルト舗装 駐車スペース：3台 W=100mm 駐車区画白線引き、車止め：L=600mm×6か所 片面歩車道ブロック L=600mm
ポスト	ポスト H340×H400mm 横入前出／壁付・防滴タイプ ステンレス製 SUS304 3か所		

【 特 記 仕 様 】

- 造作材：メラビーマ
- 構造材（K3）・造作材（K1+K3）は全て防虫防蟻、防腐処理をした材料を使用する。（証明書を提出）
- 土間下（建物周囲 1.0mまで）、土壌処理後 厚0.15mmポリエチレンフィルム敷き。
- 内外装材、塗装等の色は、監理者と打合せの上、決定する。
- 床張り工事の計画については、施工前に監理者と打合せを行い決定する。
- 天井点検口、床下点検口、天井換気口、クーラースリフ[※]の位置は、監理者と打合せの上決定する。
- 点検口、照明器具等の天井への欠き込み及び開口補強は、建築工事とする。
- 建築工事と設備工事の取合いの多い部分は、事前に監理者を含めて協議した後、施工する。
- 勾配や段差につて事前に監理者と協議をする。
- シックハウス症候群等に考慮した特定木質建材料や接着剤、塗装材は監理者と協議し選定する。
- 使用する材料はF☆☆☆☆製品とする。それ以外の材料を使用する場合は監理者と協議の上決定する。
- 使用材料の等級・種類・またはJ A S ・ J I S 認定書の写し等をファイルにまとめて提出する。
- 使用材料の搬入時及び施工時の写真をファイルにまとめて提出する。
- その他の内容の施工については、施工前に監理者と十分協議し施工すること。

【 不燃番号 】

- ・厚12.5mm石膏ボード

・厚12.5mm耐水石膏ボード

・厚3.0mmキッチンパネル（アイカセーラル[※]／不燃化粧板）

・ビニルクロス（一般部）

・ビニルクロス（水廻り）

・厚9.5mm石膏ボード

・厚9.0mmロックウール化粧吸音板
- NM-8619（不 燃）

QM-0493（準不燃）

NM-2183（不 燃）

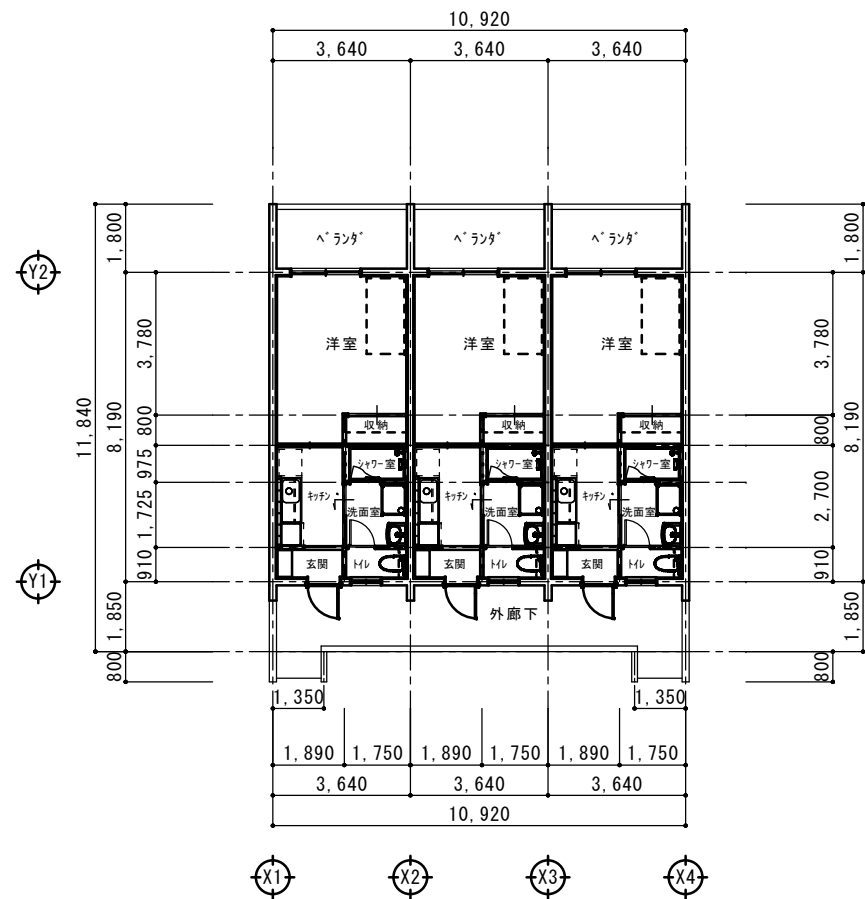
準不燃（防火種別：2-3）

準不燃（防火種別：2-3）

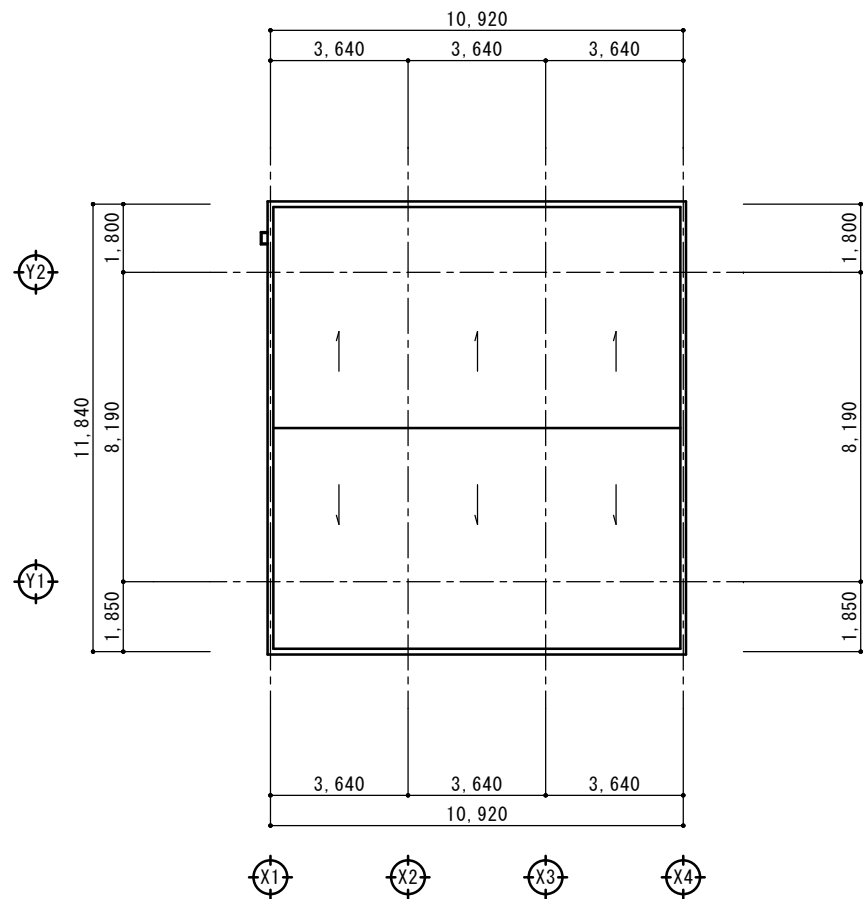
QM-9828（準不燃）

NM-8599（不 燃）

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	仕上表	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版：NO SCALE、A1版：NO SCALE	
摘 要				図面番号	A-08	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
					資格者氏名	具志堅さおり
					登録番号	一級建築士 第316373号
					所在地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

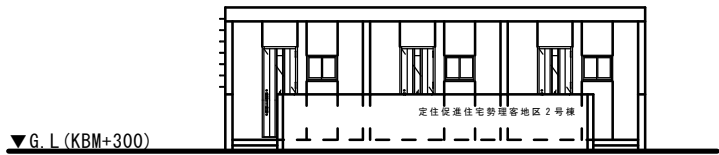


平面図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100



屋根伏図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100

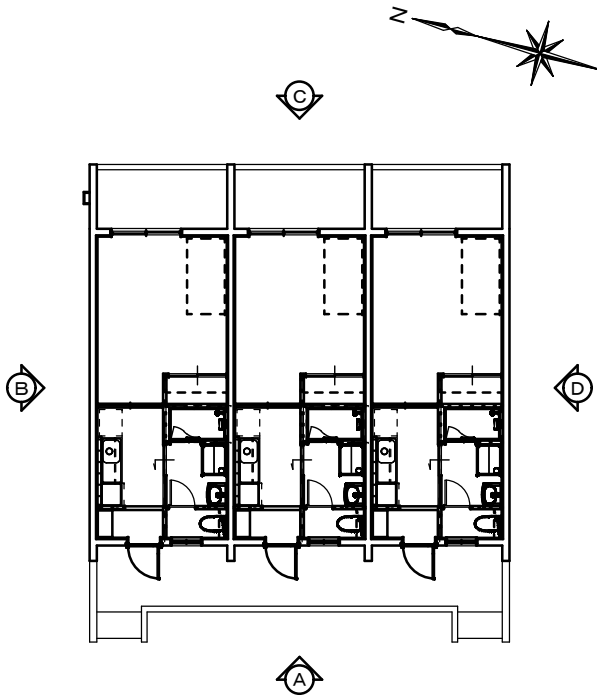
工事名称				工事年度	令和 8 年度	
工事場所				図面名称	平面図・屋根伏図	
発注機関				縮 尺	A3版:S=1/200, A1版:S=1/100	
摘 要				図面番号	A - 0 9	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



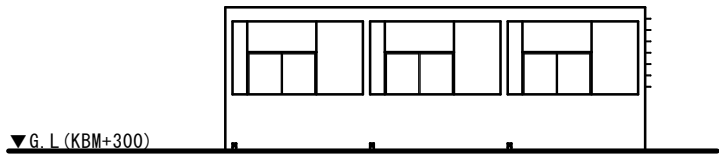
西側立面図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100



北側立面図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100



立面図 KEYPLAN

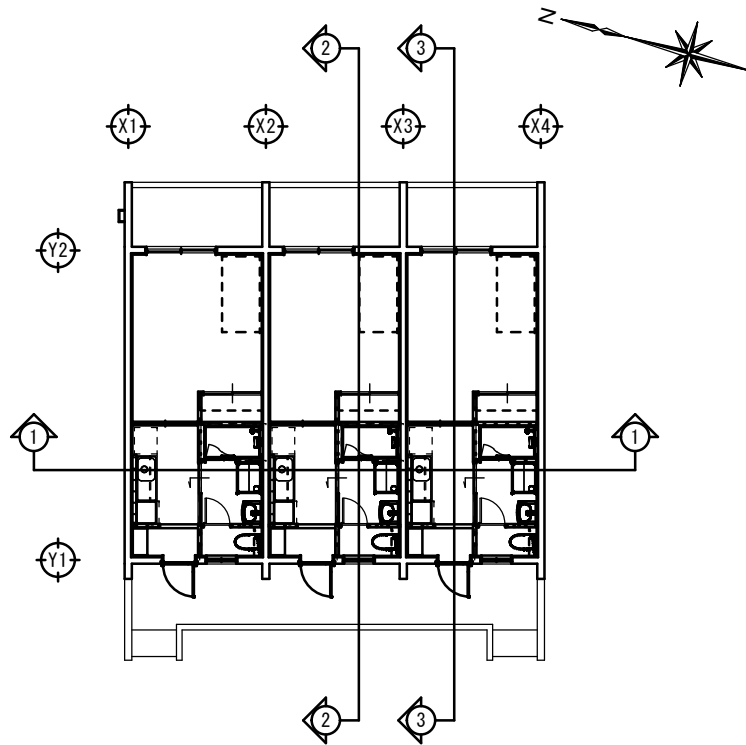


東側立面図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100

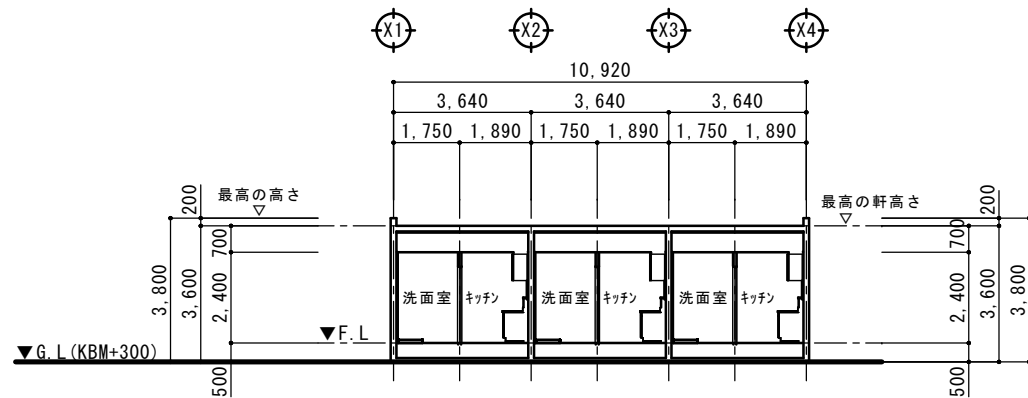


南側立面図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100

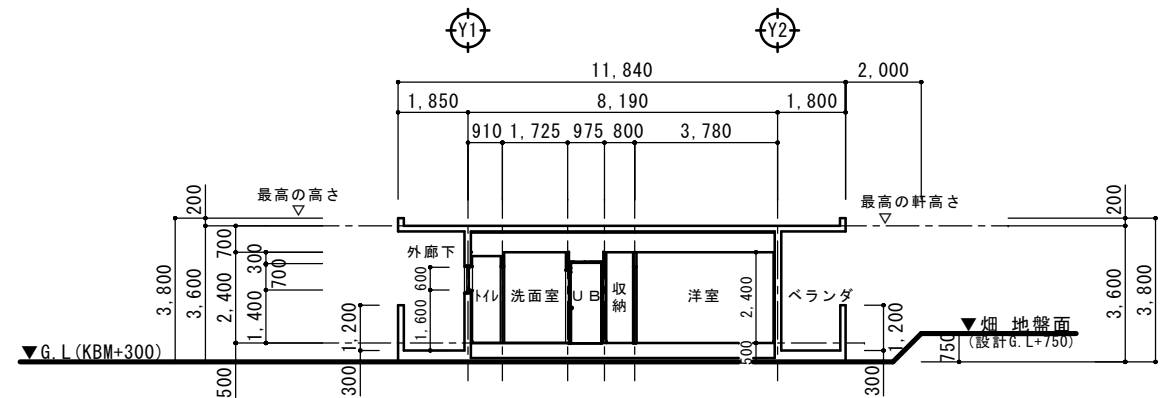
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	立面図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版 : S=1/200, A1版 : S=1/100	
摘 要				図面番号	A - 1 0	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



断面 KEYPLAN

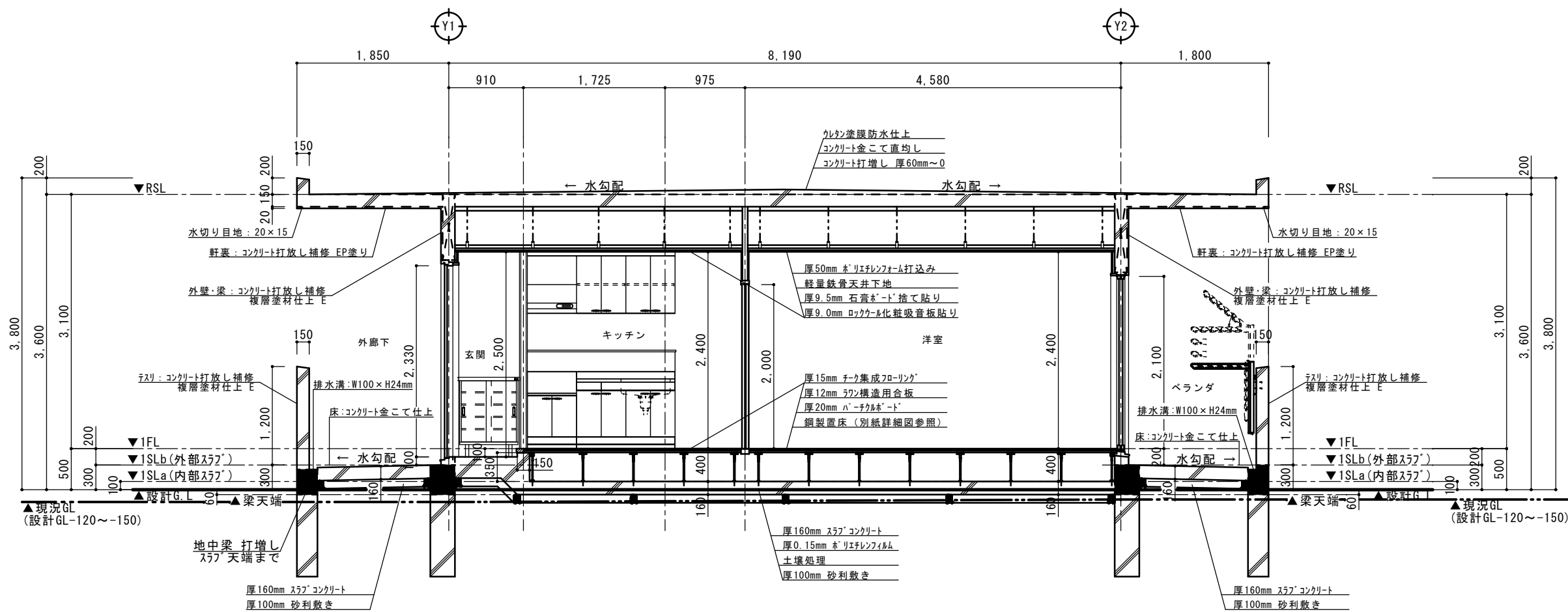


断面図 1-1 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100



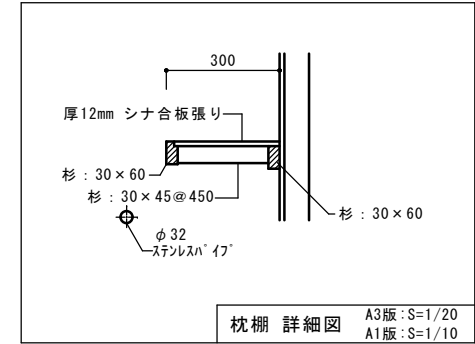
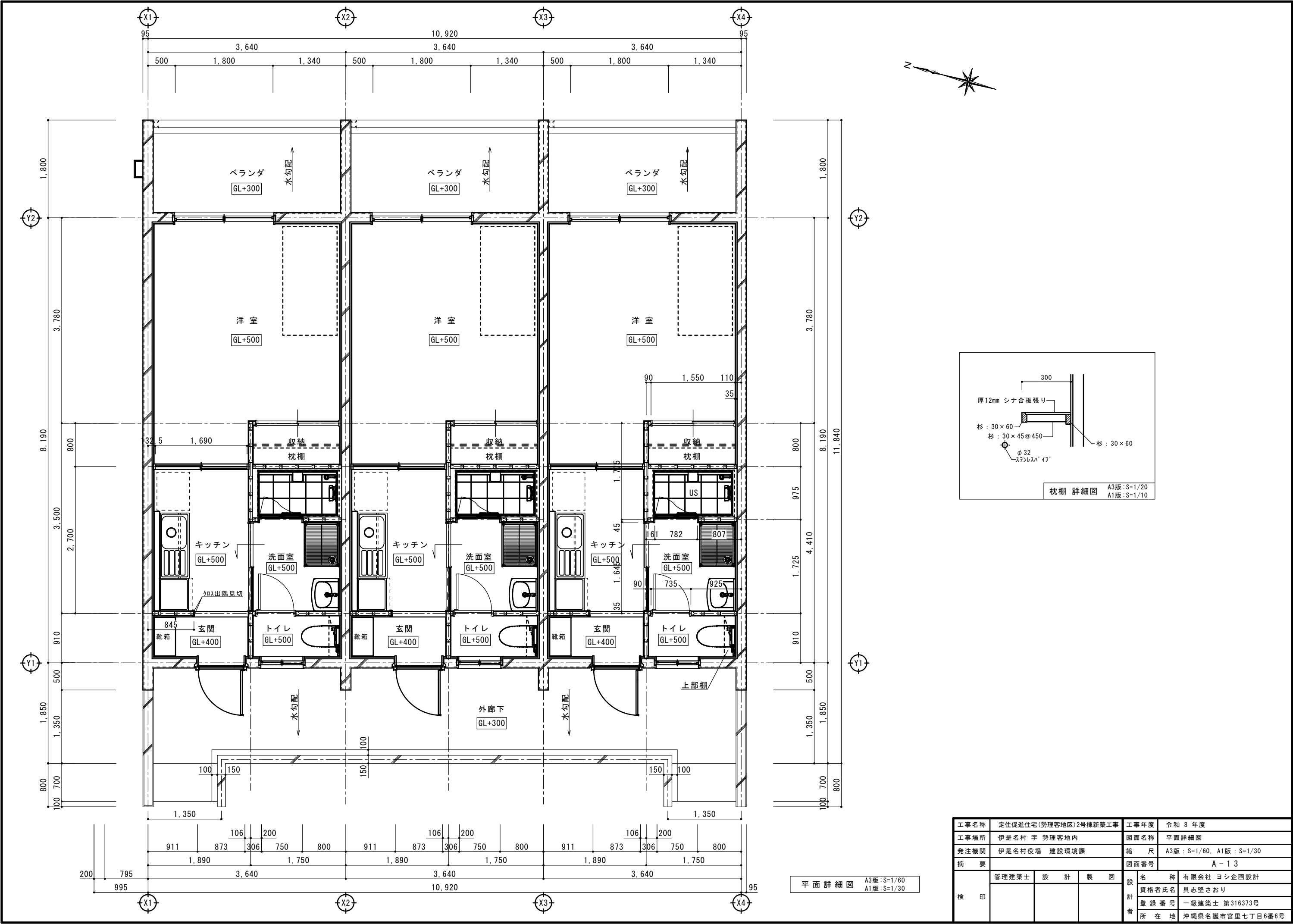
断面図 2-2 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	断面 図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/200, A1版:S=1/100	
摘 要				図面番号	A - 1 1	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

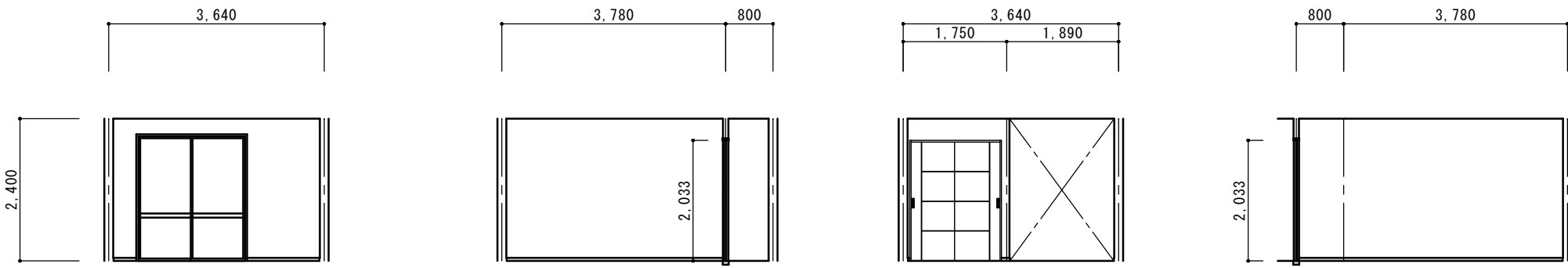
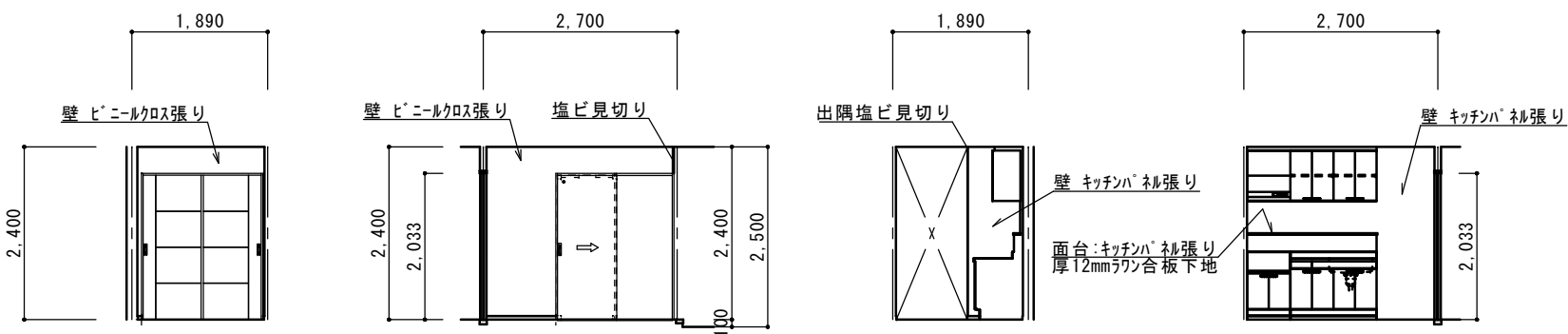
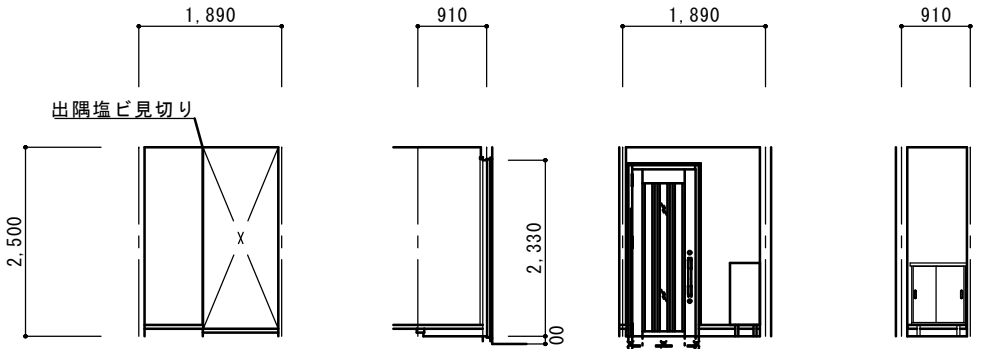
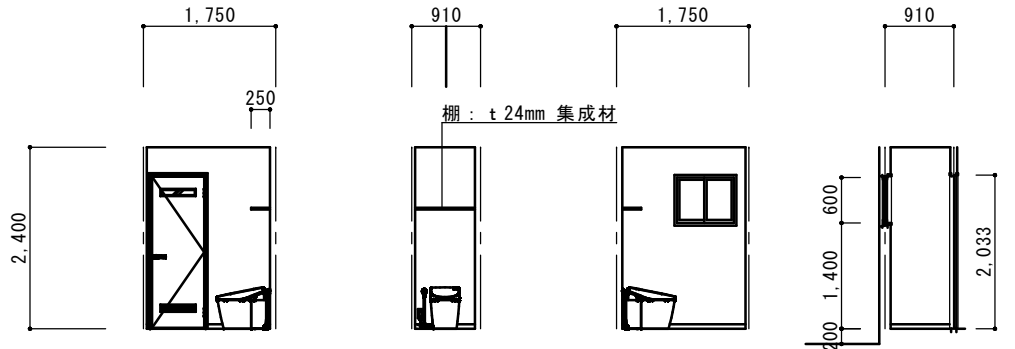
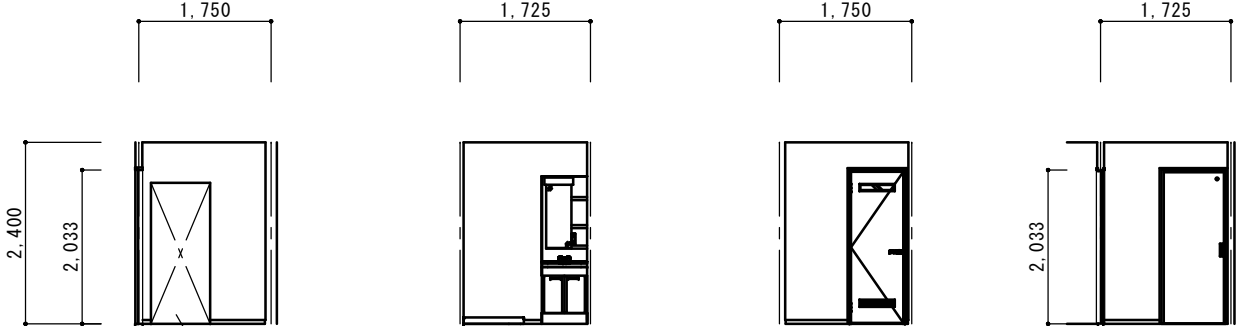


③-③ 断面詳細図 A3版:S=1/60
A1版:S=1/30

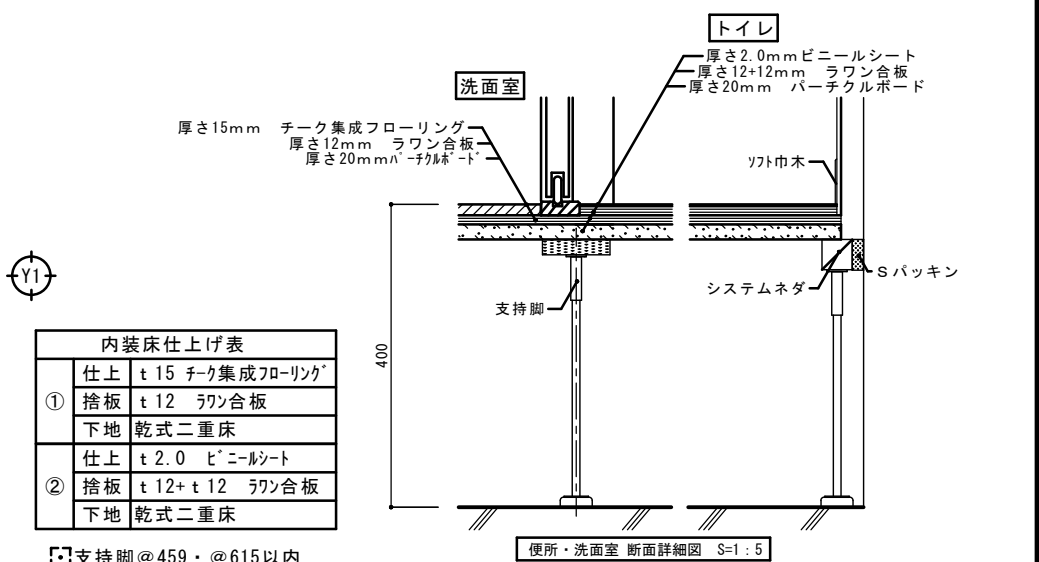
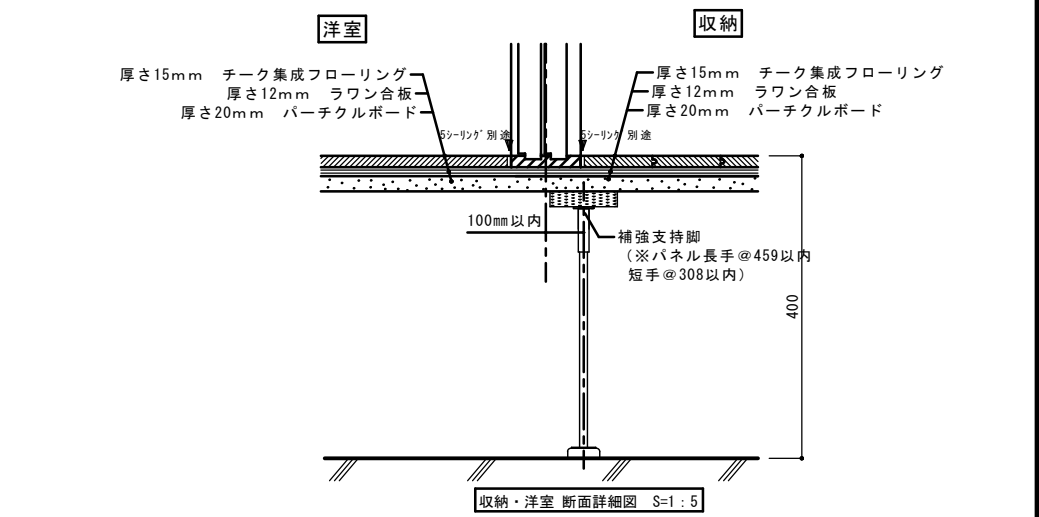
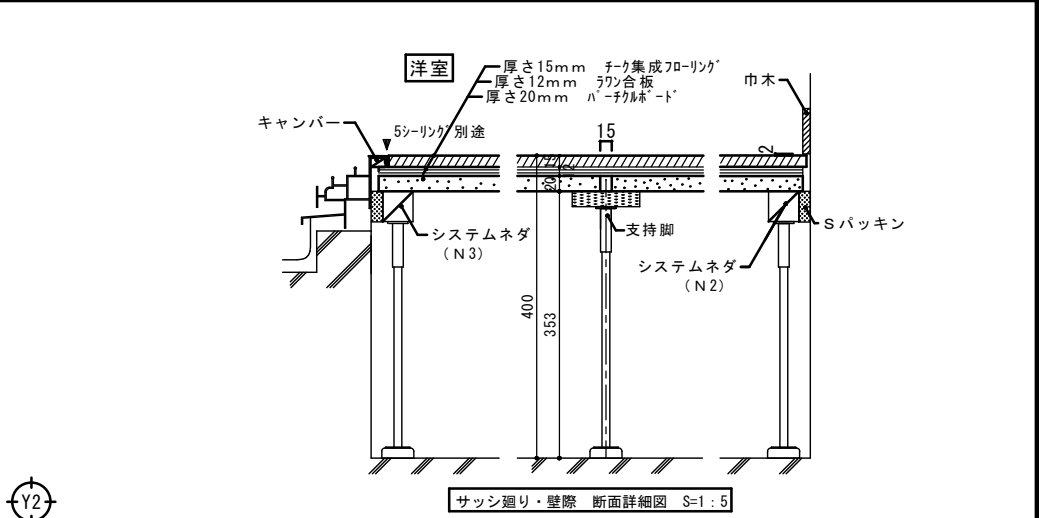
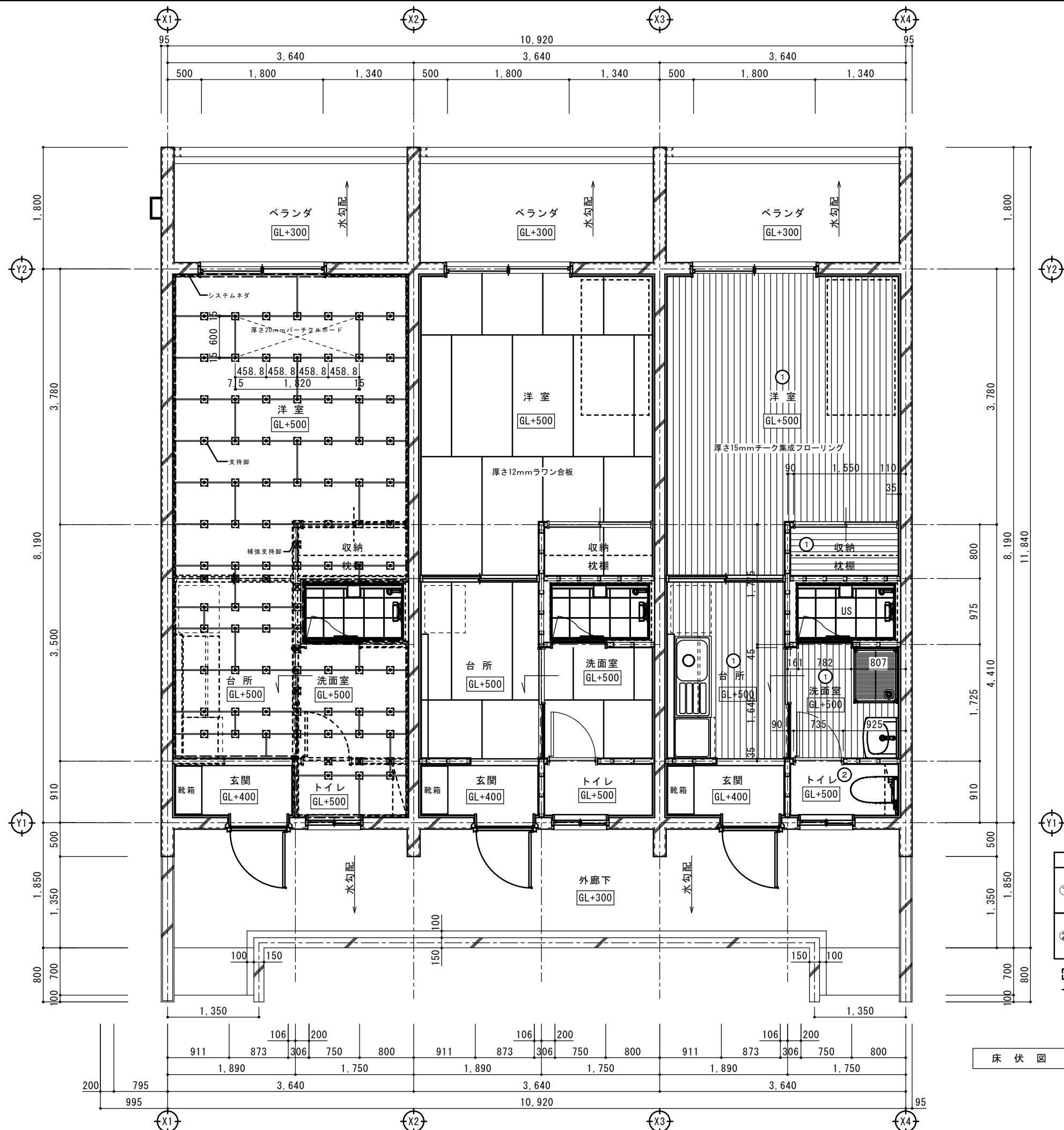
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	断面詳細図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版 : S=1/60, A1版 : S=1/30	
摘 要				図面番号	A - 1 2	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事		工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内		図面名称	平面詳細図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課		縮 尺	A3版 : S=1/60, A1版 : S=1/30	
摘 要			図面番号	A - 1 3	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 ヨシ企画設計
				資格者氏名	具志堅さおり
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

室 名	洋 室				
天 井	軽量鉄骨造天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て張り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り				
廻り縁	塩ビ見切り縁				
壁	厚12.5mm 石膏ボード張り下地 ビニルクロス張り				
巾 木	木製 7×50mm (既製品)				
床	鋼製置床下地 厚20mm パーチクルボード張り 厚12mm ラワン合板下地 厚15mm チーク集成フローリング張り				
備 考					
室 名	キッチン				
天 井	軽量鉄骨造天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て張り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り				
廻り縁	塩ビ見切り縁				
壁	厚12.5mm 石膏ボード張り下地 ビニルクロス張り キッチンパネル張り				
巾 木	木製 7×50mm (既製品)				
床	鋼製置床下地 厚20mm パーチクルボード張り 厚12mm ラワン合板下地 厚15mm チーク集成フローリング張り				
備 考					
室 名	玄 関				
天 井	軽量鉄骨造天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て張り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り				
廻り縁	塩ビ見切り縁				
壁	厚12.5mm 石膏ボード張り下地 ビニルクロス張り				
巾 木	木製 7×50mm (既製品)				
床	コンクリート打渡し金こて仕上 厚2.0mm ビニルシート張り				
備 考					
室 名	ト イ レ				
天 井	軽量鉄骨造天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て張り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り				
廻り縁	塩ビ見切り縁				
壁	厚12.5mm 石膏ボード張り下地 キッチンパネル張り				
巾 木	ソフト巾木 H=60mm				
床	鋼製置床下地 厚20mm パーチクルボード張り 厚12+12mm ラワン合板下地 厚2.0mm ビニルシート張り				
備 考					
室 名	洗 面 室				
天 井	軽量鉄骨造天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て張り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り				
廻り縁	塩ビ見切り縁				
壁	厚12.5mm 石膏ボード張り下地 ビニルクロス張り				
巾 木	木製 7×50mm (既製品)				
床	鋼製置床下地 厚20mm パーチクルボード張り 厚12mm ラワン合板下地 厚15mm チーク集成フローリング張り				
備 考					

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	展 開 図
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	A3版：S=1/100、A1版：S=1/50
摘 要	図面番号 A - 1 4		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
		資格者氏名	具志堅さおり
		登録番号	一級建築士 第316373号
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



内装床仕上げ表		
①	仕上	t 15 チップ集成フローリング
	捨板	t 12 ラワン合板
	下地	乾式二重床
②	仕上	t 2.0 ビニールシート
	捨板	t 12+t 12 ラワン合板
	下地	乾式二重床

☐ 支持脚 @ 459・@ 615 以内
--- システムネダ 40×40

床 伏 図 A3版:S=1/60
A1版:S=1/30

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内	図面名称	床 伏 図
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	A3版:S=1/60, A1版:S=1/30
摘 要	図面番号 A-15		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名 称	有限会社 ヨシ企画設計
		資格者氏名	具志堅さおり
		登 録 番 号	一級建築士 第316373号
		所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号



番号	天 井 仕 上
①	軽量鉄骨天井下地 厚9.5mm 石膏ボード捨て貼り 厚9.0mm ロックウール化粧吸音板張り
②	シャワーユニット
③	コンクリート打放し補修 EP塗り
④	コンクリート打放し補修 複層塗材仕上(E)

天井伏図	A3版:S=1/60 A1版:S=1/30
------	--------------------------

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	天井伏園	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版：S=1/100, A1版：S=1/50	
摘 要				図面番号	A - 1 6	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
					資格者氏名	具志堅さおり
					登 録 番 号	一級建築士 第316373号
					所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

特記仕様書

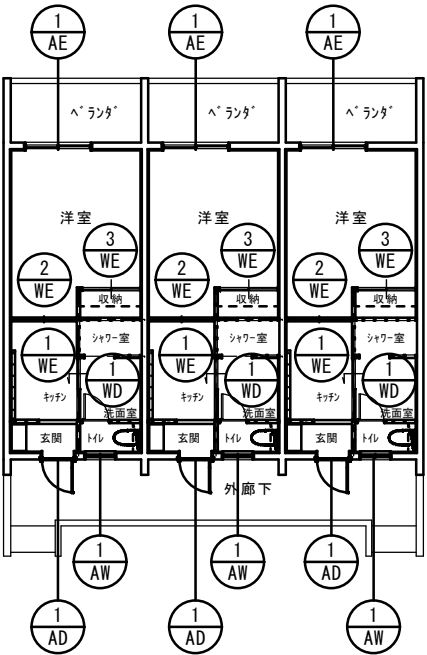
- 1
- 本表に記載している建具は全て、施工図及び構造計算を提出して監督員の承諾後施工すること。
- 2
- 本工事に使用する金物は全て、見本品を提出して監督員の承諾を得ること。
- 3
- ドア及びサッシ廻りコーキングは、ホリマルファイト系コーキングとする。
又、防火性能を有するアルミサッシ廻りは、防火認定シーリング材を施工すること。
- 4
- アルミサッシ及びアルミドアのアンカは溶接で施工すること。
- 5
- アルミサッシ及び及びガラス等の清掃を、入念に行うこと。
- 6
- 施工者は製品を現場搬入前に検査を受け、合格したもののみ現場搬入をおこなうこと。
- 7
- ガラスは、見本品を提出して、監督員の承諾をうけること。
- 8
- ガラスシーリング材は、シリコン系コーキングを使用すること。
又、防火性能を有する建具のガラスは防火設備認定シーリング材を使用すること。
- 9
- 鍵は、美和又は同等品以上とする。（その他のメーカー記入品も同様）
- 10
- アルミ枠のコンクリート面及び外壁面に接する部分は、絶縁塗装を行うこと。
- 11
- 建具金物等の取付部分は、ビス止め用裏板補強を行うこと。
- 12
- ステンレス製品はSUS304を使用すること。
- 13
- 片引き及び引違の建具は開閉の時、手や指を挟まないように工夫すること。
- 14
- 上記以外にも共通仕様書により施工すること。

金属製建具表

記 号	1 AD 玄 関	3ヶ所	1 AE 洋 室	3ヶ所	1 AW トイレ	3ヶ所
姿 図	耐風圧性：S-2 等級 気密性：A-3 等級 水密性：W-0 等級		耐風圧性：S-7 等級 気密性：A-4 等級 水密性：W-5 等級		耐風圧性：S-7 等級 気密性：A-4 等級 水密性：W-5 等級	
▽ F L						
型 式	片開き玄関ドア		2枚引違い戸		2枚引違い窓	
仕上・見込	アルミ色		アルミアルマイト処理（シルバー） 枠見込 100mm		アルミアルマイト処理（シルバー） 枠見込 70mm	
ガ ラ ス ガラス止め	メーカー仕様ガラス		腰上：厚 5mm透明ガラス／腰下：厚 6mm型板ガラス ガラス留め：シーリング（SR-1）		厚 6mm型板ガラス ガラス留め：シーリング（SR-1）	
金 物	メーカー仕様金物一式		ロック付 クレセント（2ヶ所） その他 仕様金物一式		ロック付 クレセント（1ヶ所）、アルミ水切り その他 仕様金物一式	
備 考	LIXIL プレハス C12型 同等品		可動式網戸取付		可動式網戸取付、アルミ水切り（エントキャップ取付）	

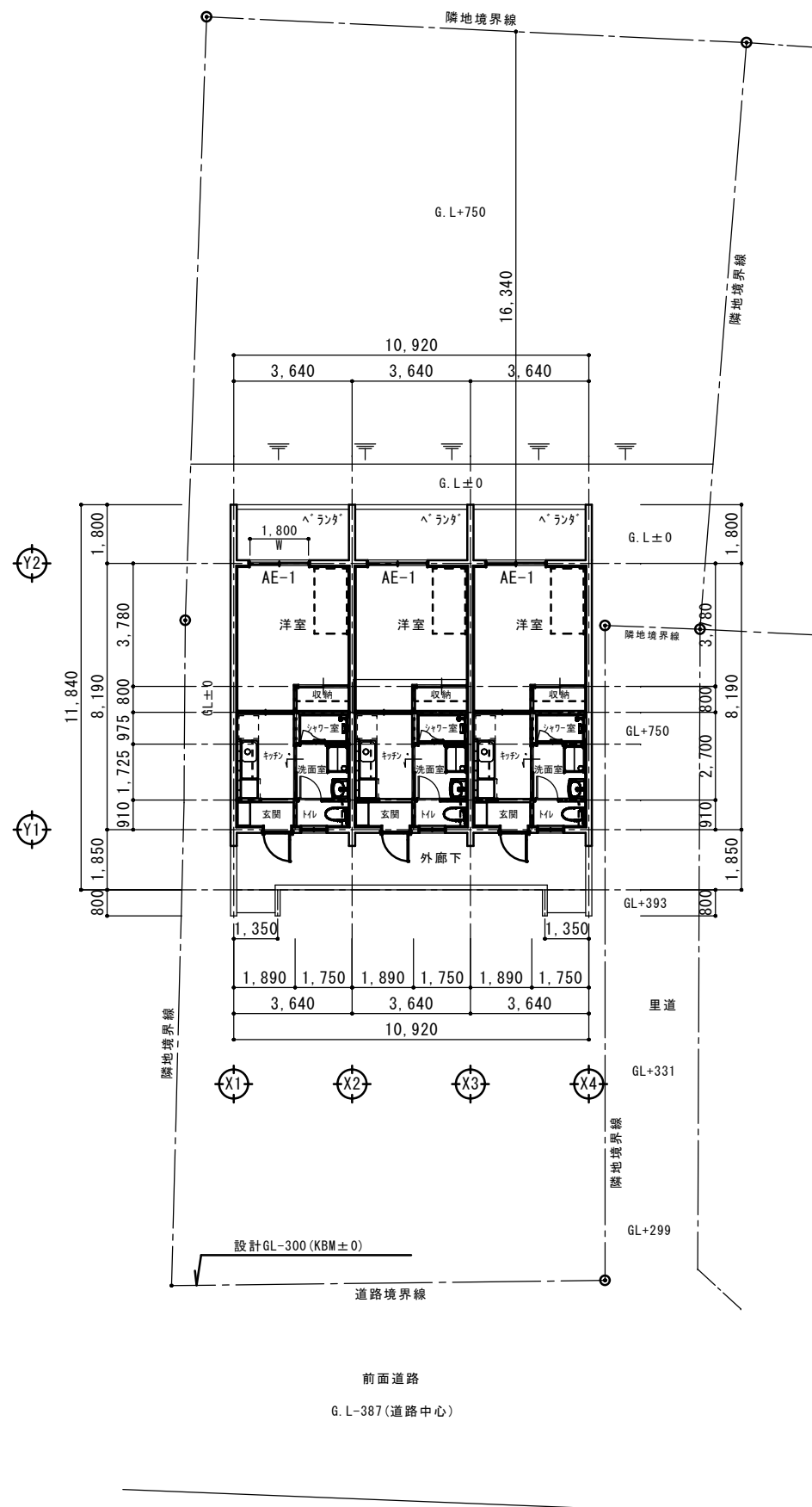
木製建具表

記 号	1 WD トイレ	3ヶ所	1 WE 洗面所	3ヶ所	2 WE 洋 室	3ヶ所	3 WE 収 納	3ヶ所
姿 図	F☆☆☆☆		F☆☆☆☆		F☆☆☆☆		F☆☆☆☆	
▽ F L								
型 式	片開きドア		片引戸		引違い戸		引違い戸	
仕上・見込	シート化粧仕様		シート化粧仕様		シート化粧仕様		シート化粧仕様	
硝 子			明かり窓付					
金 物	メーカー仕様付属金物一式		メーカー仕様金物一式 （表示カギ錠座）		メーカー仕様金物一式		メーカー仕様金物一式	
備 考	DAIKEN イエリア リビングドア 同等品 トイレドア Y8 固定枠、床見切		DAIKEN イエリア リビングドア 同等品 引戸 U0 固定枠、敷居		DAIKEN イエリア リビングドア（オーダー仕様）同等品 引戸 D1 固定枠、敷居		DAIKEN イエリア リビングドア（オーダー仕様）同等品 引戸 00 固定枠、敷居	

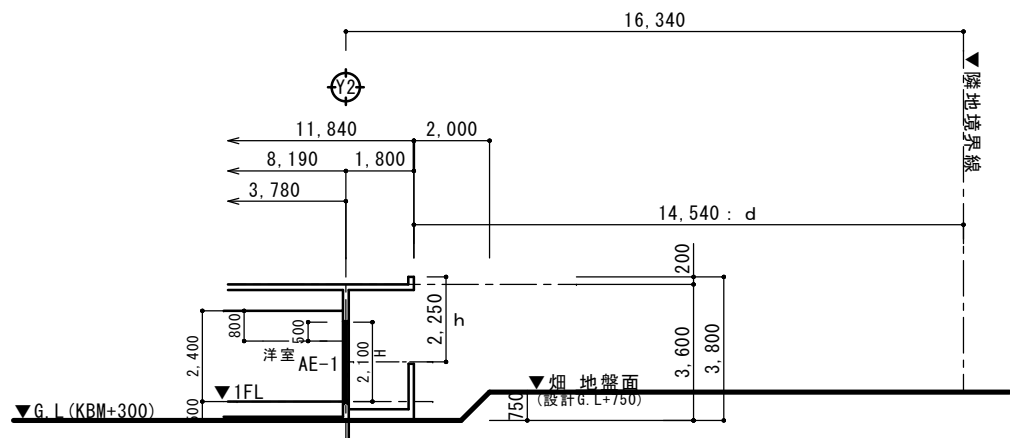


建具表 KEY PLAN

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	建 具 表
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	A3版：S=1/100、A1版：S=1/50
摘 要			
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名 称	有限会社 ヨシ企画設計
		資格者氏名	具志堅さおり
		登録番号	一級建築士 第316373号
		所在地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号



法規チェック図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100



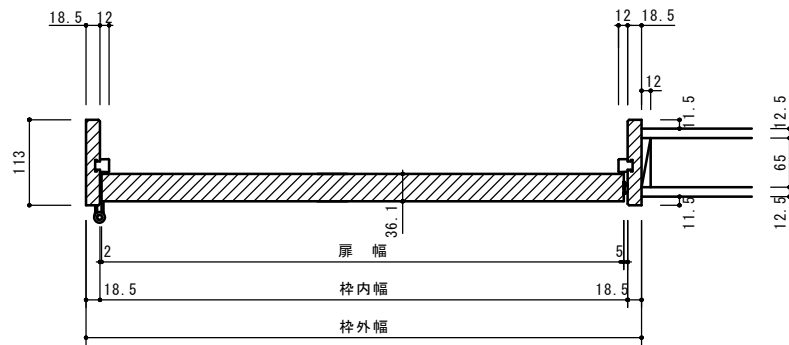
採光補正係数算定図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

採光補正係数：A
都市計画区域外のため、都市計画区域内の無指定区域を準用して検討
 $A = d / h \times \alpha - \beta$ (無指定区域 → $\alpha = 10, \beta = 1$) $A \leq 3$
 $A = 14.54 / 2.25 \times 10 - 1 \approx 63.6 \rightarrow 3.0$

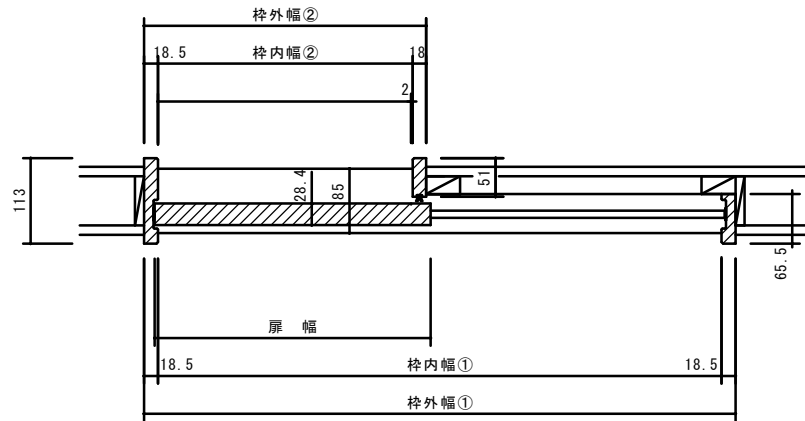
建築基準法による居室の採光面積、換気面積及び排煙面積の検討
居室(洋室)床面積：3.64×3.78+1.89×0.80 ≒ 15.27㎡
採光面積：床面積 ≧ 1/7
必要採光面積：15.27÷7 = 2.18 ㎡
有効採光面積：AE-1 W1.80×H2.10×3 = 11.34㎡ ≧ 2.18㎡ → OK
換気面積：床面積 ≧ 1/20
必要換気面積：15.27÷20 = 0.76㎡
有効換気面積：AE-1 W1.80×H2.10÷2 = 1.89㎡ ≧ 0.76㎡ → OK
排煙面積：床面積 ≧ 1/50
必要排煙面積：15.27÷50 = 0.31㎡
有効排煙面積：AE-1 W1.80×H0.50÷2 = 0.45㎡ ≧ 0.31㎡ → OK

消防法による無窓階の検討
求積図・求積表より、床面積：89.43㎡
必要開口面積：89.43㎡÷30 = 2.98㎡
有効開口面積：AE-1 W1.80/2×H2.10×3か所 = 5.67㎡ ≧ 2.98㎡
上記より、幅≧75cm、高さ≧1.2mの開口部が2以上、かつ、床面積>1/30 → 消防法による無窓階ではない

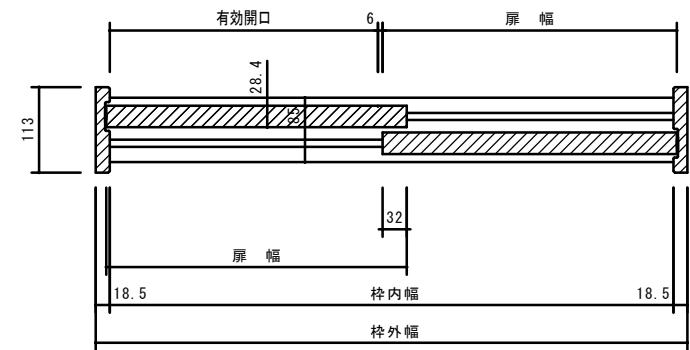
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	法規チェック図
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	A3版：S=1/200、A1版：S=1/100
摘 要	図面番号 A-18		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 計 者	名 称 有限会社 ヨシ企画設計
			資格者氏名 具志堅さおり
			登 録 番 号 一級建築士 第316373号
			所 在 地 沖縄県名護市宮里七丁目6番6号



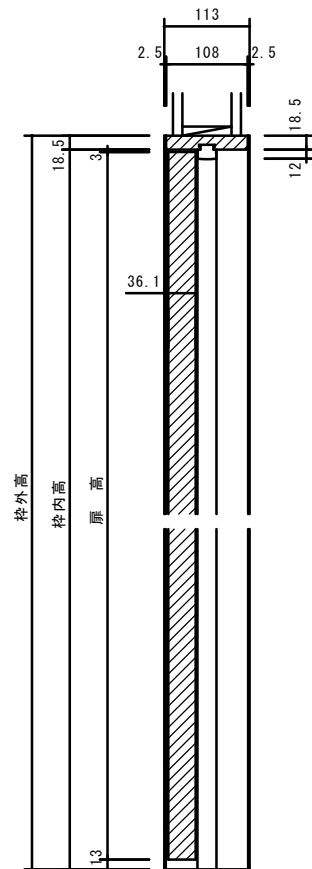
木製片開きドア平面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)



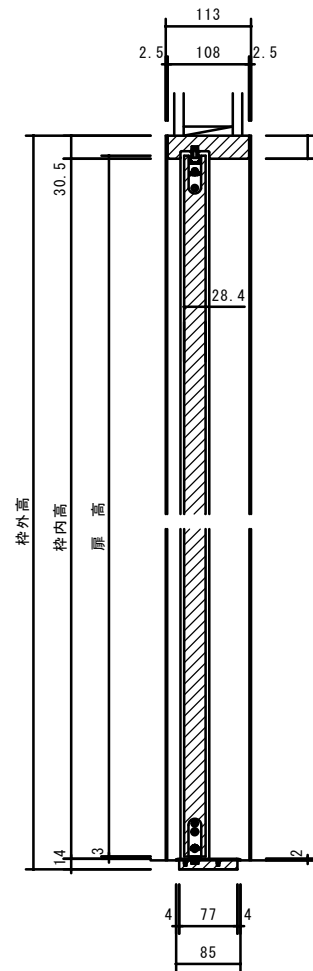
木製片引き戸平面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)



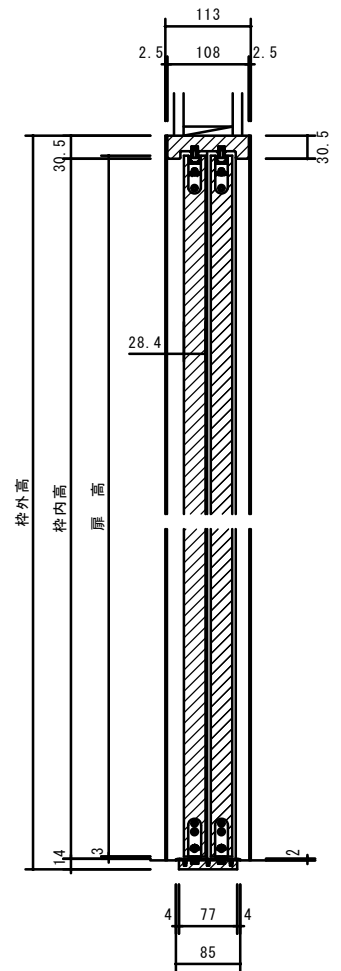
木製引違い戸平面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)



木製片開きドア断面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)

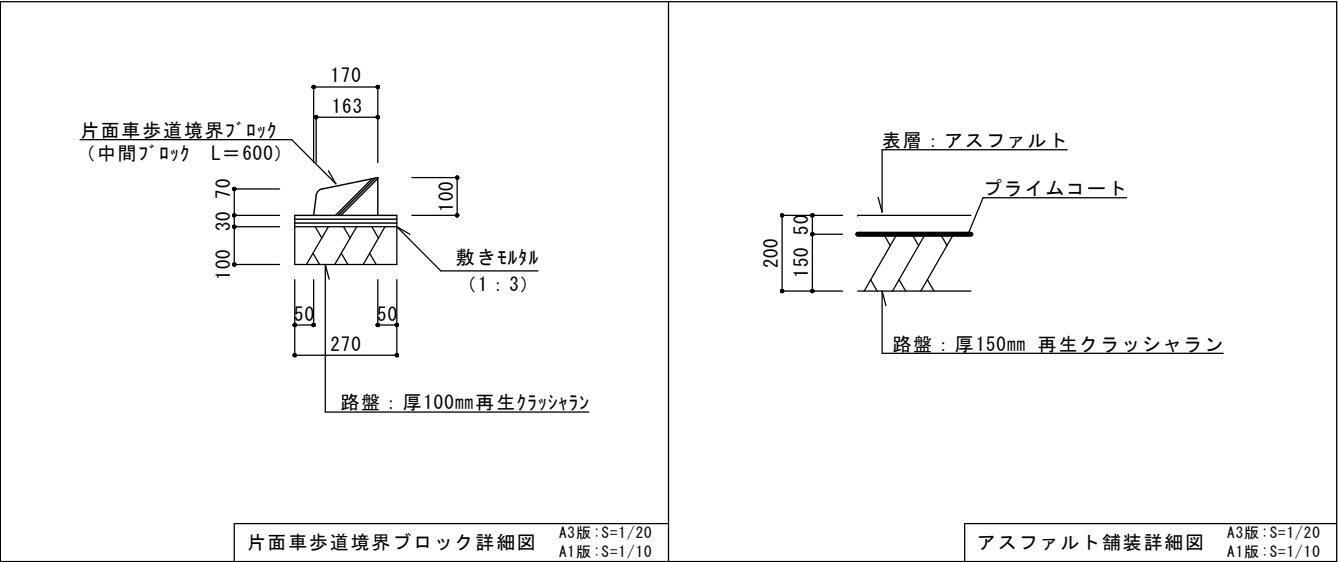
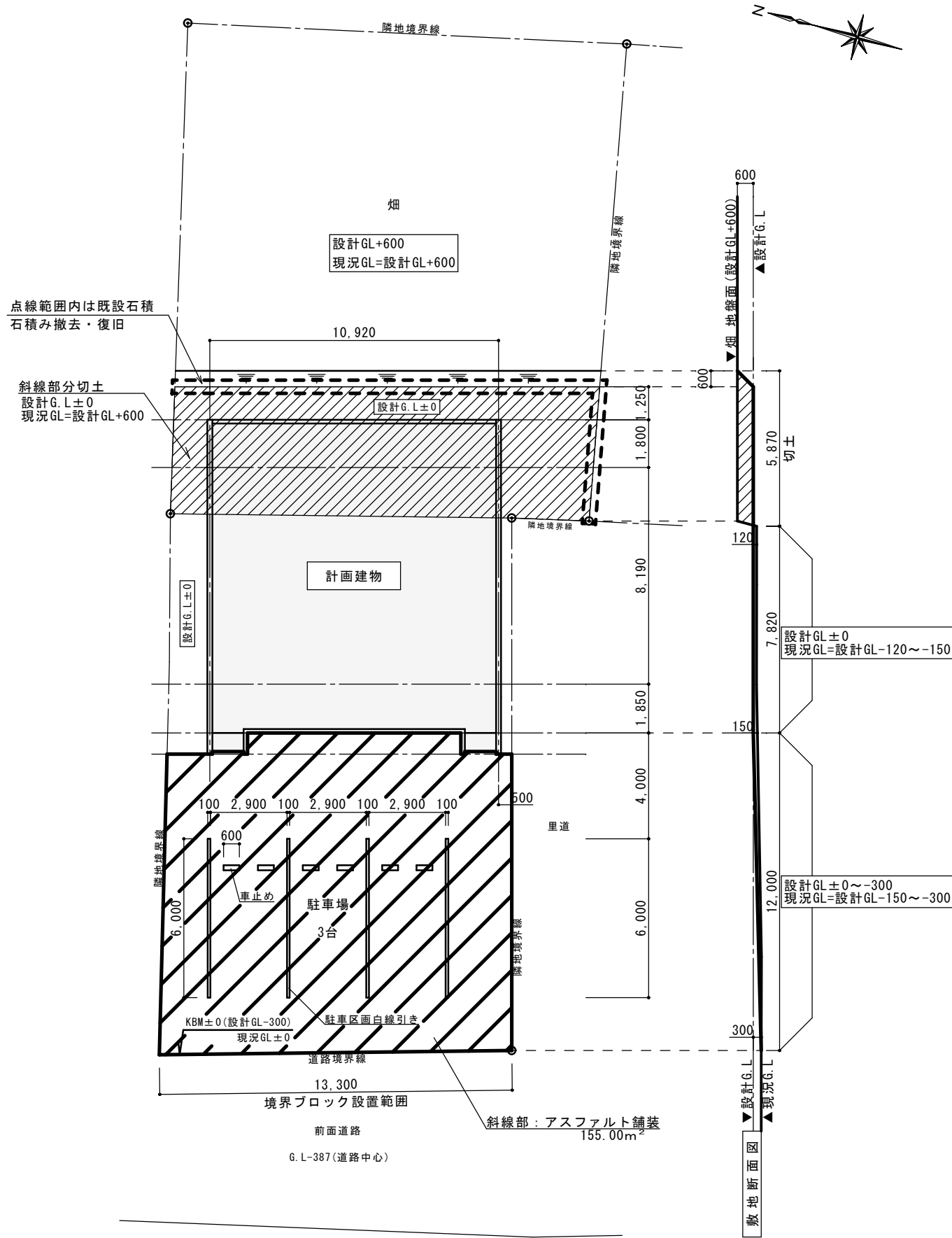


木製片引き戸断面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)



木製引違い戸断面図 A3版:S=1/10
A1版:S=1/ 5
(参考図:DAIKN イエリア リベ'ンカ'ト'ア)

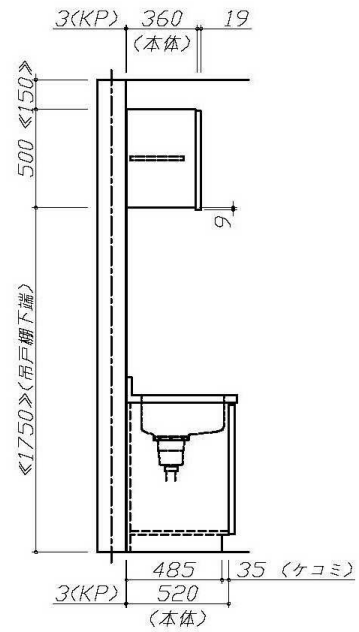
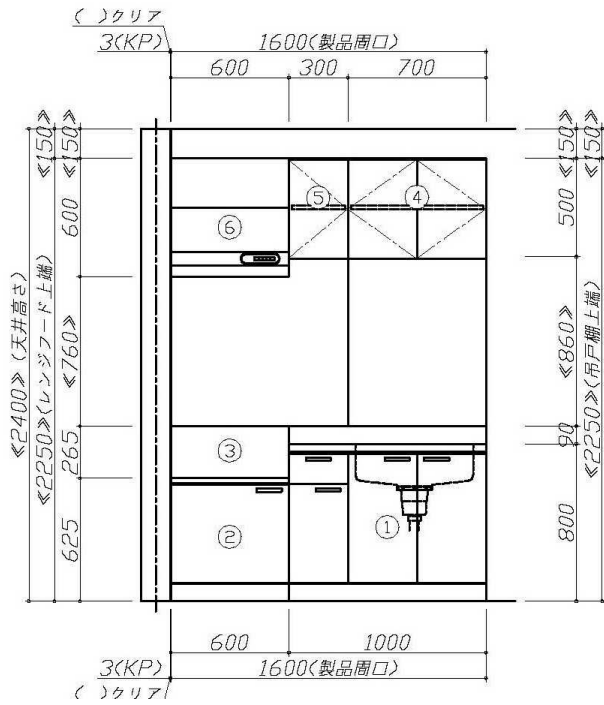
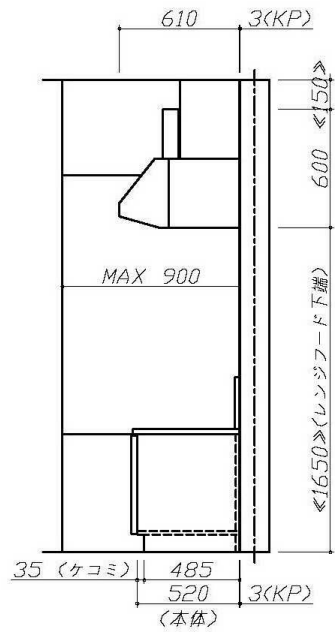
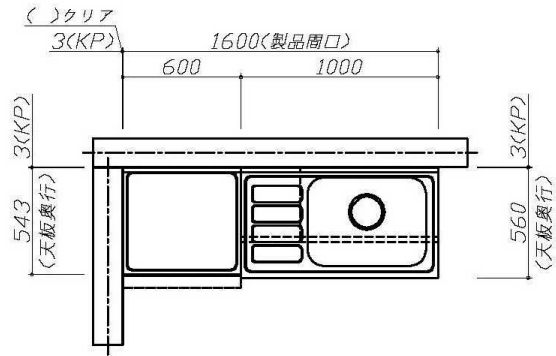
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	雑 詳 細 図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/10, A1版:S=1/5	
摘 要				図面番号	A - 1 9	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



外構図 A3版:S=1/200
A1版:S=1/100

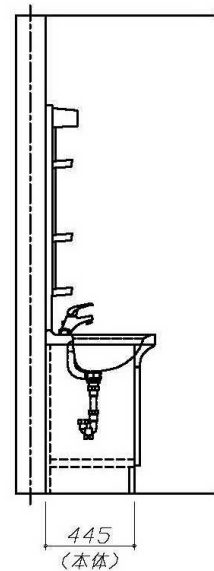
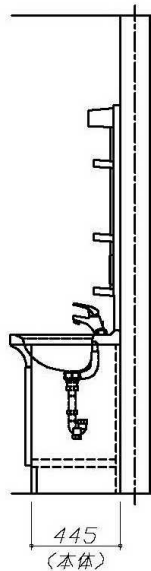
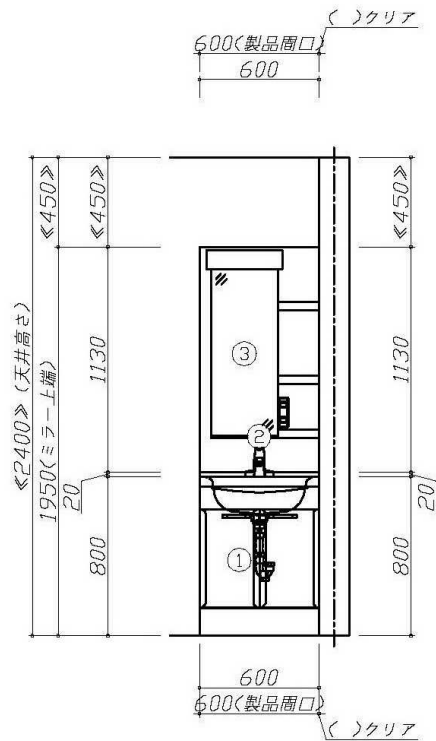
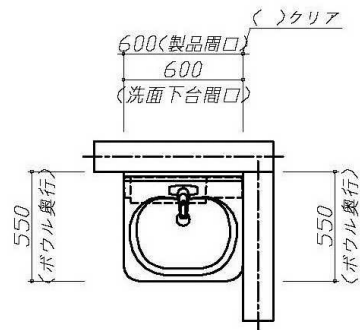
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	外 構 図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/100, A1版:S=1/50 A3版:S=1/20, A1版:S=1/10	
摘 要				図面番号	A - 2 0	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

■必ずご確認ください。
・天井高さ、吊戸棚・レンジフード取付高さをご確認ください。
・《 》内寸法は参考寸法です。
■表示記号について
・KP：キッチンパネル

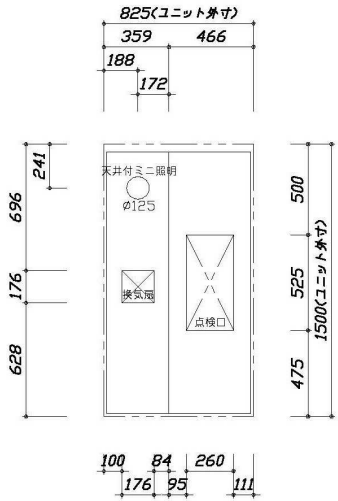
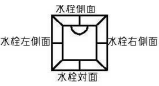


工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	水回り機器詳細図 (1) (参考図)
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	No scale
摘 要		図面番号	A - 2 1
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
	資格者氏名	具志堅さおり	
	登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

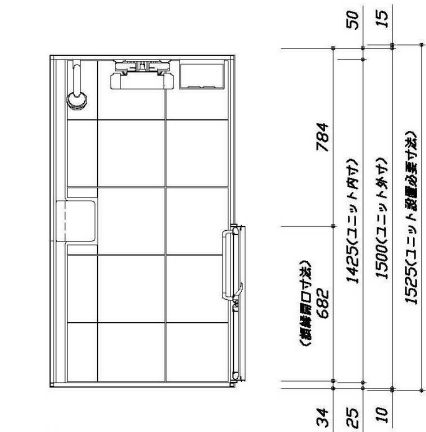
■必ずご確認ください。
・天井高さと製品の総高さを十分にご確認ください。
・《 》内寸法は参考寸法です。
■表示記号について
・SP：洗面パネル



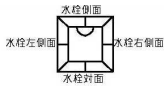
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	水回り機器詳細図 (2) (参考図)
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	No scale
摘 要	図面番号 A - 2 2		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
	資格者氏名	具志堅さおり	
	登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



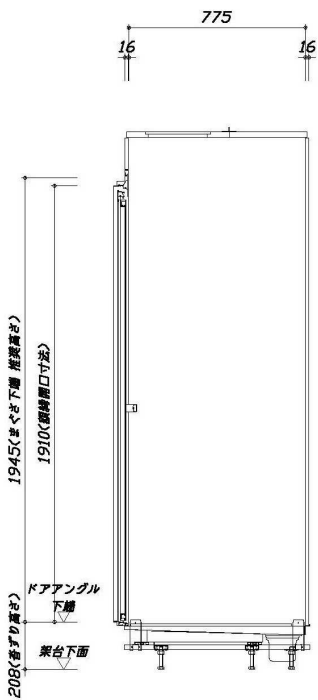
<天井伏図>



<平面図>

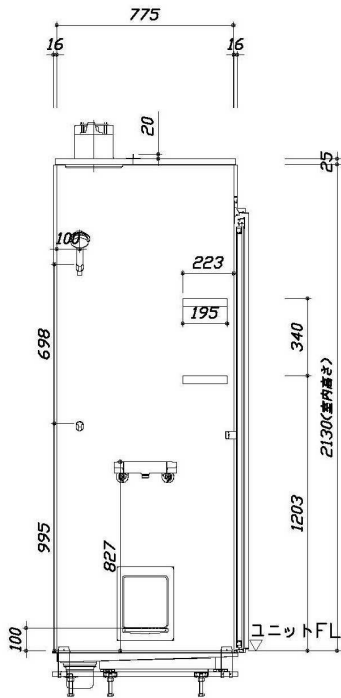


このレイアウトプランは参考図面ですので価格・仕様・設置・換期等の詳細については注文依頼先、設置業者の方に必ず確認して頂きますようお願いいたします。
・土庫は架台底面より多少のクリア寸法を考慮して仕上げてください。
・ドアアングル下踏とユニットFLの段差は8mmになります。
・ハンドバー設置位置は参考です。設置の際は位置を充分に打ち合わせ願います。
・天井の寸法はご確認願います。
・外寸は突出部を含みます。



<水栓対面図>

■ボルト脚架台高さ寸法
各すり高さに対して
-8~+12mm調整可能



<水栓側面図>

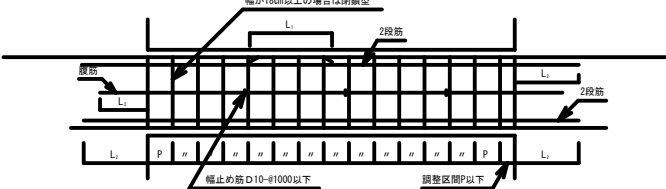
工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	水回り機器詳細図 (3) (参考図)
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	No scale
摘 要	図面番号 A-23		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
	資格者氏名	具志堅さおり	
	登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

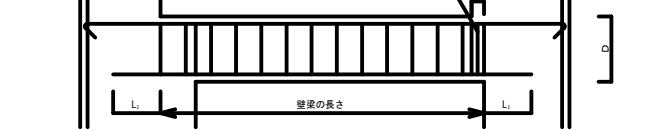
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

6. 壁梁、小梁

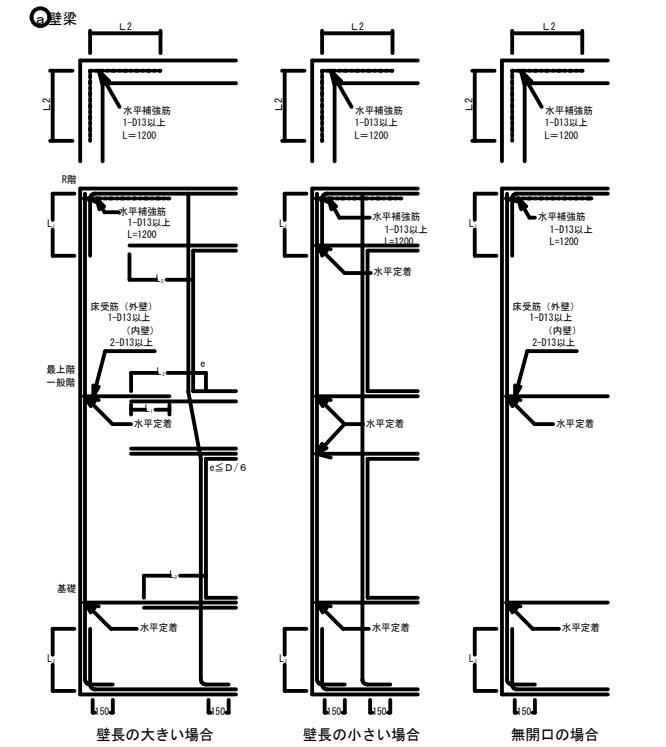
(1) 壁梁の標準配筋図



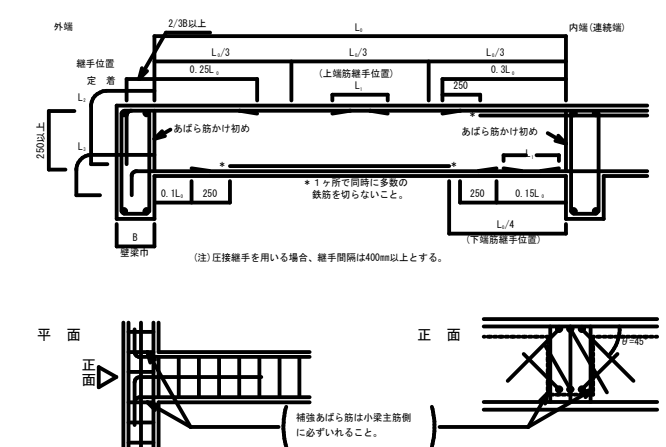
(2) 壁梁の範囲



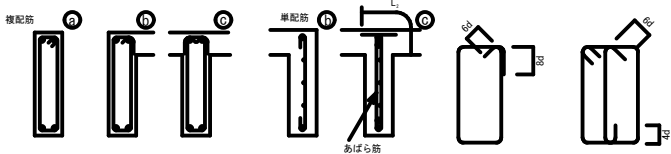
(3) 定着



② 小梁の定着・継手位置およびトップ長さ

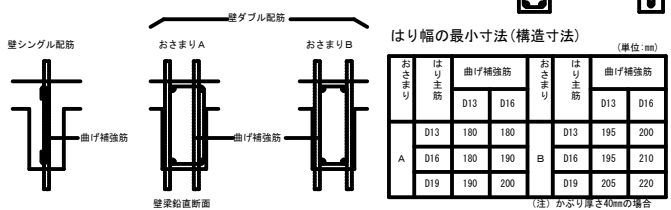


(4) あばら筋の型



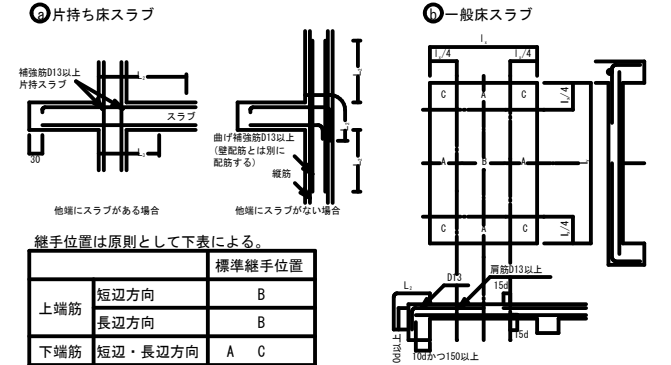
- (イ) 原則として ③ のフック先曲げとする。
片側床版付(L型)梁で ③、
両側床版付(T型)梁で ③ とすることができる
(ロ) フックの位置は ③ にあつては交互、
④ にあつてはスラブ側とする。

(5) 壁梁と壁のおさまり

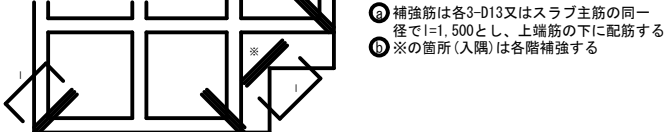


7. 床 板

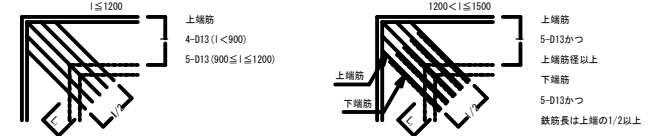
(1) 定着および継手



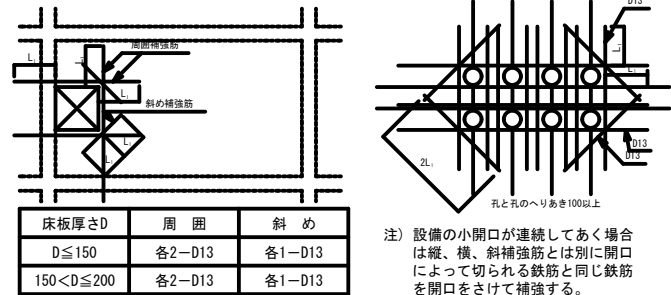
(2) 屋根スラブの補強



(3) 片持ちスラブ出隅部補強

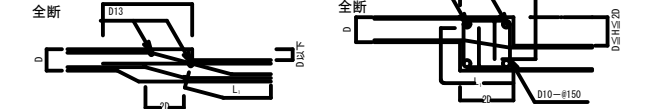


(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

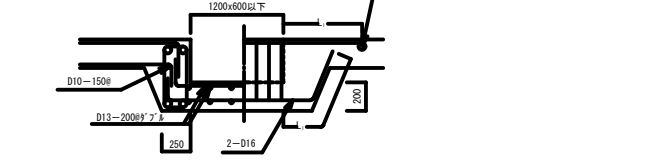
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリート



(7) 釜場

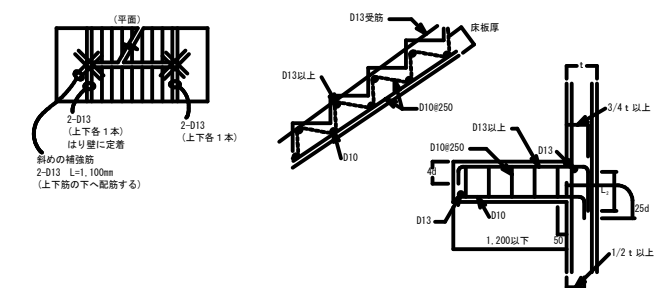


(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打継面について)

- ・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L 以上
- ・無筋部分D10-φ200 長さ800以上

8. 階 段 ※構造図による

片持ち階段

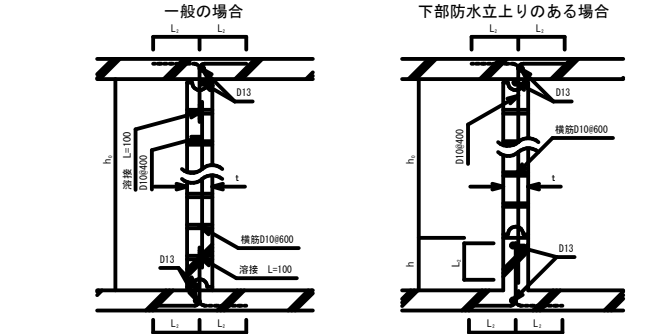


9. その他

(1) 手摺、バラベツト



(2) コンクリートブロック帳壁



注) $h \leq 25t$ かつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く。
注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、 $200 \leq h \leq 400$
注) 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

10. 梁貫通孔補強

(1) 既製品 (使用するときは、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

■ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型 □

(2) 鉄筋標準配筋但し、 $\phi \leq D/3$ とする

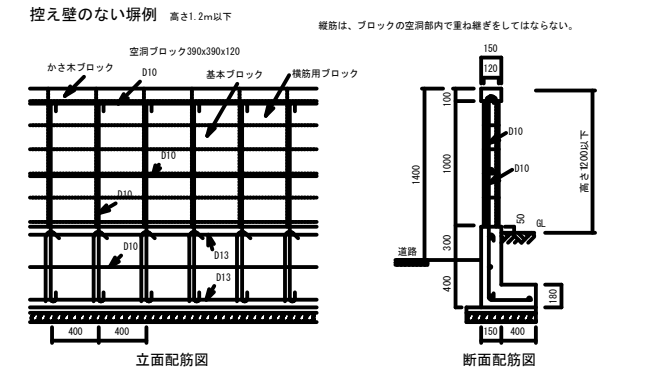
設置可能範囲 梁端部(スパン1/10以内かつ20以内)は避ける

80 ≤ φ ≤ 100 折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST2-D13φ100	100 < φ ≤ 150 折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST2-D13φ50 横 筋 2-(2-D13) カ 縦筋 ST2-D13φ50	150 < φ ≤ 250 斜 筋 4-(2-D13) 縦 筋 ST2-D13φ50 横 筋 2-(2-D13) カ 縦筋 ST2-D13φ50
孔補強の有効範囲と 定着長さのとり方 ※ 部分について計算で 確認された場合は右 記の位置、寸法によ らなくて良い。		(φ1+φ2) x 3/2 以上 貫通孔が連続して間隔等が取れない 場合は設計者又は工事監理者と打合 せのこと。

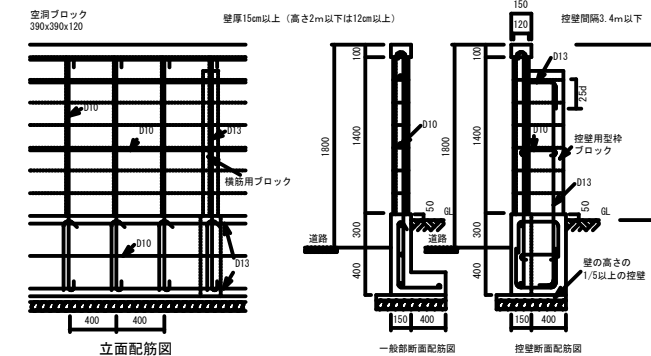
12. コンクリートブロック塀

(1) ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

- a. 塀の高さ(地盤面に高低差がある場合は低い方による)は2.2m以下。
- b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
- c. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は別途検討する。
- d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。



控え壁のある塀例 高さ2.2m以下

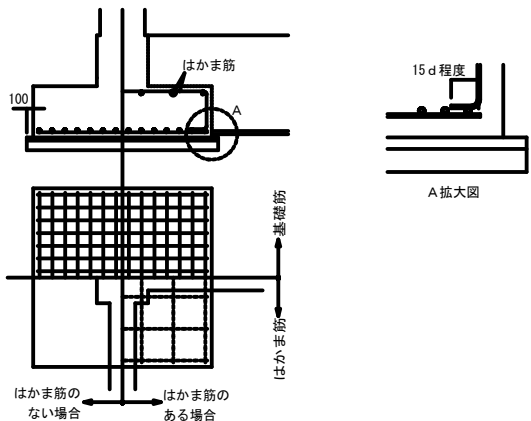


工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内	図面名称	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	NOSCALE
摘 要		図面番号	S-03
検 印	管理建築士 設 計 製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
		資格者氏名	具志堅さおり
		登録番号	一級建築士 第316373号
		所在地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

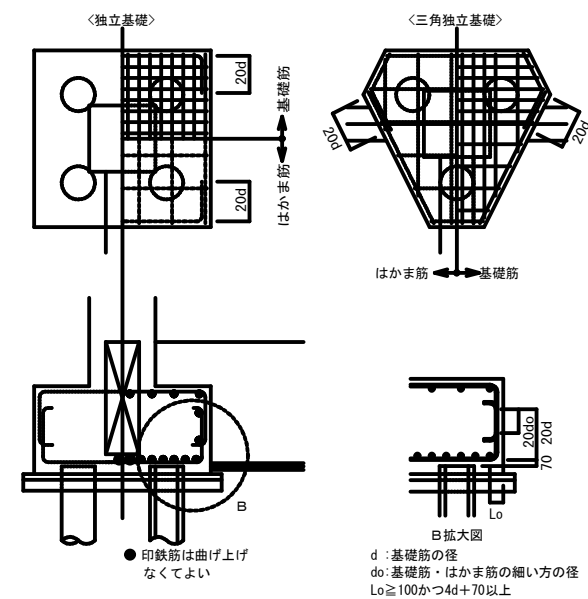
雑配筋標準図（１）

1. 1. 基礎配筋

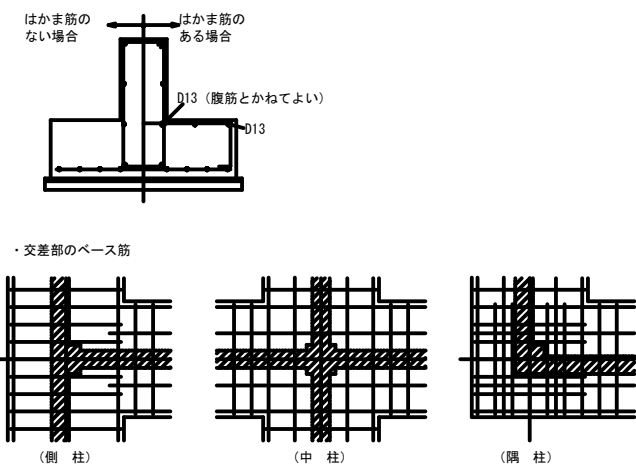
(a) 独立基礎
① 直接基礎



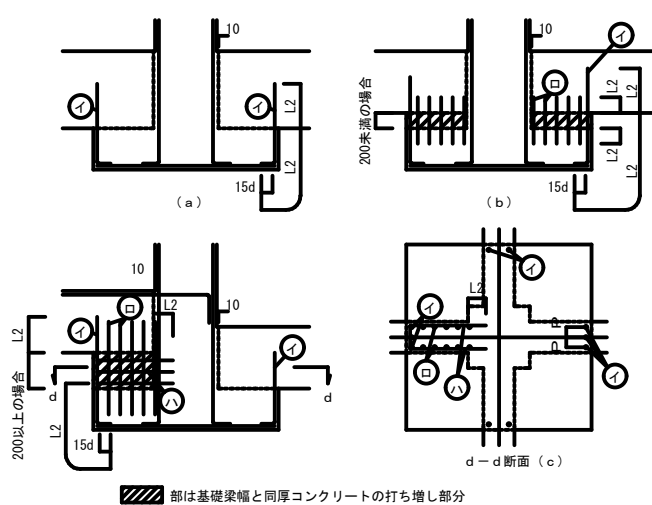
② 杭基礎



(b) 連続基礎



1. 2. 基礎と基礎梁の接合

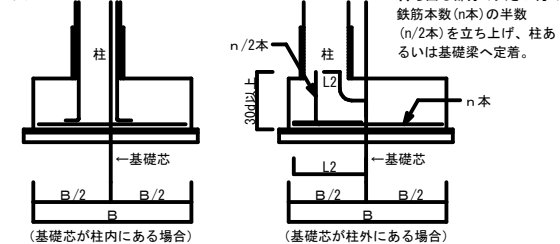


補強筋：基礎と基礎梁を一体にするために補強する。その詳細は設計図書に特記する。
(a) では鉄筋は一般に基礎梁の幅に応じて 2-4-D16 とする。
(b) では鉄筋は一般に基礎梁の幅に応じて 2-4-D16 とする。
(c) 鉄筋は基礎梁のあばら筋と同径・同間隔とする。
(c) の各鉄筋量は設計図書に特記する。特記なき下表による。

表. 打増し部の補強筋			
梁幅	$b \leq 300$	$300 < b \leq 400$	$b > 400$
配筋	2-D16	3-D16	D16, $P \leq 150\text{mm}$
配筋	基礎梁のあばら筋と同径・同間隔とする。		
配筋	D13@200		

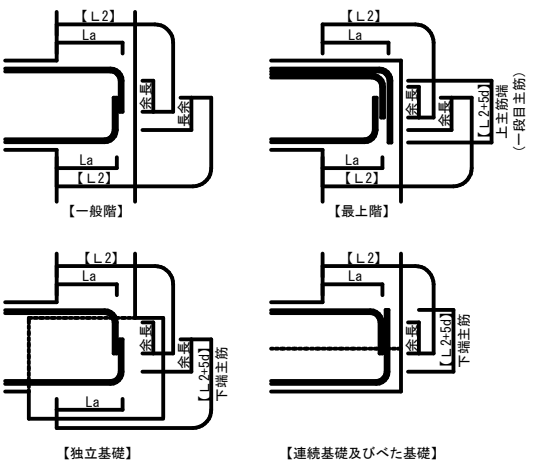
1. 3. 偏心基礎

・一般に準ずる



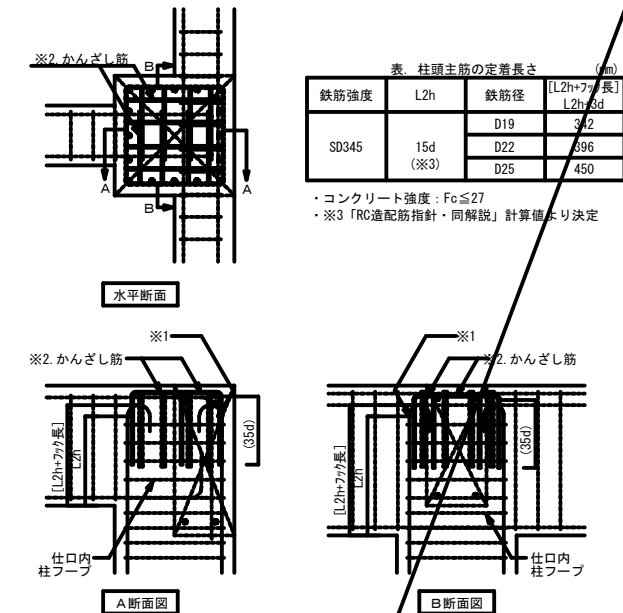
2. 梁主筋の柱内折曲げ定着長さ

- 特記なき梁主筋の柱内折曲げ定着長さは、35d 以上とする。
- 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ La は、原則として、柱せいの 3/4 倍以上とする。



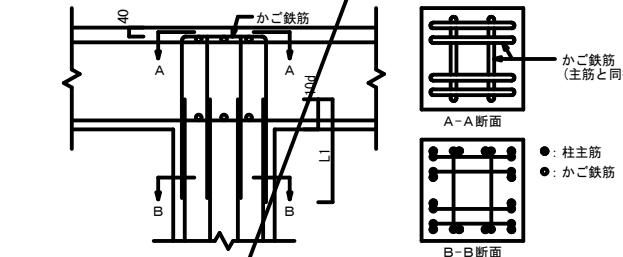
3. 1. 柱頭(最上階)の配筋

- 柱頭部主筋を直線定着とした場合の納まり
(1) 一般納まり

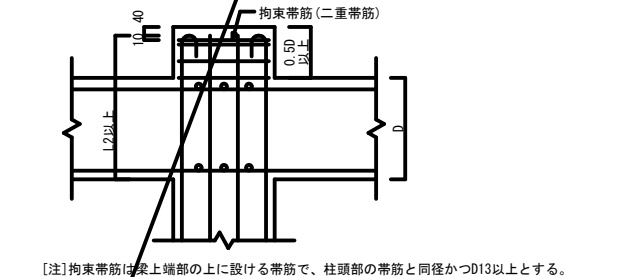


※1. 柱頭主筋は全数フック付きで定着長さ (L2h) を確保し、梁上端筋の下側まで延長すること。
※2. かんざし筋は、あばら筋と同径φ200以下とする。

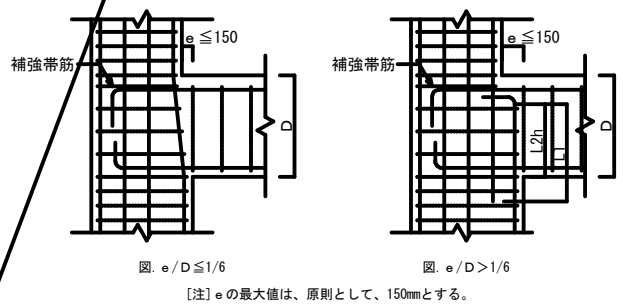
- 柱頭部主筋の定着長が不足した場合の納まり
(1) 柱頭補強かご筋による納まり



- 柱を突出させた場合の納まり



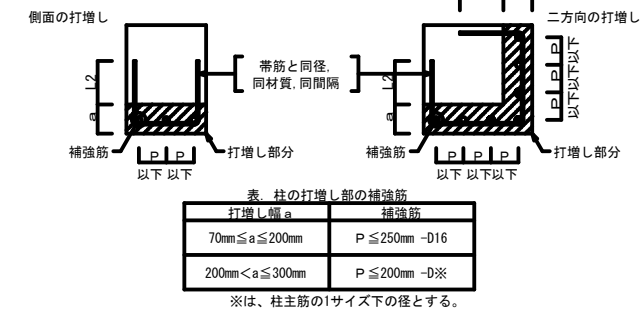
3. 2. 接合部(一般階)の配筋



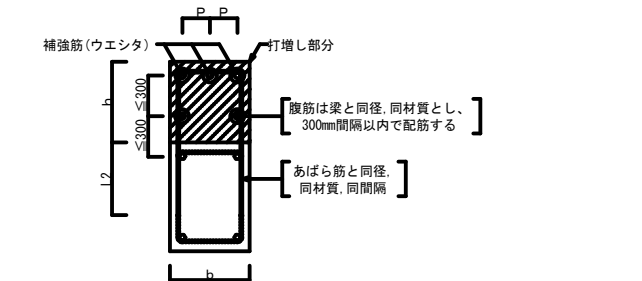
4. 柱梁の打増し補強

・打増し寸法が (70mm) 未満の場合、補強は不要とする。

- 柱の打増し補強は、下図、下表による。下表を超える打増しの場合は、特記による。
なお、梁及び耐力壁の鉄筋の定着長さは、打増し部分を除いて算定する。



- 梁の打増し補強は、下図、下表による。下表を超える打増しの場合は、特記による。
なお、小梁、耐力壁及びスラブの鉄筋の定着長さは、打増し部分を除いて算定する。
(1) 梁上端の打増し補強(梁下端の打増しも同じ配筋要領とする)



- 梁側面、二方向の打増し補強

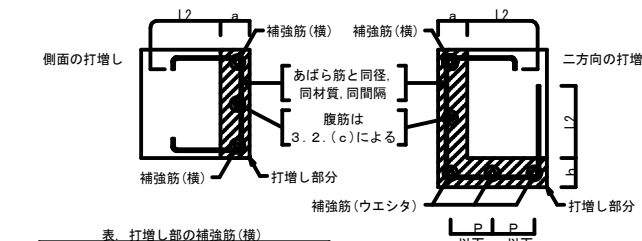
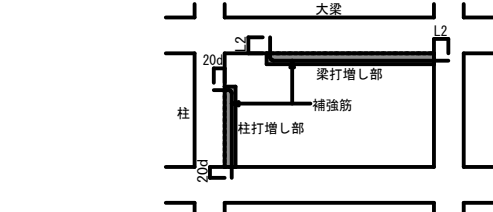


表. 打増し部の補強筋(横)	
打増し幅 a	補強筋(横)
$70\text{mm} \leq a \leq 200\text{mm}$	1-D16
$200\text{mm} < a \leq 300\text{mm}$	2-D※

※は、梁主筋の1サイズ下の径とする。

表. 打増し部の補強筋(ウエシタ)			
打増し高 h	補強筋(ウエシタ)		
	$b \leq 300$	$300 < b \leq 400$	$b > 400$
$70\text{mm} \leq h \leq 200\text{mm}$	2-D16	3-D16	$P \leq 150\text{mm}$ -D※
$200\text{mm} < h \leq 300\text{mm}$	2-D※	3-D※	

- 打増し部補強筋の定着長さ



工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内	図面名称	雑配筋標準図 (1)
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	NOSCALE
摘 要		図面番号	S-04
検 印	管理建築士	設 計	名 称 有限会社 ヨシ企画設計
		製 図	資格者氏名 具志堅さおり
			登 録 番 号 一級建築士 第316373号
			所 在 地 沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

雑配筋標準図（2）

5. 土間の打継ぎ補強等

- ・土間は、地盤上に打設される床とし、ピット等上部にあるスラブと基礎梁接合部は、梁打増し補強とする。（雑配筋標準図（2）参照）
- ・土間スラブは、構造スラブとする。（S表記）
- ・土間コンクリートは、地盤に支持されるRC床とする。（FS表記）

a) 土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は、図9.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。

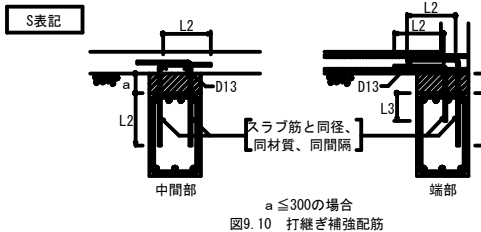


図9.10 打継ぎ補強配筋

b) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は図9.11による。

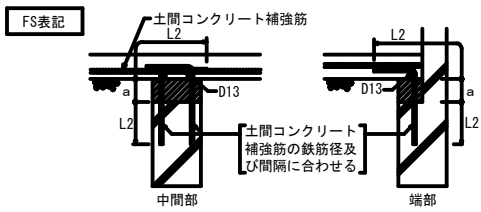


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

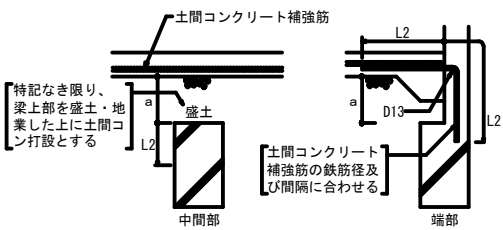
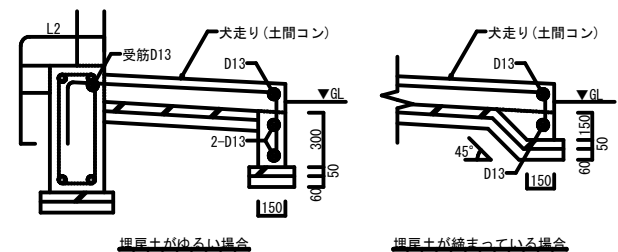


図9.12 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

6. 犬走り等スラブ配筋

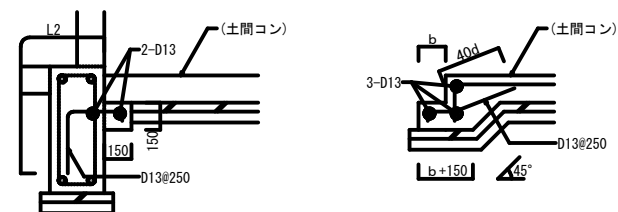
a) 犬走り ※土間コン配筋は、構造図による。



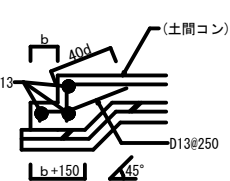
埋厚土がゆるい場合

埋厚土が締まっている場合

b) 土間スラブ受け



c) スラブ立下り



7. 土間補強

a) 土間コンクリートと帳壁との取り合い
1) RC及びCB帳壁と土間コンクリートの取り合いは、下図による。
2) 壁厚が150mmを超える場合、特記による。

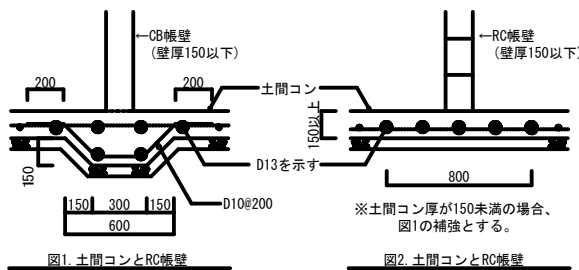


図1. 土間コンとRC帳壁

図2. 土間コンとCB帳壁

b) 釜場ピット土間配筋図

1) 釜場下のスラブ厚は、土間コンまたは土間スラブと同厚とする。

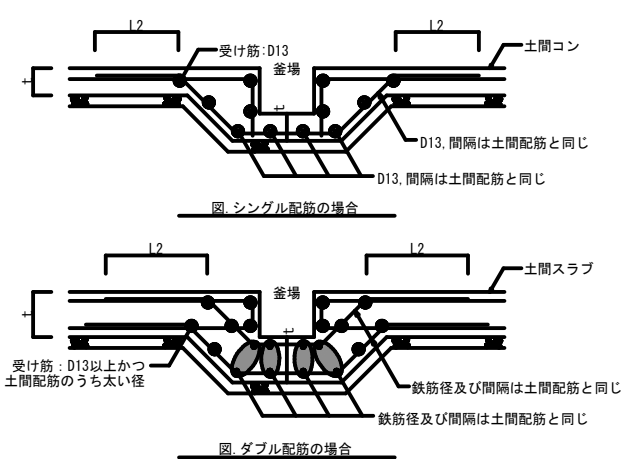
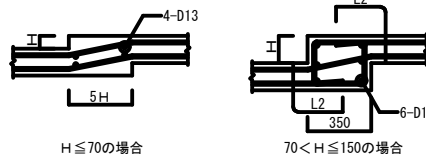


図. シングル配筋の場合

図. ダブル配筋の場合

8. 段差のあるスラブ・小梁補強

a) 段差のあるスラブの補強配筋



H ≤ 70の場合

70 < H ≤ 150の場合

b) スラブフカシ配筋

1) フカシ形状は構造図による。
2) 特記なきフカシ幅Bは、5H以上とする。

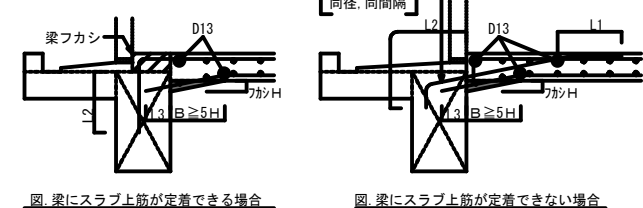


図. 梁にスラブ上筋が定着できる場合

図. 梁にスラブ上筋が定着できない場合

c) 段差のある小梁配筋

1) フカシ形状は構造図による。
2) 特記なきフカシ幅Bは、5H以上とする。

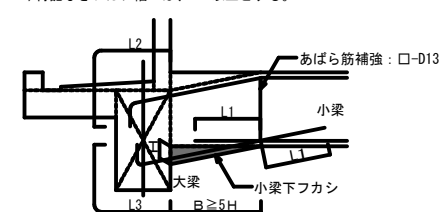
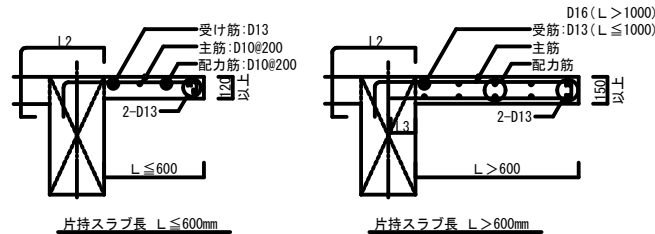


図. 段差のある小梁配筋

9. 片持ちスラブ配筋

a) 片持ちスラブ配筋

1) 特記なき片持ちスラブの基準断面および配筋は、下図による。
2) 片持ちスラブの出が600mmを超える場合、断面および配筋は構造図による。
3) 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。
4) スラブに段差がない場合、主筋を引き通してスラブに定着してよい。



片持ちスラブ長 L ≤ 600mm

片持ちスラブ長 L > 600mm

b) 片持ちスラブ出隅部補強

1) 出隅部手すり等にスリットを設けた場合のスラブ補強筋図は、下図による。
※1. 補強筋は短辺スラブ上端筋の間に配筋する。
※2. 手すり等のスリットの有無は、構造図による。

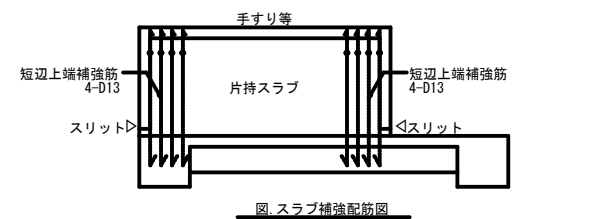


図. スラブ補強筋図

2) 出隅部手すり・パラベット等にスリットを設けない場合の配筋図は、下図による。

※1. 手すり・パラベットの横筋定着長は、壁筋と同じとする。

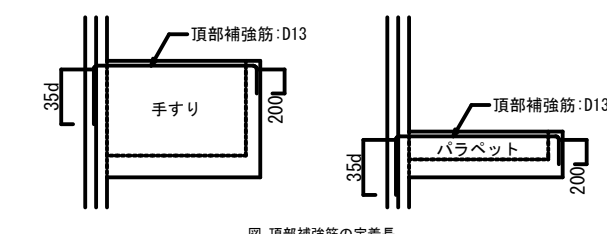
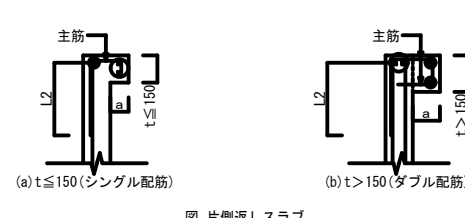


図. 頂部補強筋の定着長

10. 手すり・パラベット等配筋

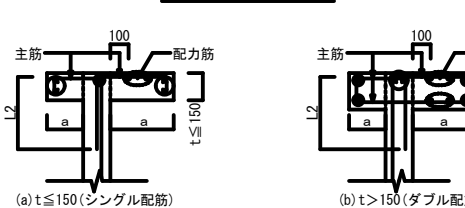
a) パラベット・出窓等返しスラブ配筋



(a) t ≤ 150 (シングル配筋)

(b) t > 150 (ダブル配筋)

図. 片側返しスラブ



(a) t ≤ 150 (シングル配筋)

(b) t > 150 (ダブル配筋)

図. 両側返しスラブ

表. 返しスラブ配筋

a	主筋	配筋筋
a ≤ 0.25m	D10@150	-
0.25m < a ≤ 0.60m	D10@150	D10@200

※ ●：補強筋D13を示す。

b) テスリ・パラベット等立上り壁配筋

1) 手すり・パラベット等の配筋図は、下図による。
2) 手すり・パラベット高が1.5mを超える場合は、特記による。

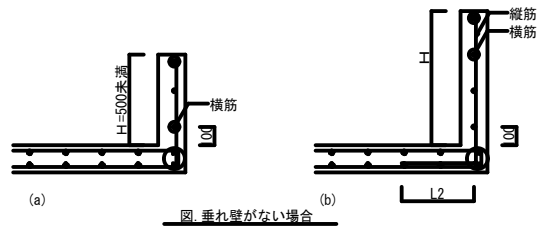


図. 垂れ壁がない場合

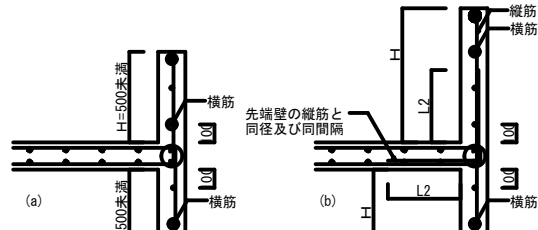


図. 垂れ壁がある場合

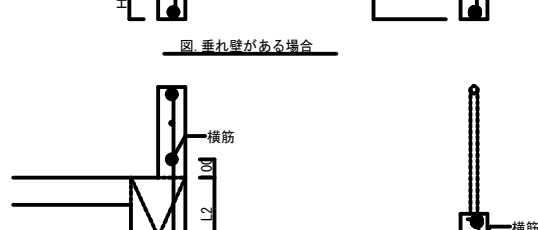


図. 梁上にある場合

図. 金属製手すりの場合

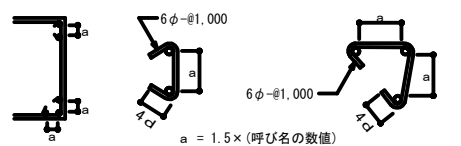
表. 先端壁配筋

H	縦筋	横筋
H ≤ 1.2m	D10@150	D10@150
1.2m < H ≤ 1.5m	D1013@150	D10@150

※ ●：補強筋D13を示す。

11. 柱梁配筋（柱寄せ筋、ハンチ梁、梁主筋位置）

a) 柱寄せ筋（二段筋）の保持



a = 1.5 × (呼び名の数値)

b) ハンチ梁のハンチ起点のあばら筋補強

表 ハンチ配点のあばら筋補強						
主筋	ハンチ勾配 (1/n)					
径	1/3	1/3.5	1/4	1/4.5	1/5	
D19						①-D13
D22						
D25						②-D13
D29						
D32						③-D13
						

c) 梁主筋の位置



両側スラブ付き

片側スラブ付き

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内	図面名称	雑配筋標準図（2）
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	NOSCALE
摘 要		図面番号	S-05
検 印	管理建築士	設 計	製 図
名 称	有限会社 ヨシ企画設計		
	資格者氏名	具志堅さおり	
	登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

雑配筋標準図（3）

1 2. 機械基礎およびハト小屋等配筋

- 1) 機台基礎およびハト小屋等配筋図は、図4.1～図4.4による。
2) 各部材断面が図4.1～図4.4より大きくなる場合は、特記による。

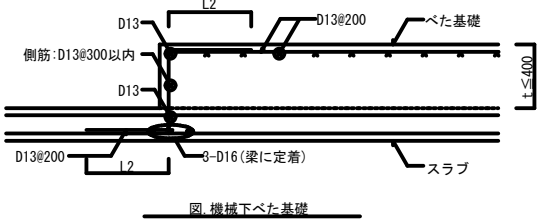


図 機械下べた基礎

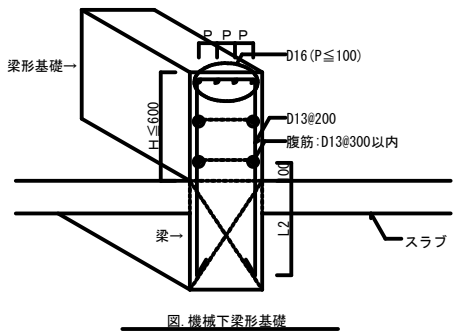


図 機械下梁形基礎

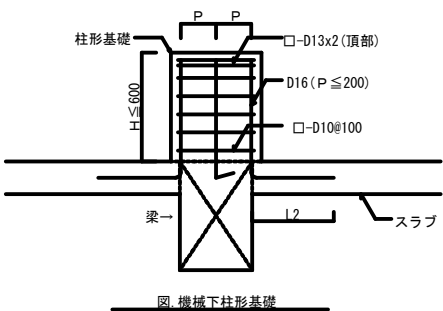
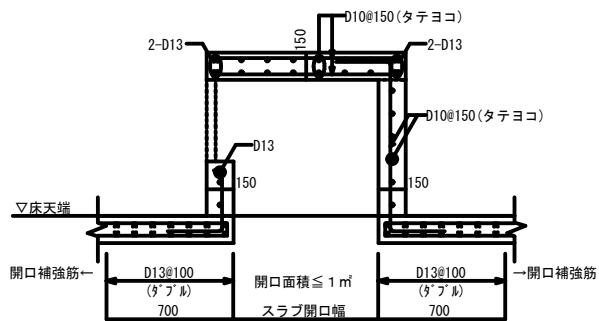


図 機械下柱形基礎

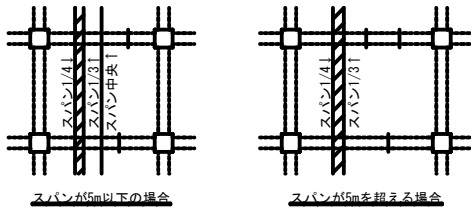


- ※スラブの開口補強筋要領は、S-04参照とする。
※開口周囲は上図より鉄筋で補強し、隅角部に斜め方向に2-D13シングルを上下筋の内側に配筋する。

図 ハト小屋・トップライト等配筋図
(断面図)

1 3. コンクリート打継ぎ位置

- (a) 梁およびスラブの鉛直打継ぎ部
・打継ぎはできるだけ少なくし、応力の小さいところで打継ぐ。
・各部材(梁、片持ち梁、小梁、スラブ)の付け根での打継ぎは避ける。
・スパンが5m以下の場合、スパン中央付近又はスパンの1/3～1/4のところがよい。
・スパンが5mを超える場合、スパンの1/3～1/4のところがよい。



スパンが5m以下の場合

スパンが5mを超える場合

- (b) 柱および壁の水平打継ぎ部
・スラブ、壁梁又は基礎の上端に設ける。

1 4. 地業の標準

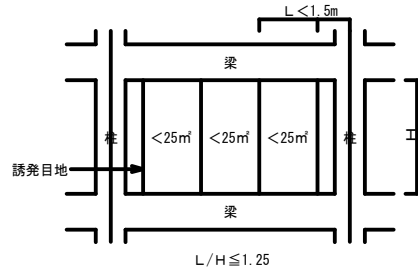
表 地業の標準		地盤	地業	捨コン	備考
構造部位	土質	N値	種別	厚(mm)	厚(mm)
	岩盤	N ≥ 10	地はだ	100	50
	砂礫	N < 10	砂利	100	50
	砂	N ≥ 10	砂利	60	50
直接基礎床版下	シルト	N < 2	砂利	150	50
	粘土	N ≥ 2	砂利	60	50
杭基礎床版下	-	-	砂利	60	50
	-	-	砂利	60	50
基礎梁下	-	-	砂利	60	50
	-	-	砂利	60	50
土間コンクリート下	砂礫	-	砂利	-	-
	砂等	-	砂利	-	-
土間床版下 (構造スラブ)	埋戻し	-	砂利	60	-
	土等	-	砂利	60	-
玄関ポーチ下等下	-	-	砂利	60	-
	-	-	砂利	60	-

- ※1. 地盤の状態によっては砂利地業を取り止めてもよい。
※2. 地業の上にポリエチレンシート厚0.15を敷く。
※3. 配筋の程度に支障が無ければ捨てコンクリートを取り止めてもよい。
※4. 土間床版形式とする場合は、上記(土間床版下)による。

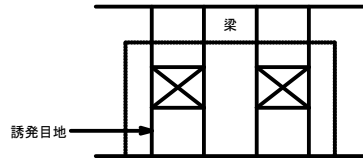
1 5. 誘発目地

コンクリートの主に乾燥収縮などによるひび割れについて、誘発目地の設置を推奨する。
誘発目地の設置は、監督職員と協議のうえ決定することとする。

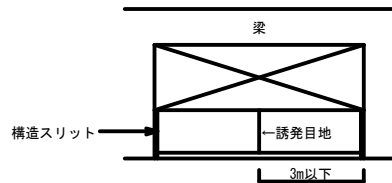
- (a) 壁
1) 周囲を柱・梁・誘発目地で囲まれた1枚の壁の面積は25㎡以下とし、1枚の壁の面積が小さい場合を除いて、その辺長比(L/H)は1.25以下を原則とする。



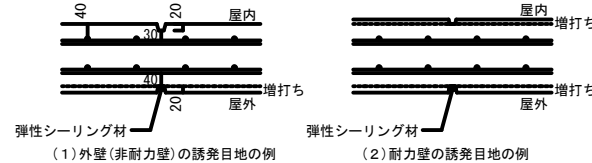
- 2) 開口部は下図のように開口端部に接するように目地を設ける。



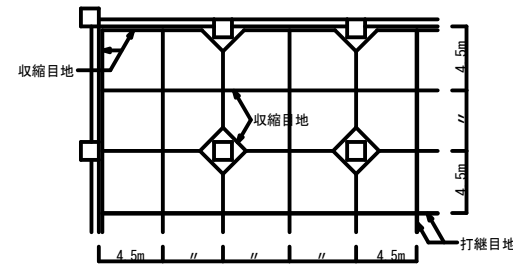
- 3) 構造スリットと誘発目地



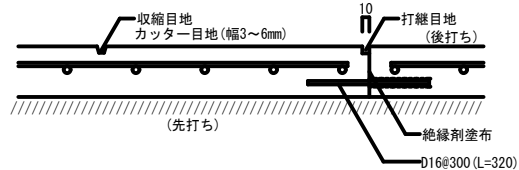
- 4) 壁の誘発目地の例



- (b) 土間コンクリート
1) 1日の施工面積から決まる打継目地と、不規則にひび割れが生じないようにコントロールする収縮目地を適宜に設ける。

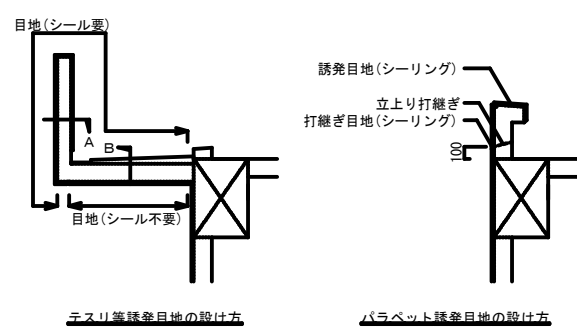


- 2) 土間コンクリートの誘発目地の例



- (c) バルコニー、外廊下、底、パラペット等

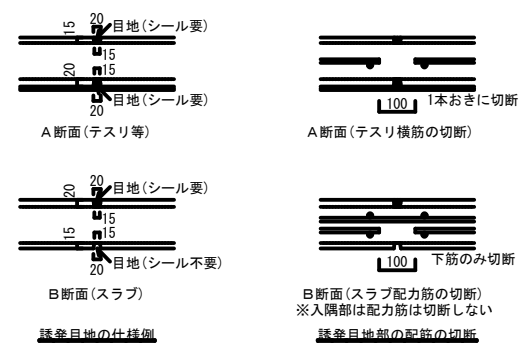
- 1) 誘発目地の設け方



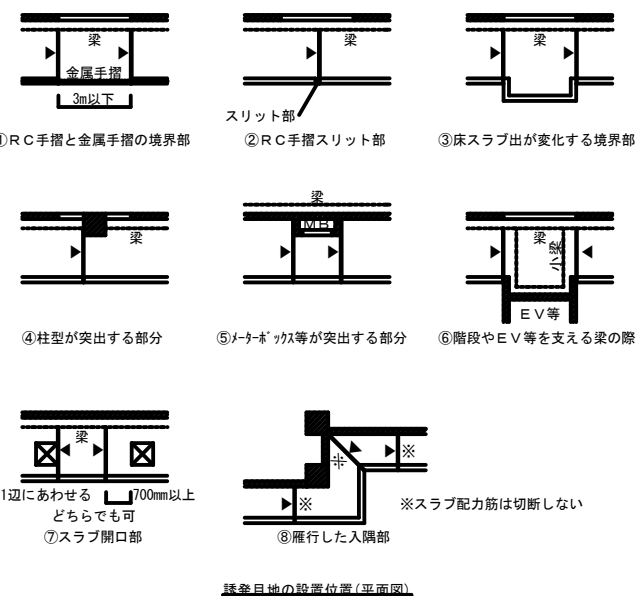
テスリ等誘発目地の設け方

パラペット誘発目地の設け方

- 2) 誘発目地

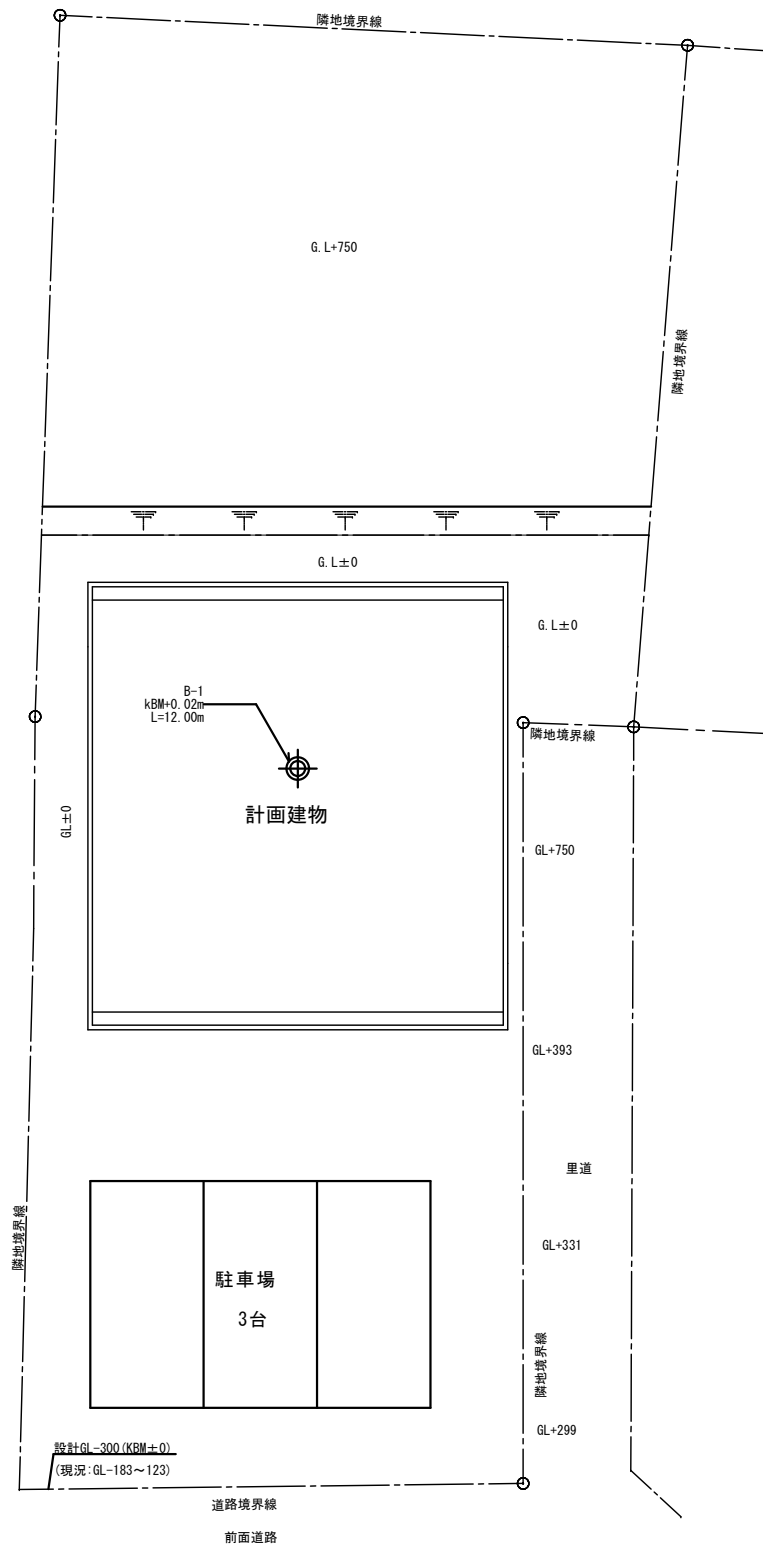


- 3) 誘発目地の設置位置
誘発目地(▼)の設置間隔は、3m以下とする。



誘発目地の設置位置(平面図)

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内	図面名称	雑配筋標準図（3）
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	NOSCALE
摘 要		図面番号	S-06
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設計者	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
	資格者氏名	具志堅さおり	
	登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
	所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



地盤調査位置図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

特記なき限り下記とする。
1. 設計GL=KBM+300

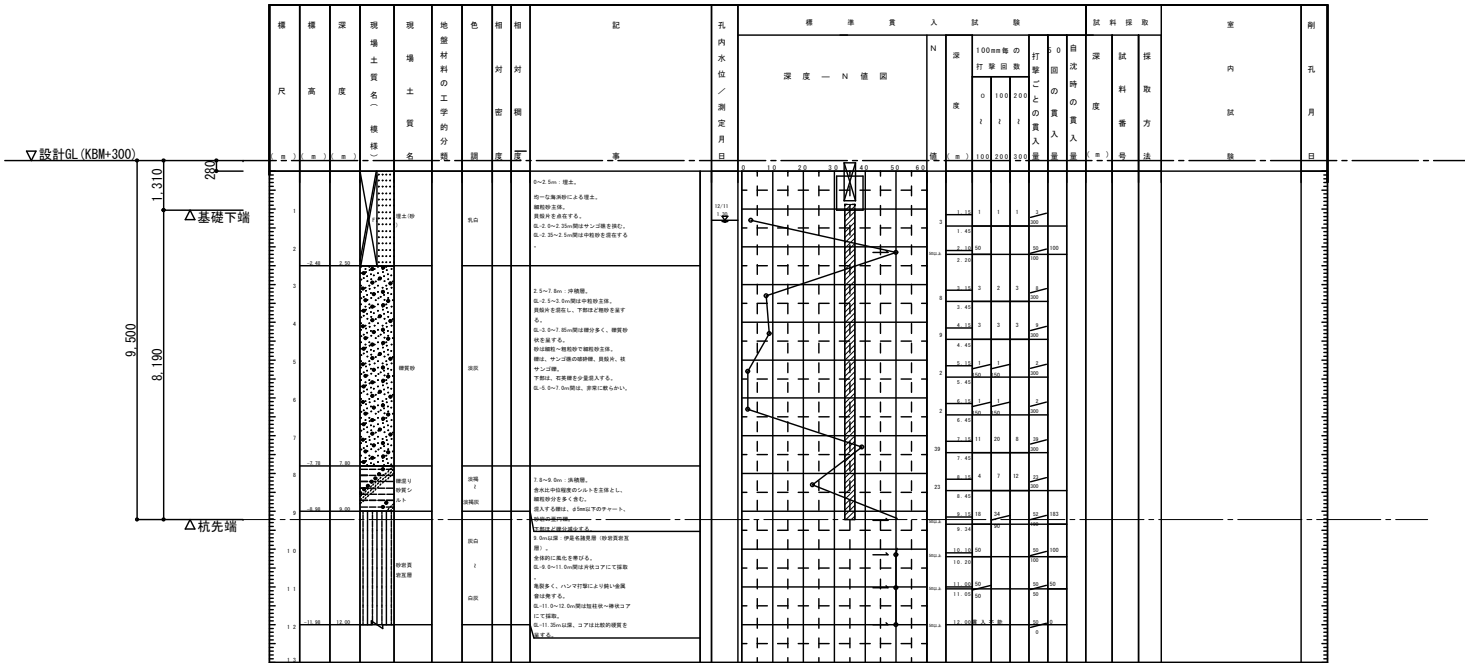
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 定住促進住宅（勢理客地区）2号棟建築設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象

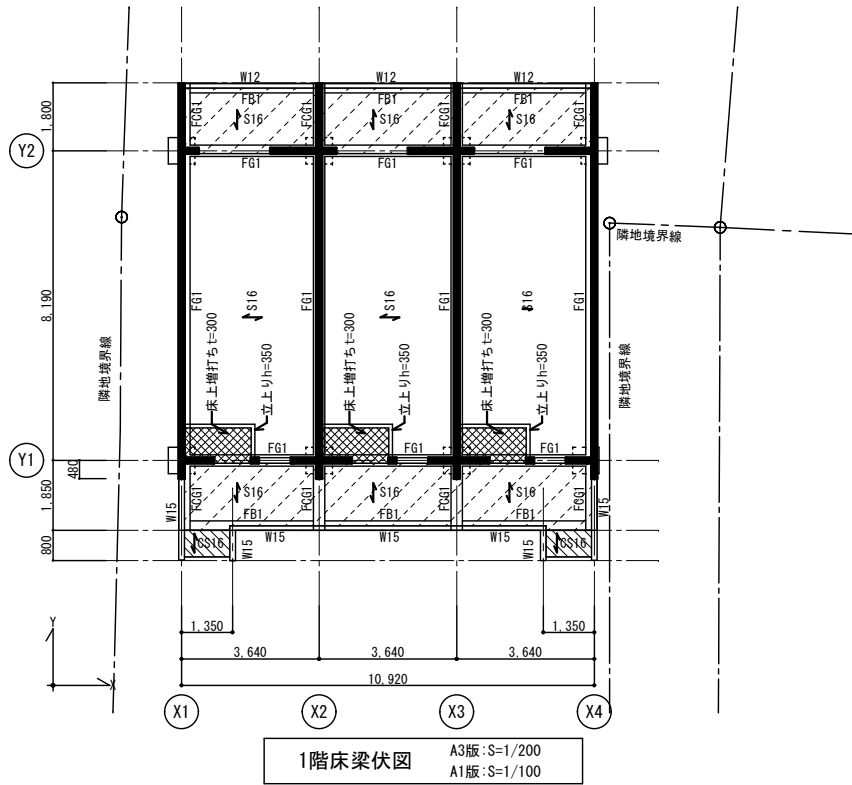
ボーリング名		R7B-1		調査位置		沖縄県島尻郡伊是名村字勢理客地内		北緯		° ' "	
発注機関		伊是名村役場 建設環境課		調査期間		令和7年12月10日～ 令和7年12月10日		東経		° ' "	
調査業者名		有限会社 ヨシ企画設計 電話 0980-53-5476		管理技術者		伊是名村 〇〇〇〇		コ ア 長間 謙也		ボーリング 田代 哲	
孔口標高		KBM 0.02m		角		270°		試 験 機		東邦 DDD-S0	
総 削 孔 長		12.00m		方		1.5°		用		エンジン	
										ポン プ	
										KAAZ SX401	



注1) 試料採取方法の記号
T: シンクローサル サンプラー F: ファイル サンプラー
P: 標準貫入試験用 サンプラー O: オーガー
D: デニソン型 サンプラー

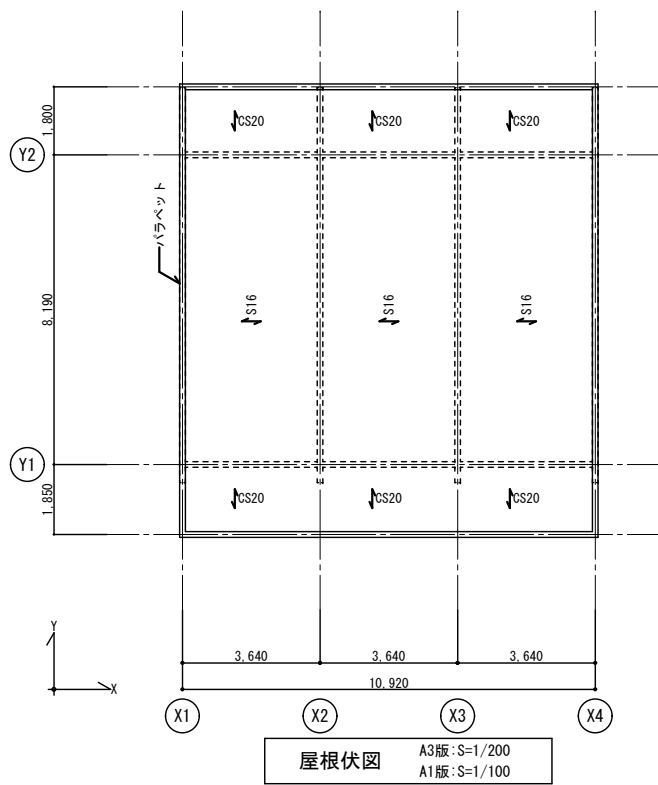
注2) 原位置試験方法の記号

工事名称		定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度		令和 8 年度					
工事場所		伊是名村 字 勢理客地内			図面名称		土質柱状図					
発注機関		伊是名村役場 建設環境課			縮 尺		A3版:S=1/200, A1版:S=1/100					
摘 要					図面番号		S-07					
検 印	管理建築士		設 計		製 図		名 称		有限会社 ヨシ企画設計			
							設計者		資格者氏名		具志堅さおり	
									登 録 番 号		一級建築士 第316373号	
									所 在 地		沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



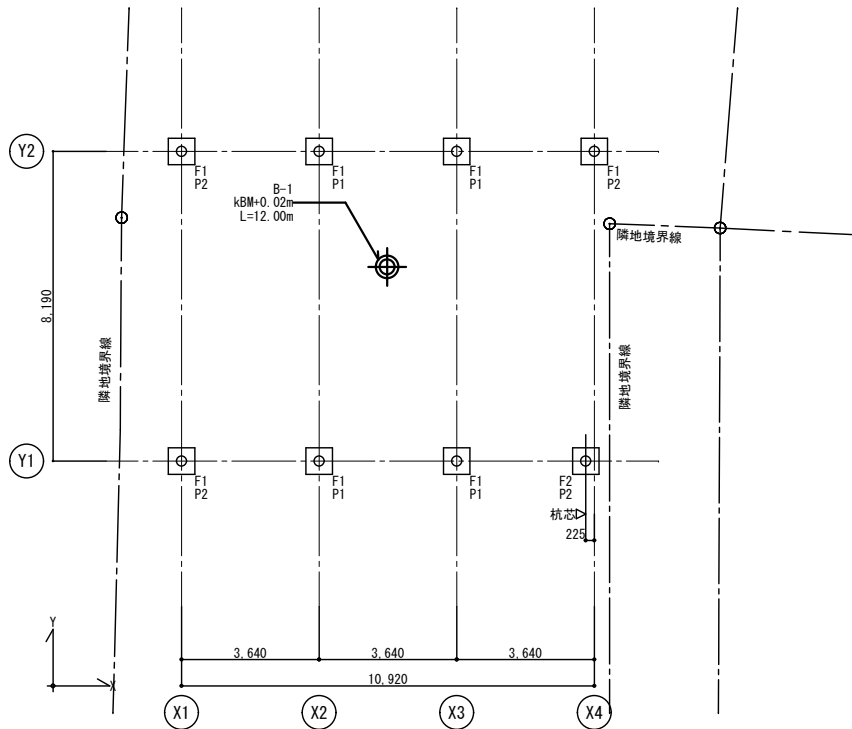
1階床梁伏図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
1. 本図は見下り図とする。
 2. 1SL=設計GL+100
1FL=設計GL+500
 3. 壁はW15とする。
 4. 梁天端レベル=1SL-160
 5. 梁天端はスラブ天端まで増打ちすること。
 6. スラブ天端レベル=1SL±0
 7. スラブレベルは下記による。
 8. : 1FL-400
 : 1FL-200
 : 1FL-350
 9. はスラブ主筋方向を示す。
 10. は土間コンクリートを示す。



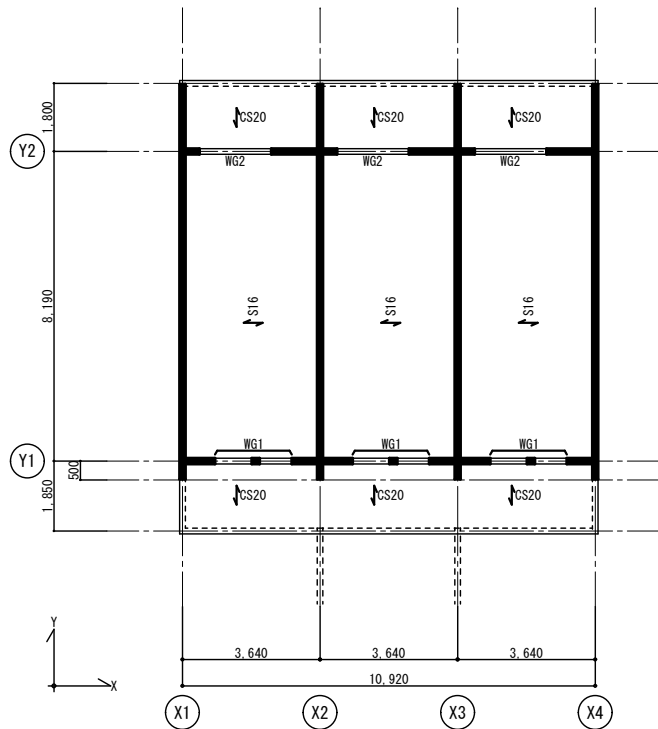
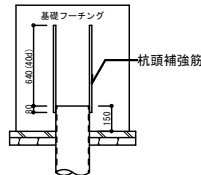
屋根伏図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
1. 本図は見下り図とする。
 2. スラブ天端レベル=RSL±0
 3. 屋根スラブは増打ち勾配とする。
 4. はスラブ主筋方向を示す。



杭・基礎伏図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
1. 本図は見下り図とする。
 2. 設計GL=KBM+300
 3. 杭心=通り心とする。
 4. 基礎下端は設計GL-1,310とする。
 5. 杭天端は設計GL-1,160とする。
 6. 杭先端は設計GL-9,500とする。



R階床梁伏図 A3版:S=1/200 A1版:S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
1. 本図は見上げ図とする。
 2. 壁はW15とする。
 3. 梁天端レベル=RSL±0
 4. スラブ天端レベル=RSL±0
 5. 屋根スラブは増打ち勾配とする。
 6. はスラブ主筋方向を示す。

杭リスト

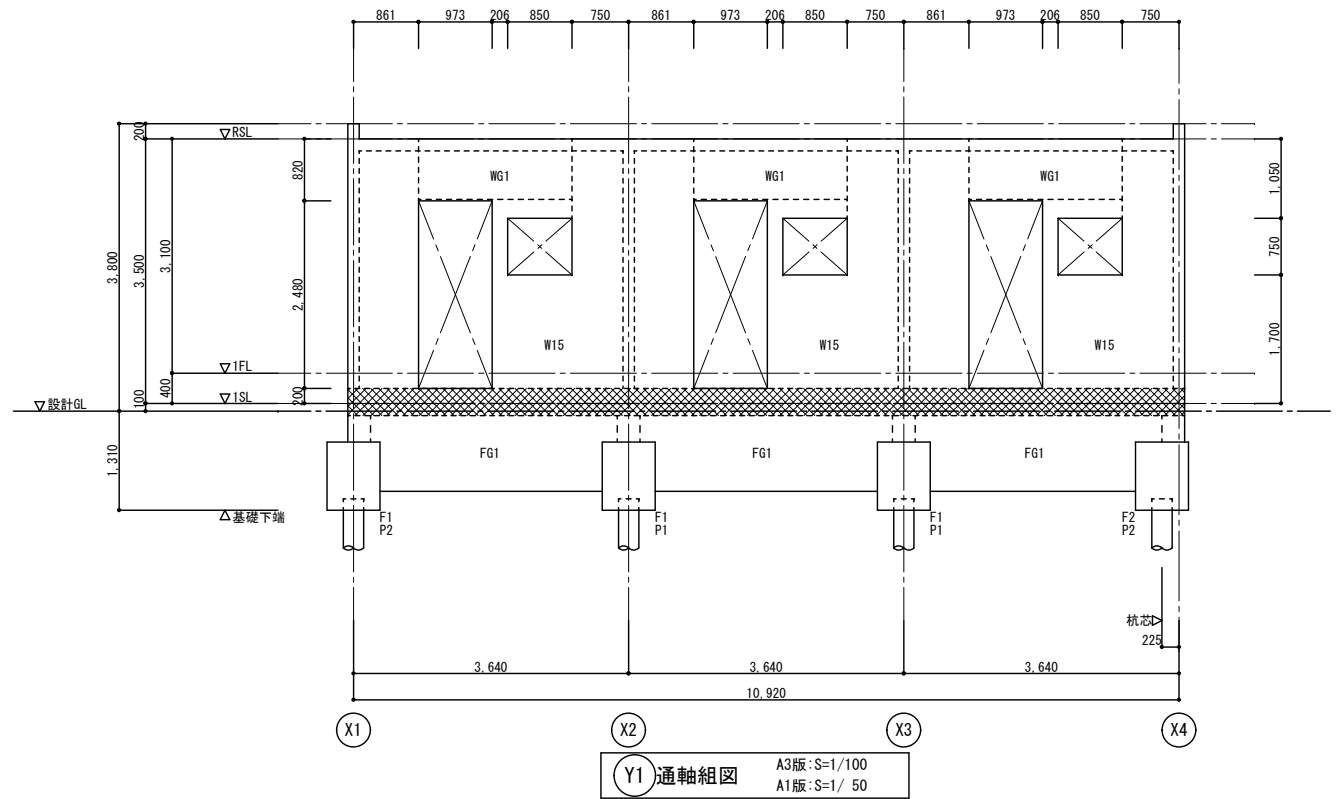
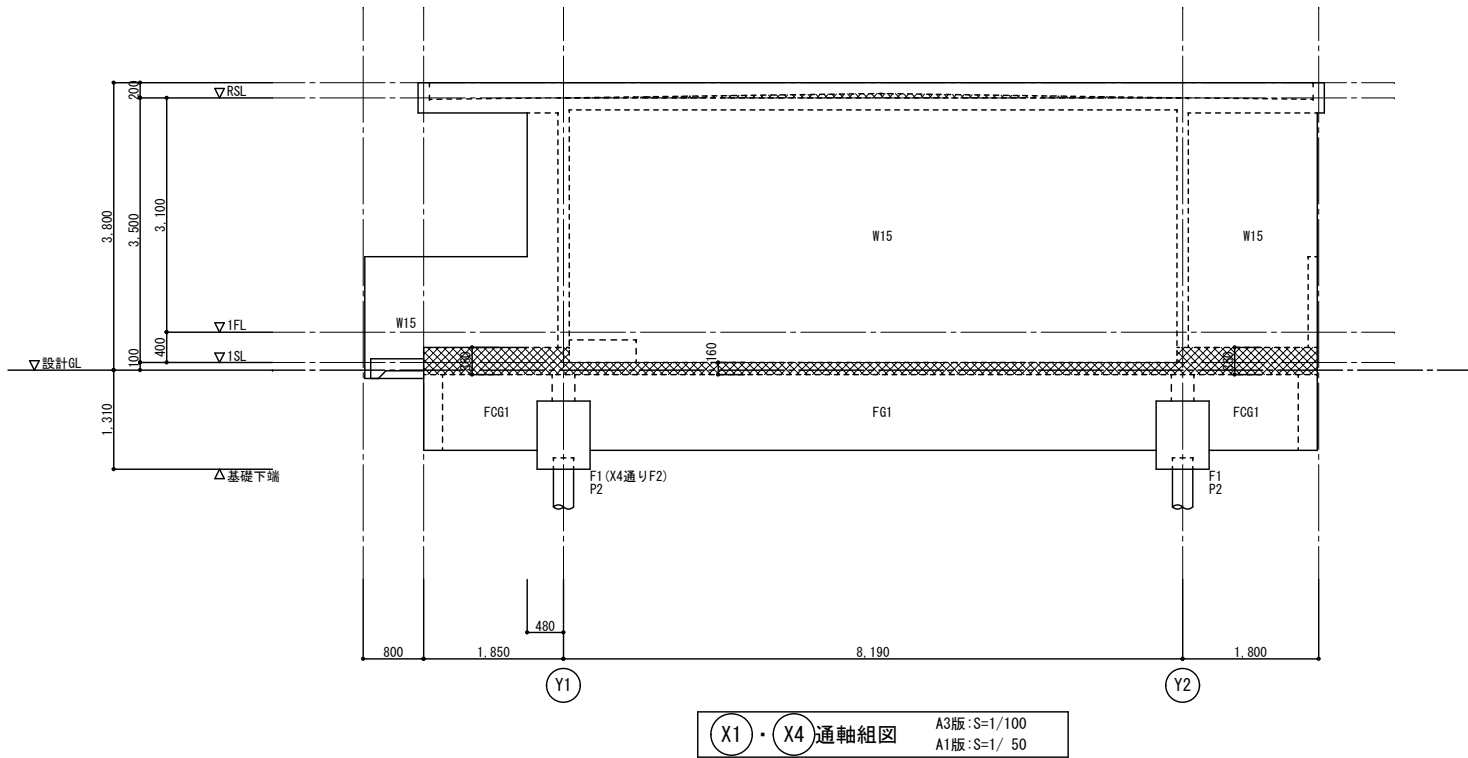
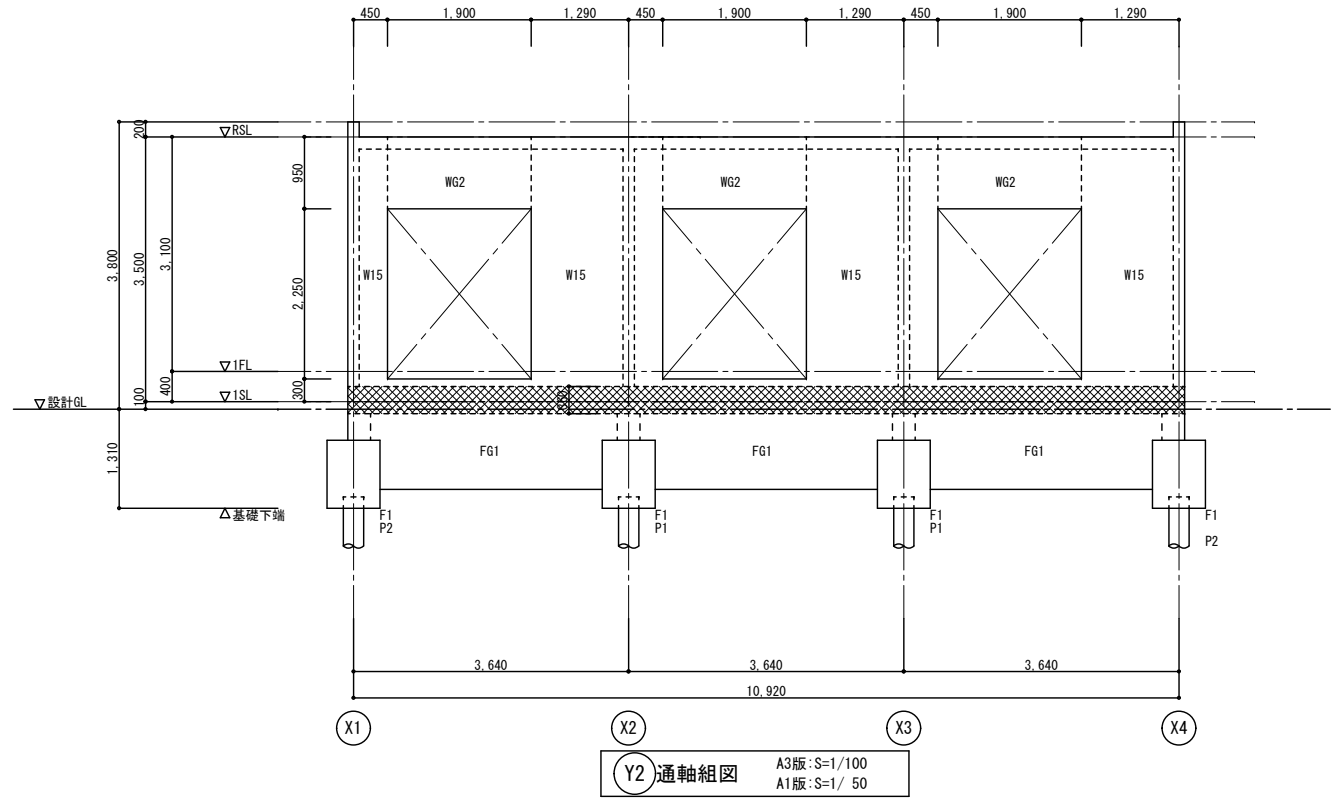
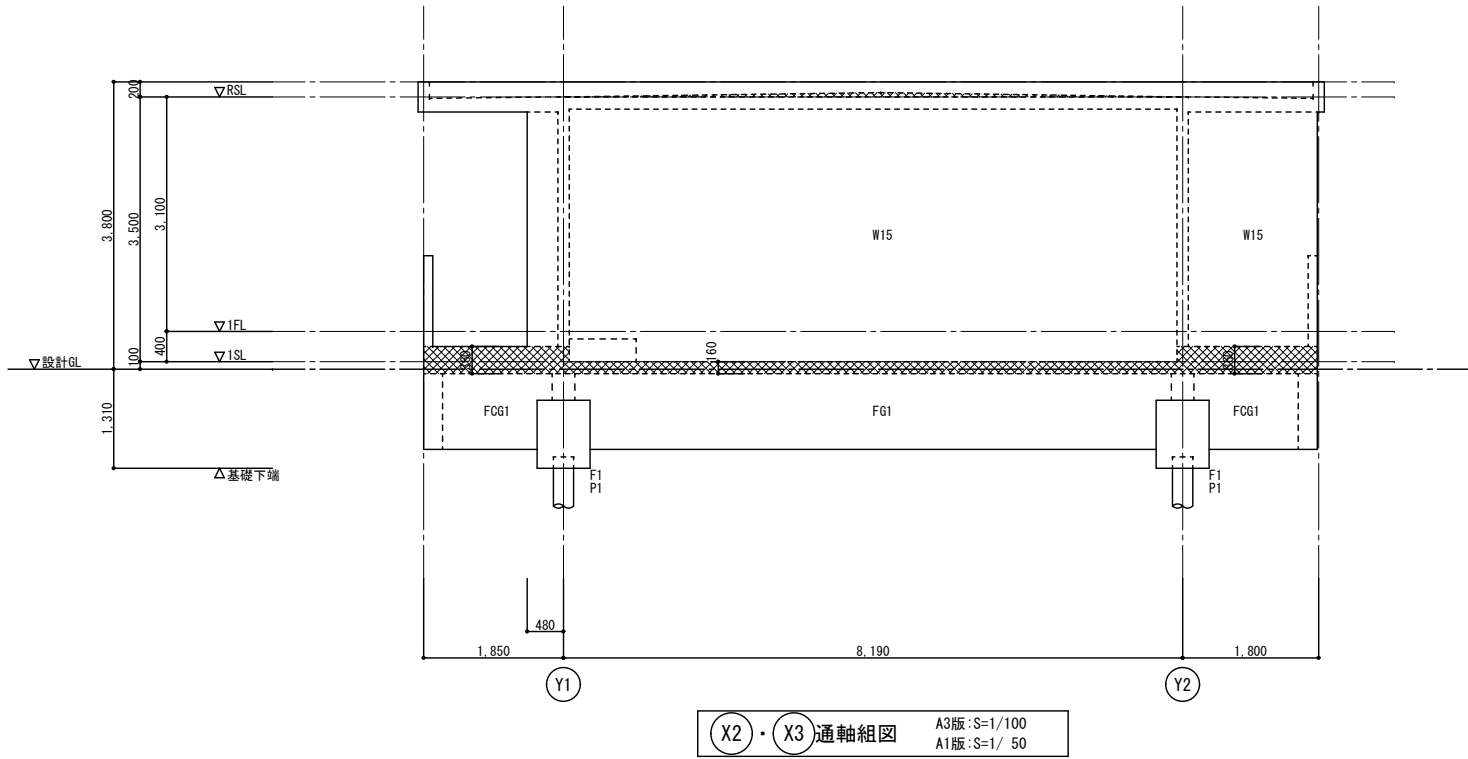
工法名：回転貫入鋼管杭工法（国土交通大臣認定 砂質地盤:TACP-0630 粘土質地盤:TACP-0631 α=270）

符号	杭径 (mm)	杭全長 (m)	上杭			中杭			下杭			拡張		杭頭補強筋	長期許容支持力 (kN/本)	杭本数
			材質	肉厚(mm)	杭長(m)	材質	肉厚(mm)	杭長(m)	材質	肉厚(mm)	杭長(m)	直径Dw(mm)	板厚t(mm)			
P1	267.4φ	8.34	STK490	12.7	2.34	STK490	8.0	4.00	STK490	12.7	2.00	750	32	6-D16	890	4
P2	267.4φ	8.34	STK490	12.7	2.34	—	—	—	STK490	8.0	6.00	550	25	9-D16	540	4

杭施工誤差は水平方向±100mm以内とする。



工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内			図面名称	各階伏図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/200, A1版:S=1/100	
摘 要				図面番号	S-08	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



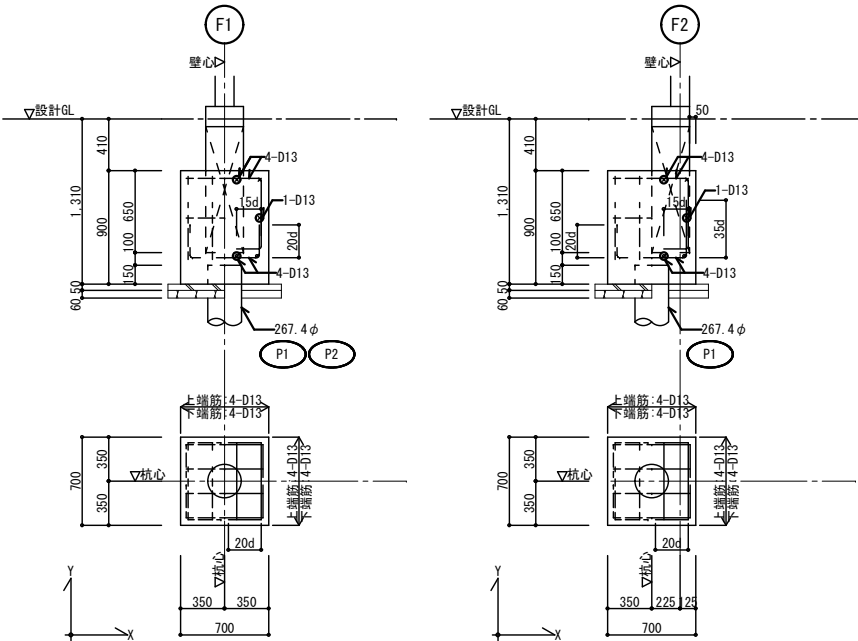
特記なき限り下記とする。
1. 設計GL=KBM+300
2.  は増打ちコンクリートを示す。

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	軸組図	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/100, A1版:S=1/ 50	
摘 要				図面番号	S-09	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登録番号	一級建築士 第316373号	
				所在地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	

基礎リスト

A3版:S=1/ 60
A1版:S=1/ 30

- 特記なき限り下記とする。
- 基礎心=基礎梁心とする。
 - 鉄筋材質 D10～D13 : SD295
 - 基礎心=通り心とする。



基礎梁リスト

A3版:S=1/ 60
A1版:S=1/ 30

- 特記なき限り下記とする。
- 鉄筋材質 D10～D13 : SD295
D19 : SD345
 - 幅止め筋 D10@1000

符 号	FG1	FOG1	FB1
位 置	全断面	全断面	全断面
断面			
B × D	300 × 1,000	300 × 1,000	250 × 1,000
上端筋	3-D19	6-D19	2-D19
下端筋	3-D19	3-D19	2-D19
スターラップ	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@200
腹 筋	4-D13	4-D13	4-D13
備 考	—	—	—

壁梁リスト

A3版:S=1/ 60
A1版:S=1/ 30

- 特記なき限り下記とする。
- 鉄筋材質 D10～D13 : SD295
 - 梁腹筋は壁横筋と同径・同間隔とする。

符 号	WG1	WG2	
位 置	全断面	全断面	
断面			
B × D	150 × 800	150 × 950	
上端筋	1-D13	1-D13	
下端筋	1-D13	1-D13	
スターラップ	□ -D10@200	□ -D10@200	
腹 筋	1-D10@150	1-D10@150	
備 考	—	—	

スラブリスト

- 特記なき限り下記とする。
- 鉄筋材質 D10～D13 : SD295

符 号	版厚	位 置	主筋方向(短辺)	配力筋方向(長辺)	備 考
S16	160	上端筋	D13 @200	D13 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS20	200～180	上端筋	D13 @150	D10 @200	
		下端筋	D10 @150	D10 @200	
CS16	160	上端筋	D13 @200	D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	

壁リスト

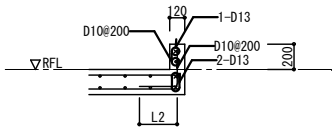
A3版:S=1/ 60
A1版:S=1/ 30

- 特記なき限り下記とする。
- 鉄筋材質 D10～D13 : SD295

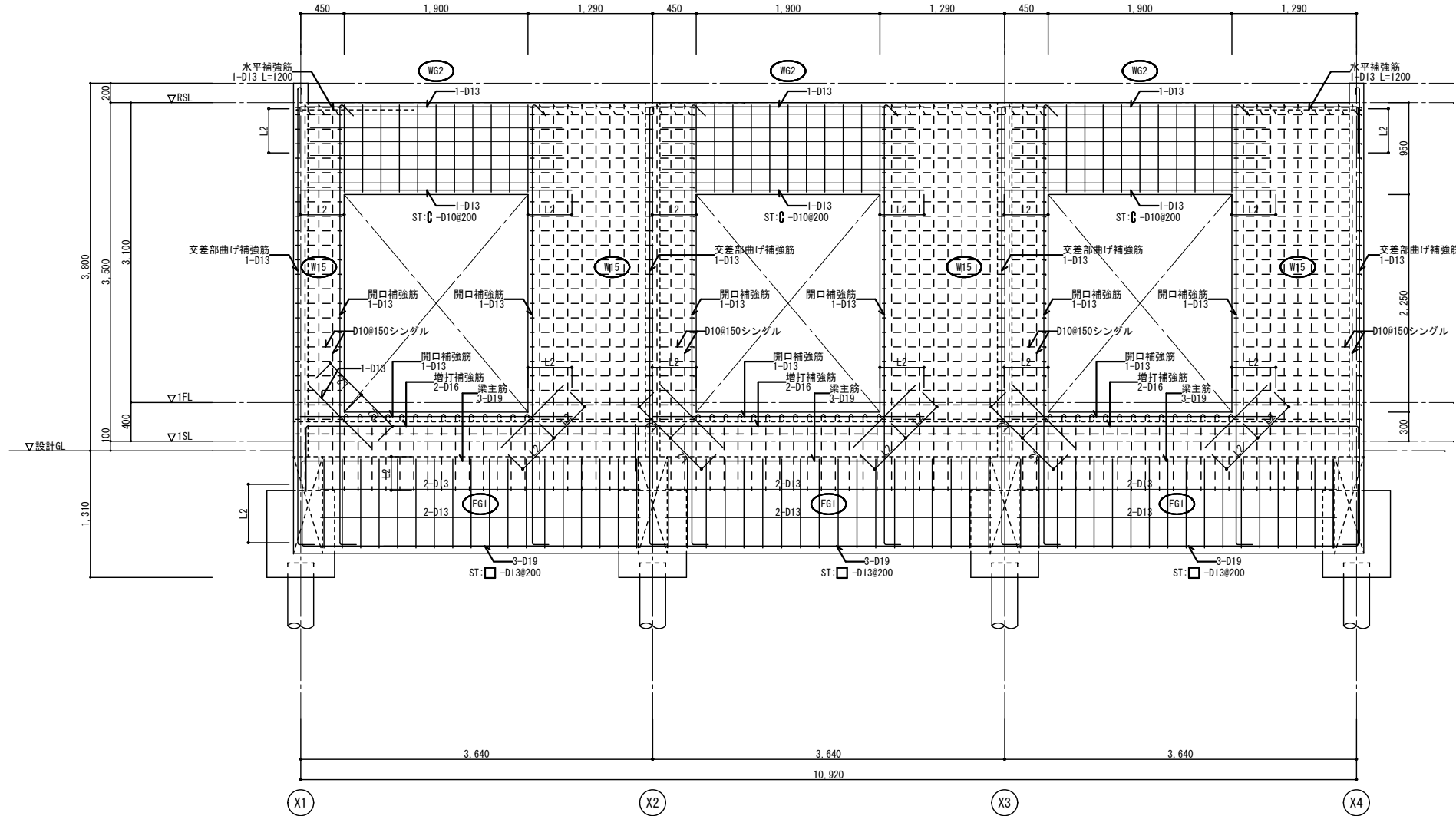
符 号	W12	W15		
壁 厚	120	150		
断面				
縦 筋	D10 @200 シングル	D10 @150 シングル		
横 筋	D10 @200 シングル	D10 @150 シングル		
開 口 補強筋	縦筋	1-D13	1-D13	
	横筋	1-D13	1-D13	
	斜筋	1-D13	1-D13	
備 考				

パラベット配筋詳細図

A3版:S=1/ 60
A1版:S=1/ 30

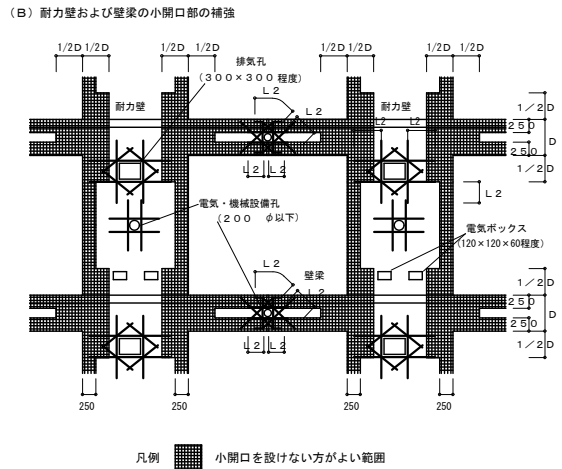
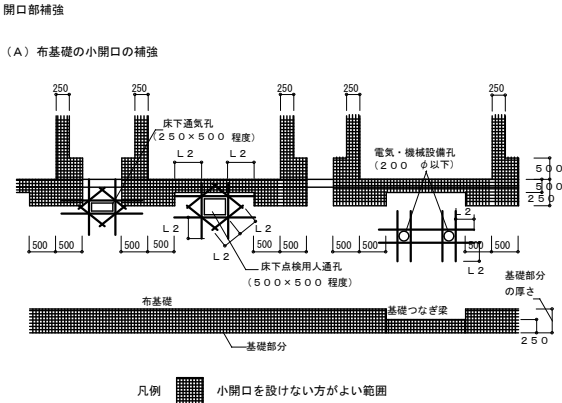


工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	部材リスト	
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/ 60, A1版:S=1/ 30	
摘 要				図面番号	S-10	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計	
				資格者氏名	具志堅さおり	
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号	
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号	



Y2 通架構配筋詳細図 A3版:S=1/ 60 A1版:S=1/ 30

特記なき限り下記とする。
1. 腹筋は1-D10#150とする



工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事			工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 字 勢理客地内			図面名称	架構配筋詳細図
発注機関	伊是名村役場 建設環境課			縮 尺	A3版:S=1/ 60, A1版:S=1/ 30
摘 要				図面番号	S-11
検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
				資格者氏名	具志堅さおり
				登 録 番 号	一級建築士 第316373号
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号

回転貫入鋼管杭工法 標準仕様書

【許容支持力および適用範囲】

1. 件名
 回転貫入鋼管杭工法（先端地盤：砂質地盤、粘土質地盤）
2. 本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期ならびに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- 1）長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- $Ra = \frac{1}{3} \{ \alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q} L_c) \psi \}$
- 2）短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- $Ra = \frac{2}{3} \{ \alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q} L_c) \psi \}$
- ここで、(1)、(2)式において、
- α ：基礎ぐいの先端付近の地盤における先端支持力係数（ $\alpha=270$ ）＊
- β ：砂質地盤におけるくい周面摩擦力係数（ $\beta=0.7$ ）＊
- γ ：粘土質地盤におけるくい周面摩擦力係数（ $\gamma=0.3$ ）＊
- $\bar{N}$ ：基礎ぐいの先端付近（くい先端位置より下方に1Dw（Dw：羽根の直径）、上方に1Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）
- ただし、砂質地盤13≦N値≦57 粘土質地盤 9≦N値≦60
- A_p ：基礎ぐいの先端の有効断面積（㎡）
- $A_p = \pi \cdot D^2/4 + 0.43 \left(\pi \cdot Dw^2/4 - \pi \cdot D^2/4 \right)$ （D：軸部の杭径）
- $\bar{N}_s$ ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）
- ただし、10≦Ns≦30
- $\bar{q}$ ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値（kN/㎡）
- ただし、50≦ $\bar{q}$ ≦200
- L_s ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計（m）
- ただし、有効長さはくい先端から1Dwの区間を除く
- L_c ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計（m）
- ただし、有効長さはくい先端から1Dwの区間を除く
- Ψ ：基礎ぐいの周囲の有効長さ（m）
- $\Psi = \pi \cdot D$
- D＝くい軸径（m）
- *地震時に液状化するおそれのある地盤を除く
3. 材料から決まる許容鉛直支持力

$Ra = F''/1.5 \times Ae \times (1 - \alpha_1 - \alpha_2)$

Ra：杭材料から決まる長期許容鉛直支持力（kN）

F''：設計基準強度（N/mm2）

F''＝（0.8+2.5te/r）FかつF''≦235【325】【375】

F：杭材料の許容基準強度（235N/mm2）【325N/mm2】【375N/mm2】【440N/mm2】

（ ）内はSTK400、【 】内はSTK490・SKK490、【 】内はSTK540

【 】内はSEAH590

te：腐食しろ（外面1mm）を除いた杭厚（mm）を除いた鋼管の肉厚（mm）

r：杭の半径（mm）

Ae：腐食しろを除いた杭の断面積（mm2）

α_1 ：継手による低減率（0.05／1カ所）

（継手溶接については、半自動溶接機による施工により低減なしといたします。）

α_2 ：細長比による低減率（L/D＞100の場合、（L/D-100）/100）

4. 適用範囲
- 1）適用する地盤の種類
- 基礎ぐいの先端付近の地盤：
- 砂質地盤（礫質地盤含む）――TACP-0377, 0428, 0500, 0513, 0561, 0601, 0630
- 粘土質地盤――TACP-0378, 0429, 0501, 0514, 0560, 0602, 0631
- 基礎ぐいの周囲の地盤：砂質地盤及び粘土質地盤

くい本体部径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4	457.2	508.0	558.8
砂質地盤 （礫質地盤）	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.4	46.2	52.8	59.4	65.2	65.2
粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.4	46.2	52.8	59.4	60.0	60.0

- 3) 適用する建築物の規模
- 各階の床面積の合計が50,000㎡以下の建築物に適用する

【引抜き方向の許容支持力】

1. 本工法により施工される基礎ぐいの引抜方向の許容支持力を定める際に求める短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力は式(1)による。
- 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力(kN)
- $Ra=2/3 \kappa \cdot Nt \cdot tAp + W \cdots (1)$
- ここで、
- κ ：（砂質、礫質地盤）
- 基礎ぐいの先端付近の地盤（地震時に液状化するおそれのある地盤＊を除く）における先端支持力係数 $\kappa=50$
- （粘土質地盤）
- 基礎ぐいの先端付近の地盤（地震時に液状化するおそれのある地盤＊を除く）における先端支持力係数 $\kappa=47$
- Nt：基礎ぐいの上方3Dwの範囲の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）
- （先端：くい軸の下端 Dw：拡翼の直系 D：くい軸径）
- 適用するN値は砂質、礫質地盤は5≦Nt≦52、Nt<5のとき κ に関して本算定式の適用範囲外とし、Nt＞52の時Nt＝52として適用する。
- 粘土質地盤は5≦Nt≦55、Nt<5のとき κ に関して本算定式の適用範囲外とし、Nt＞55の時Nt＝55として適用する。
- Ntを算出するときの個々のN値は砂質地盤(礫質地盤を含む)、N<5はN=0、52<NはN=52とする。粘土質地盤は、N<5はN=0、5<Nは、N=55とする。

tAp：引抜き時の先端有効断面積 tAp=π（Dw²-D²）/4

W：くいの有効自重 W=π・t（D-t）・L・ γ ―U

D：くい軸径

t：くい軸厚

L：くい長

Dw：拡翼の直径

γ ：78.5kN/m³（鋼材の単位体積重量）

U：浮力（D²/4）・π・Lw・ γ w

Lw：くい先端から地下水位面までの距離

γ w：10kN/m³(水の単位体積重量)

＊ここでの「地震時に液状化するおそれのある地盤」とは、建築基礎構造設計指針（日本建築学会：2001改訂）に示されている液状化発生の可能性の判定に用いる指標値（FI値）により、液状化発生可能性があると判断される土層（FI値1以下となる場合）及び、その上方にある土層をいう。

2. 適用範囲
- 先端地盤：砂質地盤（礫質地盤を含む）、粘土質地盤
- 周面地盤：砂質地盤、粘土質地盤
3. 最大施工深さ
- くい施工地盤面から130D（D：くい軸径）
- ただし、先端地盤が砂質地盤（礫質地盤を含む）の場合でくい軸径508.0mm以上においては65.2mとし、先端地盤が粘土質地盤の場合でくい軸径457.2mmまでにおいては44.0mとする。
4. 地盤に接する最小くい長
- 先端地盤が砂質地盤（礫質地盤を含む）の場合は、くい施工地盤面から2.8mかつ5Dw（Dw：拡翼径）とし、先端地盤が粘土質地盤の場合は、くい施工地盤面から3.1mかつ5Dwとする。

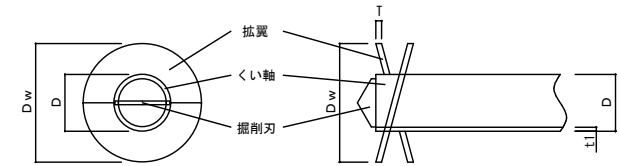
ただし、地震時に液状化するおそれのある地盤に打設する場合は、地震時に液状化するおそれのある地盤の下端から杭先端位置までの長さを上記最小くい長以上とする。

なお、液状化が発生するか否かは設計者が判断する。

【ガイアスーパーパイルの構造・規格】

1. 杭材寸法

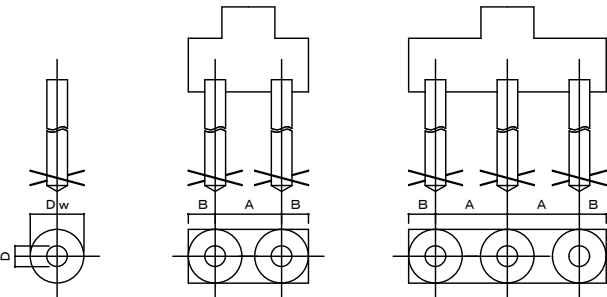
く い 軸 拡 翼				く い 軸 拡 翼			
くい軸径 D (mm)	くい軸厚 t1 (mm)	拡翼の直径 Dw (mm)	拡翼厚 T (mm)	くい軸径 D (mm)	くい軸厚 t1 (mm)	拡翼の直径 Dw (mm)	拡翼厚 T (mm)
114.3	4.5	300	12	355.6	6.4	600	28
	6.0	350	19		7.9	650	28
		300	12		9.5	700	28
		350	19		11.1	750	32
		400	19		12.7	800	32
139.8	4.5	350	19	406.4	6.4	750	32
	6.6	400	19		7.9	800	32
165.2	5.0	400	19		9.5	850	40
	7.1	450	19		12.7	900	40
		500	25		16.0	1000	40
190.7	5.3	450	19	457.2	6.4	800	32
	7.0	500	25		7.9	850	40
216.3		550	25		9.5	900	40
	4.5	400	19		12.7	950	40
	5.8	450	25		16.0	1000	40
	8.2	500	25		19.0	1050	40
	12.7	550	25	508.0	6.4	800	32
267.4		600	28		7.9	850	40
	5.8	500	25		9.5	900	40
	6.6	600	28		12.7	950	40
	8.0	650	28		16.0	1000	40
318.5	9.3	700	28		19.0	1050	40
	12.7	750	32	558.8	6.4	1000	40
		800	32		7.9	1050	40
	6.0	600	28		9.5	1100	40
	9.0	700	28		12.7	1150	40
	10.3	750	32		16.0	1200	40
	12.7	800	32		6.4	1050	40
	14.3	850	40		7.9	1100	40



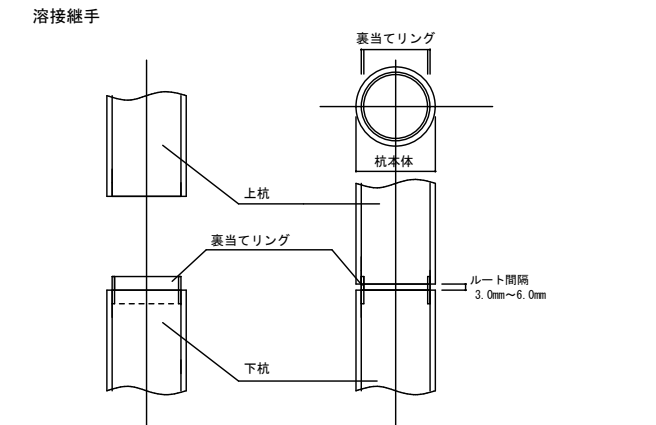
部材	規格
くい軸部	JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管 STK400、STK490、STK540
	JIS A 5525 鋼管ぐい SKK490 大臣認定材料 SEAH590
拡翼部	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A
掘削刃	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材 SS400

【基礎とフーチング形状例】

- A：くい芯間隔 1.5Dw以上
- B：へりあき 1.25D以上 ※Dw：拡翼径 D：くい軸径



【継手接続例】



鋼管の継手溶接は、日本溶接協会規格WES7601「基礎杭杭設における溶接作業標準基準」による。

溶接前首部は、ワイヤーブラシ等で汚れを除去し、裏当てリングを使用して電気溶接による全周溶接を行う。

杭継手部の形状は、鋼管杭協会の規格に準じたものとする。

本掲載内容及び仕様については、予告なしに変更することがあります。

本掲載内容及び仕様は、令和7年10月現在のものです。

【施工管理方法】

工程	管理項目	管理方法	管理基準および管理値
回転貫入	くい材の受け入れ	搬入時に杭径・杭長・拡翼部の寸法と変形の無いこと、および数量・材質を確認	杭明細に準ずる
	作業地盤	ボーリング時のN値等より作業地盤の安定性確認	作業地盤の状況に応じて敷き鉄板を敷く 地盤の接地圧≧重機の設置圧
	杭芯の設定	くい芯より90度方向に2点逃げぐい(鉄筋棒)を打っておく	くい芯の偏芯量が±10mm以内
	深度〇の設定	くい打機で設定〇	鋼管の軸部分の先端がGLにきた時を深度〇とする
	リーダーの鉛直性	くい打ち機本体に装備されたリーダーの傾斜計で直角2方向について確認	傾斜が1/100以内
	杭の建込精度	水準器をくい側面にあて、直角2方向から確認	傾斜が1/100以内
継手	杭の固定	振れ止め装置を用いる	使用の目視確認
	貫入速度V (m/min)	施工管理装置の速度計を確認、データを記録	1回転の貫入量が拡翼勾配の高さ分程度とする
くい頭	継杭の建込精度	水準器で直角2方向から確認	傾斜が1/100以内
	溶接	資格確認と溶接状況の目視確認	JIS Z3801,Z3841等の合格者、又は労働安全衛生法アーク溶接の特別教育を受けた者。裏当金具を使用し、くい接合面全周溶接
くい所定深度確認	杭先端深度	施工管理装置の深度計の値を地盤調査資料と対比	くい先端が設定深度付近まで貫入していること
	実測トルク値	施工管理装置の油圧モータ出力を確認、データを記録	実測トルク値≧管理トルク値 試験杭とのトルク変化傾向の相関性を確認
くい頭のずれ	偏芯量	逃げぐいから確認	±100mm以内

本杭の打ち止め管理方法

- ①設計深度がN値一定型に設けられている場合、試験ぐいで得られたトルク管理値に達した事を確認し設計深度で打ち止める。
- ②設計深度がN値漸増型に設けられている場合、試験ぐいで得られたトルク管理値に達した事を確認し、これより1Dw貫入して打ち止める。
- ③設計深度がN値L型に設けられている場合、試験ぐいで得られたトルク管理値に達した事を確認しこれより必要長（NL≧1Dw）を貫入させ打ち止める。

以上のように、本工法では回転トルク値を「管理値」とするのが特徴であるが、回転トルクはくい本体を損傷させないため、短期ねじり強さ以下である必要がある。そのため、くい一回転当りの貫入量が5mm以下となった場合、支持層が層厚2mかつ3Dw以上の安定した地盤であることが地盤調査で確認されていることを条件に、NLが1Dw以下であっても打ち止めとすることができる。

【本工法取得済認定、公的評価】

名称	認定番号	認定書	取得年月日
回転貫入鋼管杭工法 （先端地盤：砂質地盤（礫質地盤を含む））	TACP-0377 TACP-0428 TACP-0500 TACP-0513 TACP-0561 TACP-0601 TACP-0630	国住指第2022-1号 国住指第4369-1号 国住指第3468-1号 国住指第1966-1号 国住指第1624-1号 国住指第3585号 国住指第3488号	平成23年12月13日 平成25年3月14日 平成28年3月4日 平成28年10月13日 平成30年8月22日 令和2年4月6日 令和3年3月11日
回転貫入鋼管杭工法 （先端地盤：粘土質地盤）	TACP-0378 TACP-0429 TACP-0501 TACP-0514 TACP-0560 TACP-0602 TACP-0631	国住指第2023-1号 国住指第4370-1号 国住指第3469-1号 国住指第1967-1号 国住指第1623-1号 国住指第3586号 国住指第3489号	平成23年12月13日 平成25年3月14日 平成28年3月4日 平成28年10月13日 平成30年8月22日 令和2年4月6日 令和3年3月11日

（一財）日本建築総合試験所 評定			
名称		番号	取得年月日
回転貫入鋼管杭工法における 引抜き方向の許容支持力		GBRC性能証明 第13-20号	平成25年10月25日
		GBRC性能証明 第13-20号 改1	平成28年10月13日
		GBRC性能証明 第13-20号 改2	平成30年8月22日
		GBRC性能証明 第13-20号 改3	令和2年8月11日
		GBRC性能証明 第13-20号 改4	令和4年6月9日
		GBRC性能証明 第13-20号 改5	令和7年9月18日

工事名称	定住促進住宅(勢理客地区)2号棟新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	伊是名村 宇 勢理客地内	図面名称	杭工法標準仕様書
発注機関	伊是名村役場 建設環境課	縮 尺	NOSCALE
摘 要	図面番号 S-12		

検 印	管理建築士	設 計	製 図	名 称	有限会社 ヨシ企画設計
				資格者氏名	具志堅さおり
				登録番号	一級建築士 第316373号
				所 在 地	沖縄県名護市宮里七丁目6番6号